

The Oracle logo is displayed in a bold, red, sans-serif font. A registered trademark symbol (®) is located at the top right of the word "ORACLE".

ORACLE®

ATG WEB COMMERCE

バージョン 11.0

マーチャンダイジング・ガイド

Oracle ATG
One Main Street
Cambridge, MA 02142
USA

ATG Web Commerce マーチャンダイジング・ガイド

ドキュメントのバージョン

MERCH11 USERGUIDEv1 04/15/2012

Copyright

Copyright © 1997, 2012, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

This software and related documentation are provided under a license agreement containing restrictions on use and disclosure and are protected by intellectual property laws. Except as expressly permitted in your license agreement or allowed by law, you may not use, copy, reproduce, translate, broadcast, modify, license, transmit, distribute, exhibit, perform, publish, or display any part, in any form, or by any means. Reverse engineering, disassembly, or decompilation of this software, unless required by law for interoperability, is prohibited.

The information contained herein is subject to change without notice and is not warranted to be error-free. If you find any errors, please report them to us in writing.

If this software or related documentation is delivered to the U.S. Government or anyone licensing it on behalf of the U.S. Government, the following notice is applicable:

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

This software or hardware is developed for general use in a variety of information management applications. It is not developed or intended for use in any inherently dangerous applications, including applications that may create a risk of personal injury. If you use this software or hardware in dangerous applications, then you shall be responsible to take all appropriate fail-safe, backup, redundancy, and other measures to ensure its safe use. Oracle Corporation and its affiliates disclaim any liability for any damages caused by use of this software or hardware in dangerous applications.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark licensed through X/Open Company, Ltd.

This software or hardware and documentation may provide access to or information on content, products, and services from third parties. Oracle Corporation and its affiliates are not responsible for and expressly disclaim all warranties of any kind with respect to third-party content, products, and services. Oracle Corporation and its affiliates will not be responsible for any loss, costs, or damages incurred due to your access to or use of third-party content, products, or services.

For information about Oracle's commitment to accessibility, visit the Oracle Accessibility Program website at <http://www.oracle.com/us/corporate/accessibility/index.html>.

Oracle customers have access to electronic support through My Oracle Support. For information, visit <http://www.oracle.com/support/contact.html> or visit <http://www.oracle.com/accessibility/support.html> if you are hearing impaired.

目次

1	はじめに	1
	このマニュアルについて	1
2	Merchandising の作業	3
	Merchandising へのアクセス.....	3
	Business Control Center の起動	3
	「操作」リストの使用	4
	「プロジェクト」リストの使用.....	5
	ブラウザの「戻る」ボタンの使用.....	5
	ブラウザのリフレッシュ.....	5
	プロジェクトの基本.....	5
	新しいプロジェクトの開始	6
	既存のプロジェクトのオープン	6
	プロジェクトへのアセットの追加	7
	プロジェクトからのアセットの削除	8
	バージョンの競合の自動解決	9
	プロジェクトのタスクの完了	9
	他のプロジェクトとの競合の解決.....	10
	アセット・バージョン	10
	競合解決.....	11
	バージョンの競合の手動解決	11
	コレクション・プロパティの競合解決	12
3	Merchandising UI の概要	17
	ナビゲーションの基本	17
	ナビゲーション・ペインの使用.....	17
	ナビゲーション・ツールバー	18
	「参照」パネル.....	18
	パネルの検索.....	19
	結果のフィルタリング	21
	詳細ペインの使用	23
	アセット・トレイの使用	24
	ナビゲーション・ペインからアセット・トレイへのアセットの追加	25

アセット・トレイへのアセットのドラッグのヒント	26
アセット・トレイでのアセットの使用	26
プロジェクトのナビゲーション	27
4 アセットの作成と管理	29
新しいアセットの作成	29
「検索」パネルからのアセットの作成	30
既存のアセットの複製	30
アセットのリンク付けとリンク解除	31
アセットのリンク付け	31
アセットのリンク解除	32
非分類品目とサイトにリストされていない品目	33
アセットの移動	34
アセットのプレビュー	35
プレビュー・セッションのオプションの変更	36
変更の確認	38
アセットの削除	39
親アセットとリンク付けされたアセットの削除	39
複数サイト環境のアセット	39
アセット・プロパティの作業	40
テキスト・エディタでの作業	40
HTML エディタでの作業	40
コレクション・エディタでの作業	42
カレンダー・エディタでの作業	44
URL エディタでの作業	45
複数編集の使用	45
複数編集操作でのアセットの編集	45
複数編集操作の実行	47
複数編集レポートの表示	47
Merchandising でのドラッグ・アンド・ドロップの使用	49
5 ビジュアル・マーチャンダイジングでの作業	51
ビジュアル・マーチャンダイジングの基本	51
開始前に	51
UI の概要	51
レイアウト・ビューでのアセットの選択	52
レイアウト・ビューでのアセットのハイライト	54
アセットの編集	54
プロジェクトへのアセットの追加	54
アセットの編集	54

	ライト・テーブルでのコレクションの編成	55
	ライト・テーブルの表示	56
	ライト・テーブルのカスタマイズ	57
	親カテゴリからの製品の削除	58
	コレクションの順序変更	58
	プロモーションのプレビューとテスト	59
	プロモーションの確認	60
	プロモーションの編集	64
	アセット・トレイへのプロモーションの追加	65
6	カタログ・フォルダの作成と管理	67
	カタログ・フォルダの作成	67
	カタログ・フォルダ・プロパティ	67
	トップレベルへのカタログ・フォルダの移動	68
	カタログ・フォルダの削除	68
7	カタログの作成と管理	69
	カタログの作成	69
	カタログ・プロパティ	69
8	カテゴリの作成と管理	71
	カテゴリの作成	71
	カテゴリ・プロパティ	71
9	製品の作成と管理	75
	製品の作成	75
	製品プロパティ	75
	親カテゴリでの作業	78
	製品価格での作業	79
10	SKU の作成と管理	81
	SKU の作成	81
	SKU プロパティ	81
	SKU バンドルの作成	84
	SKU バンドルの作成	84
	構成可能な SKU の作成	85
	SKU 価格での作業	85
11	コンテンツ・フォルダの作成と管理	87
	コンテンツ・フォルダの作成	87

	コンテンツ・フォルダ・プロパティ.....	87
	コンテンツ・フォルダの削除.....	88
12	記事の作成と管理.....	89
	記事の作成.....	89
	記事プロパティ.....	89
13	メディア・コンテンツの作成と管理.....	93
	メディア・コンテンツ・アセットの作成.....	93
	メディア・コンテンツ・プロパティ.....	93
14	タグの作成と管理.....	95
	タグの作成.....	95
	「検索」パネルからのタグの作成.....	95
	詳細ペインからのタグの作成.....	95
15	ストアの場所の作成と管理.....	97
	ストアの場所の作成.....	97
	ストアの場所のプロパティ.....	97
16	カタログ・メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理.....	99
	メディア・フォルダの作成.....	99
	メディア・フォルダ・プロパティ.....	100
	メディア・アセットの作成.....	100
	「メディア - 外部」プロパティ.....	101
	「メディア - 内部 - テキスト」プロパティ.....	101
	「メディア - 内部 - バイナリ」プロパティ.....	102
	メディア・フォルダの削除.....	103
17	SEO タグの作成と管理.....	105
18	アセットのインポートとエクスポート.....	107
	アセットのエクスポート.....	107
	エクスポートのガイドラインと制限.....	107
	製品および SKU の価格のエクスポート.....	110
	アセット・プロパティのエクスポート.....	111
	価格のエクスポート.....	112
	エクスポートされたデータの表示.....	113
	アセットのインポート.....	114
	インポートのガイドラインと制限.....	115

	インポートするファイルの書式設定.....	115
	アセットの検証とプレビュー.....	120
	アセット・データのインポート.....	121
	インポート最終レポートの確認.....	122
19	プロモーションおよびクーポンの作成と管理.....	123
	プロモーションの仕組み.....	123
	プロモーション・フォルダの作成.....	124
	プロモーションの作成.....	125
	「一般」タブ.....	126
	条件およびオファーのテンプレート.....	128
	「可用性およびクーポン」タブ.....	146
	「サイト」タブ.....	147
	「カタログ・メディア」タブ.....	148
	拡張フィルタ.....	148
	購入時ギフト・プロモーションの作成.....	150
	ギフト品目の削除および再追加.....	150
	購入時ギフトの条件およびオファーのテンプレート.....	151
	拡張条件およびオファーの文の作成.....	154
	プロモーションでのクーポンの使用.....	157
	クーポン・フォルダの作成.....	157
	独立型クーポンの作成.....	158
	プロモーションへのクーポンの追加.....	159
	クーポン・バッチの作成.....	159
	クーポン・バッチの表示およびエクスポート.....	160
	プロモーションのソート.....	161
	スタック・ルールによるプロモーションの管理.....	161
	スタック・ルールの機能.....	161
	包含プロモーションと除外プロモーションの使用.....	162
	スタック・ルールの作成.....	162
20	価格表の作成と管理.....	165
	価格表の基本.....	165
	開始前に.....	165
	既存の価格表の表示.....	166
	価格表および価格表フォルダの作成.....	167
	価格表フォルダの作成.....	167
	価格表の作成.....	168
	価格表プロパティ.....	169
	価格表のリンクとリンク解除.....	169

継承価格の上書き.....	170
数量価格設定の定義.....	171
一括価格設定の指定.....	172
段階的価格設定の指定.....	173
価格表の移動、コピーおよび削除.....	174
価格表の移動.....	174
トップレベルへの価格表フォルダの移動.....	175
価格表のコピー.....	175
価格表の削除.....	175
顧客への価格表の割当.....	176
ユーザーへの価格表の割当.....	176
組織への価格表の割当.....	177
索引.....	181

1 はじめに

Oracle Commerce Merchandising は、1 つ以上の商用 Web サイトのカタログ、製品、プロモーション、クーポンおよび価格設定を作成し、管理するためのブラウザベースのアプリケーションです。Merchandising では、次のアクティビティを実行できます。

- カタログの設定、およびカテゴリ、製品、SKU のカタログへの入力。カタログ・アセットを Merchandising で直接作成したり、フィードなどからインポートすることができます。
- 特定の製品または製品グループへの割引を提供できるプロモーションとクーポンの作成および管理。
- 記事、イメージ、オーディオ・クリップ、ビデオ・クリップなどのメディア項目の作成および管理。

Merchandising は、Oracle Commerce Core Platform の一部としてインストールされ、Business Control Center からアクセスします。

このマニュアルについて

このマニュアルは、Merchandising を使用して、商用 Web サイトの製品カタログを作成および保守するビジネス・ユーザー（マーチャンダイザ）を対象としています。このアプリケーションの機能と概要を学ぶためのトピック、および Merchandising タスクの実行方法を示す手順のトピックがあります。

Merchandising のインストールおよび設定方法は、『[ATG Web Commerce Merchandising Administration Guide](#)』を参照してください。

Merchandising の起動およびログイン方法は、[Merchandising の作業](#)を参照してください。

2 Merchandising の作業

この章では、Merchandising へのログイン方法について説明し、ユーザー・インタフェースの概要を示します。カタログ、製品およびサイト・コンテンツの作成や更新など、特定の Merchandising タスクの実行方法は、[アセットの作成と管理](#)を参照してください。

Merchandising へのアクセス

Merchandising には、Business Control Center からアクセスします。ここで示す手順は、適切な Oracle Commerce Platform 製品とデータベースが実行されていて、ユーザーにログイン名とパスワードが割り当てられていることを前提としています。ログインする必要がある場合、または自社の Oracle Commerce Platform インストールの詳細が不明な場合は、管理者に問い合わせてください。自身が管理者である場合は、『[ATG Web Commerce Merchandising Administration Guide](#)』を参照してください。

Business Control Center の起動

Business Control Center にアクセスする前に、Oracle Commerce Platform 製品を構成して実行しておく必要があります。また、サポートされているデータベースも構成する必要があります。詳細は、管理者に問い合わせるか、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。

1. データベースおよび Oracle Commerce Platform アプリケーションが起動されていることを確認します。
2. Web ブラウザで、Business Control Center が実行されているサーバーをポイントします。URL は次の形式です。

```
http://hostname:port/atg/bcc
```

hostname は、サーバーの名前です。port は、そのサーバーが Business Control Center 用に使用するポートの番号です。

```
http://anycorp.androc1es:8080/atg/bcc
```

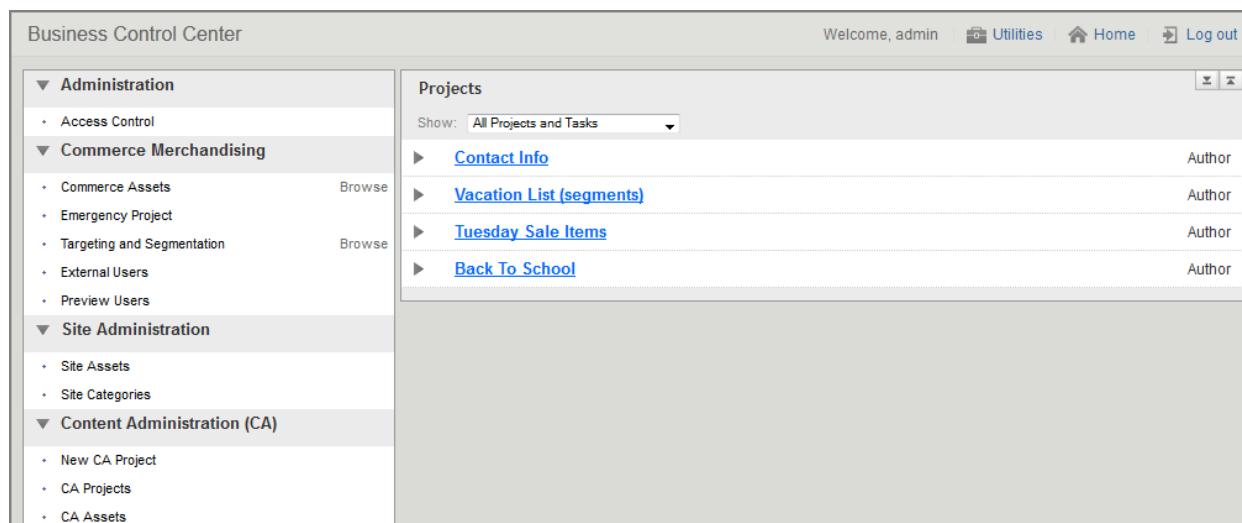
ローカル・マシンで Business Control Center を実行している場合は、次の URL を入力します。

```
http://localhost:port/atg/bcc
```

Oracle WebLogic、JBoss および IBM WebSphere のデフォルトのポート番号はそれぞれ、7001、8080、9080 です。詳細は、『[ATG Web Commerce Installation and Configuration Guide](#)』を参照してください。

3. Business Control Center ログイン・ダイアログ・ボックスが表示されたら、ユーザー・プロフィールで定義されているログイン名とパスワードを入力します。フィールドは大文字小文字が区別されます。

次の図は、ログイン後に表示される Business Control Center ホームページを示しています。



Business Control Center ホームページには次の要素が含まれています。

- 「ようこそ」バーは、上部に表示され、ログイン・ユーザーの名前(ユーザー・プロファイルの姓と名のプロパティの値)が示されます。
- 「ユーティリティ」メニューには、製品ドキュメントへのリンクがあります。
- 「ホーム」リンクを選択すると、Business Control Center の他の部分からこのページに戻ります。
- 「ログアウト」リンクを選択すると、Business Control Center セッションが終了します。
- 「プロジェクト」には、システムで作成された ATG Content Administration プロジェクトが示されます。Merchandising プロジェクトの詳細は、プロジェクトの基本を参照してください。
- 「操作」リストには、使用可能な Oracle Commerce アプリケーションの編集インタフェースを開始するために使用するオプションがあります。オプションは、次の項目によって異なります。
 - 自身のロールが使用する権限を持つオプション
 - サーバーで実行されている Oracle Commerce モジュールおよびアプリケーション

「操作」リストの使用

左側のペインの「操作」リストには、Merchandising 機能へのアクセスに使用するオプションがあります。Commerce Merchandising 項目をクリックすると、次のオプションが表示されます。

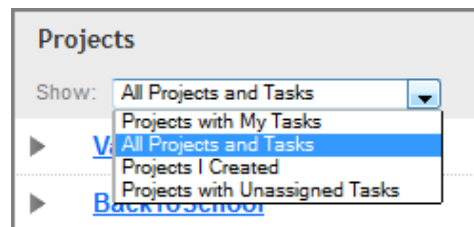
- Commerce アセット: 新しい Merchandising プロジェクトを作成する場合に、このオプションを選択します。
- 参照: このリンクをクリックすると、読取り専用モードで Merchandising が表示されます。読取り専用モードでは、Commerce アセットを表示できますが、変更または作成はできません。

図に示されている「ターゲット設定およびセグメンテーション」、「外部ユーザー」および「プレビュー・ユーザー」メニュー項目の詳細は、『ATG Web Commerce Business Control Center ユーザーズ・ガイド』を参照してください。Content Administration (CA) のメニュー項目の使用に関する詳細は、『ATG Web Commerce コンテンツ管理ガイド』を参照してください。他の Oracle Commerce Platform アプリケーションの「操作」メ

ニューには、その他のオプションが表示される場合があります。該当のアプリケーションのドキュメントを参照してください。

「プロジェクト」リストの使用

Business Control Center ホームページの右側ペインにある「プロジェクト」リストでは、作成したプロジェクトまたは割り当てられたタスクが含まれているプロジェクトを表示および編集できます。「操作」メニューでプロジェクトを作成したが、まだ完成させていない場合、「プロジェクト」リストを使用して後でそのプロジェクトにアクセスし、編集できます。詳細は、[プロジェクトの基本](#)を参照してください。



ブラウザの「戻る」ボタンの使用

Merchandising 内でナビゲートする際、ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。ページ間を移動するときは、できるだけ Business Control Center のリンクや他のナビゲーション・コントロールを使用してください。実行している操作によっては、「戻る」ボタンを使用してページを再表示すると、データ競合が生じてエラーになることがあります。「戻る」ボタンをクリックした後、エラーが表示された場合は、ブラウザをクローズして、再起動してください。

ブラウザのリフレッシュ

Merchandising で作業をしているときは、ブラウザの「リフレッシュ」または「リロード」ボタンをクリックしないでください。実行している操作によっては、ブラウザをリフレッシュすると、保存していない変更が失われるなどの悪影響が生じます。

プロジェクトの基本

Merchandising で作業を行うアセットは、サイトの実行に必要な他の項目とともに、実際に稼働中のサイトに公開する必要があります。これらの必要な項目には、個々のコンテンツ、イメージ、スタイル・シートおよび Web ページ自体が含まれます。開発環境から実際に稼働中のサイトにアセットを公開するプロセスは、ATG Content Administration で管理されます。次に、Merchandising プロジェクトで作業する場合に理解しておく必要のある重要な用語をいくつか示します。

- **プロジェクト:** ATG Content Administration はプロジェクトという実体によって、Web サイトに公開される項目のライフサイクルを管理します。プロジェクトには、作成と公開のライフサイクルのステージを定義する一連のタスクが含まれています。通常、タスクには作成、承認および配置があります。タスクは様々なユーザーが完了できます。たとえば、スーパーバイザーは承認タスクを、Web サイト管理者は配置タスクを完了できます。

ほとんどの場合、プロジェクトは、特定のビジネス目標に関わる項目の論理的なグループ化を表します。たとえば、新学期用の製品とプロモーションを特集するマイクロサイトの作成に

必要なすべての項目を含んだ、Back to School というプロジェクトを設けることができます。1 つのプロジェクトで任意の数の項目を管理し、配置できます。

緊急プロジェクトは、実稼働環境サイトまたはステー징・サイトを数分で更新できる、特別な種類のプロジェクトです。緊急プロジェクトは、標準的な配置手順をバイパスして、手順が 2 つのみの緊急ワークフローを使用します。このプロジェクトは、注意して使用する必要があります。

- **アセット:** ATG Content Administration では、作成、編集および配置するすべての項目がアセットと呼ばれます。Merchandising のアセットには、カタログ、製品、SKU、プロモーションおよび価格表があります。Commerce アセットで作業を行う方法は、[アセットの作成と管理](#)を参照してください。
- **バージョン設定:** ATG Content Administration はアセットの作成と配置を管理するほか、バージョン設定と呼ばれる、各アセットのソース管理形態を管理します。アセットを作成すると、番号 1 が割り当てられます。作成した本人または別のユーザーがアセットを編集すると、2 番目のバージョンが作成されて、バージョン 1 と 2 の両方がシステムに保存されます。この動作には 2 つの目的があります。複数のユーザーが同じアセットを編集するときに競合が生じるのを防ぐためと、アセットの以前のバージョンにいつでも戻って、エラーから回復できるようにするためです。詳細は、[他のプロジェクトとの競合の解決](#)を参照してください。

これらの用語の詳細、またはバージョン設定と配置の詳細は、『[ATG Web Commerce コンテンツ管理ガイド](#)』を参照してください。

新しいプロジェクトの開始

Merchandising で Commerce アセットの作業を行う場合は、まず、Business Control Center で使用可能な Merchandising のプロジェクト・タイプの 1 つに基づいてプロジェクトを作成します。プロジェクト・タイプによって、プロジェクト・タスクを実行する際に使用するワークフロー、Merchandising で使用可能なアセットとビューが決まります。

新しい Merchandising プロジェクトを開始するには

1. Business Control Center を起動します。
2. 「操作」リストで Commerce Merchandising をクリックして、「Commerce アセット」をクリックします。
3. プロジェクト名 (最長 50 文字) およびプロジェクトの概要を入力します。

自分や他のマーチャンダイザがプロジェクトを容易に区別できるように、わかりやすい名前を付けることをお勧めします。ただし、プロジェクト名は一意である必要はありません。概要はオプションですが、多くのプロジェクトに同じような名前が付けられている場合に役立ちます。

4. 「続行」をクリックします。

「作成者」タスクがアクティブな状態で、Merchandising が表示されます。これで、アセットの作成と編集を開始できます。アセットはプロジェクトに自動的に追加されます。カタログの作業を始める場合は、[アセットの作成と管理](#)を参照してください。

既存のプロジェクトのオープン

作業対象のプロジェクトが他のユーザーによって作成された場合、または 1 つのセッションですべての作業が終了しなかった場合は、「To Do リスト」を使用して既存のプロジェクトにアクセスできます。

既存の Merchandising プロジェクトをオープンするには

1. Business Control Center を起動します。

2. 「プロジェクト」リストから「表示」オプションを選択します。
 - 「自分のタスクを含むプロジェクト」では、ユーザーに割り当てられているアクティブなタスクが含まれたプロジェクトのみが表示されます。作成したプロジェクトは、現在のタスクに割り当てた場合にのみ、このリストに表示されます。
 - 「すべてのプロジェクトおよびタスク」では、すべてのアクティブなプロジェクトおよび個々のプロジェクトで現在アクティブなタスクが表示されます。
 - 「自分が作成したプロジェクト」では、ユーザーが作成したすべてのアクティブなプロジェクトが表示されます。
 - 「未割当のタスクを含むプロジェクト」では、現在のタスクが誰にも割り当てられていないアクティブなプロジェクトが表示されます。
3. プロジェクト名をクリックします。

「作成者」タスクがアクティブな状態で、Merchandising が表示されます。これで、プロジェクトでの作業を続行できます。


プロジェクトへのアセットの追加

アセットはバージョン設定および配置できるように、プロジェクトの一部にする必要があります。Merchandising でアセットを作成および編集すると、アセットは自動的に現在のプロジェクトに追加されます。ナビゲーション・ペインまたは編集可能なプレビュー・セッションで、アセットをプロジェクトに手動で追加することもできます。詳細は、[ナビゲーション・ツールバー](#)および[ビジュアル・マーチャンダイジングでの作業](#)を参照してください。

現在のプロジェクトに追加されているアセットを表示する場合は、Merchandising ウィンドウ上部のプロジェクト名をクリックします。次の例では、プロジェクトの名前は BackToSchool です。




Merchandising は、プロジェクトの全アセットが含まれるプロジェクト・ダイアログ・ボックスを表示します。



BackToSchool








Created by Admin User
 Created on 12/23/2013 8:40 PM



▼

Filter items... 7

all
none
conflicts

▲	Asset Type	ID	Display Name	Status	
	Product	xprod2519	Boyfriend Jeans	<u>Modified</u>	✕
	Product	xprod1008	Cowgirl Bag	<u>Modified</u>	✕
	Product	prod20001	Distressed Jeans	<u>Modified</u>	✕
	Product	xprod1010	Shoulder Bag	<u>Modified</u>	✕
	Product	xprod2041	Soccer Cushion Chair	<u>Modified</u>	✕
	Product	xprod1057	Straight Leg Jeans	<u>Modified</u>	✕
	Product	prod20004	Weekend Jeans	<u>Modified</u>	✕

0 conflicts

Close

製品などのアセットを作成すると、そのアセットは自動的に現在のプロジェクトに追加され、プロジェクト・ダイアログ・ボックスのステータスが「新規」になります。新しいアセットは、このプロジェクトのナビゲーション・ペインにも表示されます。アセットは、プロジェクトが配置されたときに、実際に稼働中の Web サイトに公開されます。また、バージョン設定システムにも追加されます。

アセットを変更する予定であるけれども、まだ変更していない場合は、そのアセットを手動でプロジェクトに追加できます。

1. 追加するアセットを選択します。[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. 「処理」メニューをクリックして、「プロジェクトに追加」を選択します。

注意: サイトのプレビュー中にアセットをプロジェクトに追加する方法の詳細は、[ビジュアル・マーチャンダイジングでの作業](#)を参照してください。

プロジェクトからのアセットの削除

新規とマークされているアセットを削除すると、アセットはシステムから完全に削除されます。このプロジェクトの一部として変更したアセットを削除すると、変更が破棄され、アセットがプロジェクトから削除されます。アセットの以前のバージョンはシステム内に残ります。

プロジェクトからアセットを削除するには、Merchandising ウィンドウ上部にあるプロジェクト名をクリックして、プロジェクト・ダイアログ・ボックスを表示します。

- アセットを削除するには、アセットのステータスの横に表示される x アイコンをクリックします。
- すべてのアセットを削除する場合は、アセットのリストの上部にある「すべて選択」リンクをクリックします。次に、「処理」メニューをクリックして、「プロジェクトから削除」を選択します。

バージョンの競合の自動解決

プロジェクトを次のタスクに進めると、Merchandising がプロジェクトのすべての競合を自動解決しようとしてくれます。ただし、「作成者」のステージから出ずに、いつでもプロジェクトの競合を自動解決できます。

Merchandising プロジェクトでバージョンの競合を自動解決するには

1. Merchandising プロジェクトで、Merchandising ウィンドウの上部にあるプロジェクト名をクリックして、すべてのプロジェクトのアセットが含まれるプロジェクト・ダイアログ・ボックスを表示します。
期限切れで、最新バージョンとマージする必要のあるアセットは、リストの上部に表示され、アイコンでマークされます。
2. 「処理」メニューをクリックして、「競合の解決」を選択します。
プログレス・バーがプロジェクト下部に表示されます。操作が終了すると、Merchandising により、解決した競合の数と手動で解決する必要がある競合の数を示すメッセージが表示されます。
バージョンの競合の手動による解決の詳細は、[他のプロジェクトとの競合の解決](#)を参照してください。
3. (オプション) 操作をキャンセルするには、プログレス・バーの横に表示される x アイコンをクリックします。

プロジェクトのタスクの完了

タスクの作業を終えたら、プロジェクトをワークフローの次のタスクに移動します。たとえば、プロジェクトのアセットの作成を終えたら、次のステージ(通常は「コンテンツ・レビュー」タスク)を開始できるように、「作成者」タスクが完了したことを示す必要があります。どのプロジェクトでも、最後のタスクは配置になります。他のすべてのタスクが完了しないと、実際に稼働中のサイトにアセットを配置できません。

デフォルトの「Commerce アセット」ワークフローには次のタスクが含まれます。

- 作成者
- コンテンツ・レビュー
- 実稼働環境配置の承認
- 実稼働環境配置の完了待ち
- 実稼働環境配置の検証

注意: 環境でステージング・サイトおよび実稼働環境サイトを使用する場合は、一連の同様のタスクを使用してステージングへの配置を行うことができます。

Merchandising でタスクを完了するには

1. 現在のタスクが完了している Merchandising プロジェクトをオープンします。
2. 「タスク処理」メニューをクリックして、リストの次のタスクを選択します。
次のタスクが自分に割り当てられている場合は、Merchandising がブラウザで続行されるので、そのタスクの作業を開始できます。

次のタスクが自分に割り当てられていない場合、またはそれ以上タスクがない場合は、**Business Control Center** が表示されます。ログアウトすることも、別のプロジェクトの作業を始めることもできます。

3. プロジェクトのアセットが最新の状態になっていない場合は、プロジェクトを次のタスクに進める前に **Merchandising** が競合を解決しようとしています。

Merchandising がすべての競合を解決できない場合、警告を表示し、2つのバージョン間の競合を解決するまで、プロジェクトを次のタスクに進めないようにします。詳細は、[他のプロジェクトとの競合の解決](#)を参照してください。

注意:

- プロジェクトを「作成者」タスクから「コンテンツの承認」タスクに進めると、アセットを編集できなくなります。「作成者」タスクを再びアクティブにしてアセットを編集できるようにするには、「コンテンツの承認」タスクの「処理の選択」メニューから「否認」を選択します。
- 配置タスクのいずれか（「実稼働環境配置の承認」など）がアクティブになっている場合、アセットは編集できません。この場合に「作成者」タスクを再びアクティブ化するには、「処理の選択」メニューから該当する「元に戻す」オプションを選択して、「作成者」タスクが再びアクティブになるまで、各タスクでこのオプションを選択し続けます。
- プロジェクトを削除する場合は、「作成者」タスクまたは「コンテンツ・レビュー」タスクの「処理」メニューから「プロジェクトの削除」を選択します。プロジェクトを削除すると、このプロジェクトで作成されたアセットはバージョン設定システムに追加されず、このプロジェクトで既存のアセットに対して行った変更は、新しいバージョンとしてシステムに保存されません。
- プロジェクトとタスクの詳細は、『[ATG Web Commerce コンテンツ管理ガイド](#)』を参照してください。

他のプロジェクトとの競合の解決

作業バージョンを作成するために使用されたアセットが変更され、他のユーザーによってチェックインされると、**Merchandising** によって警告が出されます。たとえば、**Ray** が 50 の製品を新しいプロジェクトに追加するとします。あなたは同じ製品を別のプロジェクトに追加します。**Ray** がアセットの作業バージョンを編集し、自分のプロジェクトを配置します。彼のプロジェクトに含まれたアセットがチェックインされ、チェックインされたアセットが新しいベース・バージョンになります。それらのアセットには、あなたのプロジェクトの作業バージョンには含まれていない変更が含まれています。

プロジェクトを次のタスクに進めると、**Merchandising** がプロジェクトのすべての競合を自動解決しようとしています。すべての競合を自動解決できない場合、プロジェクトのアセットが最新の状態ではないことを示すメッセージが表示され、2つのバージョン間の競合を解決するまでプロジェクトを進められません。

アセット・バージョン

アセットを編集する場合にアセットをプロジェクトに追加すると、そのアセットの新しい作業バージョンが作成されます。編集を完了したら、プロジェクトを進めてアセットを配置します。配置した変更が許可されると、作業バージョンがチェックインされ、メイン分岐でアセットのヘッド・バージョンになります。

場合によっては、別のマーチャンダイザが同じアセットを異なるプロジェクトに追加することがあります。その場合、メイン・アセットの2つの作業バージョンが各プロジェクトに1つずつ存在することになります。最初にチェックインされたいずれかの作業バージョンが次のメイン・バージョンになります。新しいメイン・バージョンと他のプロジェクトの作業バージョンとの間の相違は、2つ目のプロジェクトを次のタスクに進める前にすべて解決する必要があります。

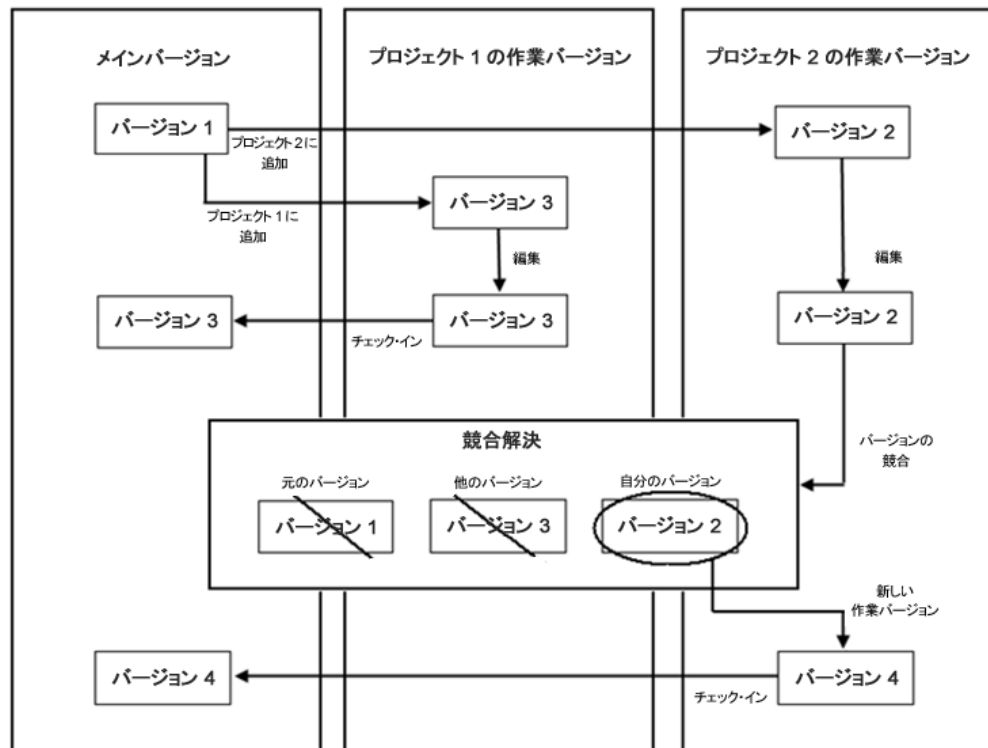
競合解決

以前のバージョンで作業をしているときに、アセットのメイン・バージョンが他のプロジェクトによって更新されると、バージョンの競合が生じます。他のプロジェクトの変更を失わないようにするには、配置を行う前に、これらの変更を自分のバージョンにマージする必要があります。このプロセスは、**競合解決**といえます。

バージョンの競合を解決するには、プロジェクトで行われた変更を確認してから、チェックイン・プロジェクトで行われた変更とこれらの変更を比較します。次に、元のバージョン、自分のバージョン、または他のプロジェクトのチェックイン・バージョンを保持するかどうかを選択します。競合の解決後、自分のプロジェクトが参照するベース・バージョンは最新のチェックイン・バージョンで更新され、作業バージョンは、競合の解決時に選択した値で更新されます。

コレクション・プロパティ(リスト、セット、マップまたは配列)の間で競合がある場合は、自分の変更と他のプロジェクトの変更を結合する追加の値が **Merchandising** によって提示されます。詳細は、[コレクション・プロパティの競合解決](#)を参照してください。

次の図は、競合解決プロセスを示します。

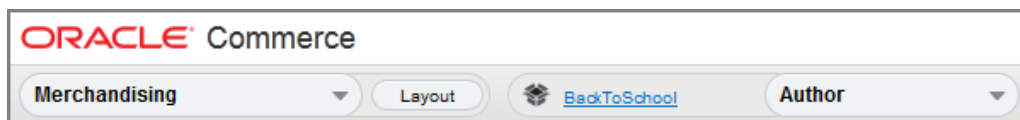


バージョンの競合の手動解決

Merchandising プロジェクトでバージョンの競合を解決するには

1. Merchandising プロジェクトで、Merchandising ウィンドウ上部にあるプロジェクト名をクリックします。

次の図では、プロジェクト名は Back To School になっています。



期限切れで、最新バージョンとマージする必要のあるアセットは、リストの上部に表示され、アイコンでマークされています。

2. アセットの名前を選択して、詳細ペインでオープンします。
3. 「変更のレビュー」をクリックします。

「変更のレビュー」ダイアログ・ボックスに、競合しているプロパティが表示されます。競合していない変更済のプロパティがある場合、これらのプロパティは 2 番目の表に表示されます ([変更の確認](#)を参照)。

Original Version	Their Version	Your Version	Merged Version
<input type="radio"/> 1. Crystal Decanter	<input type="radio"/> 1. Crystal Decanter 2. Medium Crystal Decanter	<input type="radio"/> 1. Crystal Decanter 2. Large Decanter 3. Small Decanter	<input type="radio"/> 1. Large Decanter* 2. Small Decanter* 3. Medium Crystal Decanter* 4. Crystal Decanter

4. プロジェクトで保持する値を選択します。
 - 元のバージョン-アセットをプロジェクトに追加したときに開始した値です。
 - 他のバージョン-アセットをプロジェクトに追加した後、他のユーザーによって配置された値です。
 - 自分のバージョン-自分の作業バージョンの値です。
 - マージされたバージョン-この値はコレクション・プロパティのみで表示され、「他のバージョン」と「自分のバージョン」が結合された値を提示します。[コレクション・プロパティの競合解決](#)を参照してください。
5. 「競合の解決」をクリックします。
アセットは、選択したプロパティの値で更新されます。
6. 「プロジェクト」ダイアログにアセットの競合がまったく表示されなくなるまで、各競合でこれらの手順を繰り返してください。
7. 作業バージョンで問題がなくなったら、プロジェクトを次のタスクに進めてください。[プロジェクトの基本](#)を参照してください。

コレクション・プロパティの競合解決

リスト、マップ、セットおよび配列間の競合の解決は、いずれか 1 つのバージョンをただ選択するよりも複雑なことが多いため、Merchandising では、2 つのバージョンの結合が提示されます。元のバージョン (自分のバージョン)、他のプロジェクトのバージョン、または提示された結合を選択することができます。オプションのいずれを選択しても望みどおりの値にならない場合は、目的の値に最も近いオプションを選択し、アセットを変更してから、プロジェクトを次のタスクに進めてください。

提示された結合では、次の値が表示されます。

- 追加、記録、変更された項目はアスタリスクとともに上部に表示されます。
- 変更されていない項目は通常のテキストで横に表示されます。

- 削除された項目は取消線が引かれた状態でリストの下部に表示されます。これらの項目は情報として表示されるもので、提示されたコレクションの一部ではありません。

次の図は、他のプロジェクトと競合しているコレクション・プロパティの例を示します。

Original Version	Their Version	Your Version	Merged Version
<input type="radio"/> 1. Crystal Decanter	<input type="radio"/> 1. Crystal Decanter 2. Medium Crystal Decanter	<input type="radio"/> 1. Crystal Decanter 2. Large Decanter 3. Small Decanter	<input type="radio"/> 1. Large Decanter* 2. Small Decanter* 3. Medium Crystal Decanter* 4. Crystal Decanter

注意: 提示される結合は、コレクション・プロパティのみで表示されます。他のプロパティ・タイプの場合、「マージされたバージョン」列は空になっています。競合しているコレクション・プロパティがない場合、「マージされたバージョン」列は表示されません。

次の項では、マージされた変更がどのように判別されるのかを説明します。

コレクションの値のマージ方法

競合しているコレクションの相違を判別するため、Merchandising は「他のバージョン」と「元のバージョン」の相違を見つけてから、「自分のバージョン」と「元のバージョン」の相違を見つけ、最後に 2 つの一連の相違を結合して元のバージョンに適用します。

これらのルールにより、最終的な結果が決まります。

- 自分または他のプロジェクトのコレクションのいずれかで変更、記録および追加された項目は、提示されたマージ済のバージョンの上部に移動されます。
- コレクションの項目への更新が、コレクションの自分のバージョンと他のバージョンとの間で競合する場合、項目が他のバージョンから削除されていないかぎり、更新が優先されます。
- 1 つのプロジェクトのコレクションから項目が削除され、別のプロジェクトでは変更されたか順序が変更された場合、デフォルトでは、変更操作または順序変更操作は削除操作によって上書きされます。この設定は構成可能です。[コレクション・プロパティの競合解決](#)を参照してください。

セット

セットは順序付けされず、重複することはできません。そのため、他のタイプのコレクションよりも結合が簡単です。セットのバージョンが結合される場合、マージされたバージョンの作成時には、追加および削除のみが考慮されます。両方のプロジェクトで同じ項目を追加または削除する場合、その項目はマージされたリストに 1 つのみ表示されます。

次の例は、セットがどのように結合されるかを示します。

次の表では、削除された項目は、マージされたバージョンには表示されません。Merchandising では、削除された項目はその名前に取消線が引かれた状態で、「マージされたバージョン」列の下部に表示されます。

競合の説明	元	他のバージョン	自分のバージョン	マージされたバージョン
2つのプロジェクトで異なる項目が追加される。 両方の項目が追加される。	青 緑 赤	青 緑 赤 黄色	青 緑 赤 オレンジ	*黄色 *オレンジ 青 緑 赤
2つのプロジェクトで異なる項目が削除される。 両方の項目が削除される。	青 緑 赤	青 緑	緑 赤	緑
2つのプロジェクトで異なる項目が追加および削除される。 追加がマークされたすべての項目が追加され、削除がマークされたすべての項目が削除される。	青 緑 赤	青 緑 黄色	青 赤 オレンジ	*黄色 *オレンジ 青

マップ

マップは、ある値を別の値にマッピングする(サイズのリストとサイズに対応する数値など)鍵/値のペアを含んだコレクションです。マップには、次の変更が行われることがあります。

- 鍵/値ペアの追加
マップでは鍵の重複は許可されないため、両方のプロジェクトで同じ鍵/値ペアをマップに追加すると、1つのみ追加されます。たとえば、自分のプロジェクトで鍵/値ペア M = 6-8 を追加し、別のプロジェクトで鍵/値ペア M = 8-10 が追加されている場合、自分の変更、M = 6-8 が優先されます。
- 既存の鍵/値ペアの鍵または値の編集
各プロジェクトで同じ鍵/値ペアの値が異なっている場合、自分のプロジェクトの変更が優先され、結合された変更で保持されます。たとえば、自分のプロジェクトで鍵 XL の値を編集して XL = 14 にし、他のプロジェクトで鍵 XL が XL = 16 に編集されている場合、自分の変更が優先されます。
- 鍵/値ペアの削除

次の表は、マップ項目への変更がどのように結合されるか、いくつかの例を示します。削除された項目は、マージされたバージョンには表示されません。Merchandising では、削除された項目はその名前に取消線が引かれた状態で、「マージされたバージョン」列の下部に表示されます。

競合の説明	元	他のバージョン	自分のバージョン	マージされたバージョン
一方のプロジェクトでマップ項目が削除され、他方のプロジェクトでマップ項目が追加される。 削除された項目は削除され、追加された項目は追加される。	S (4-6) M (8-10) L (12-14)	S (4-6) M (8-10) L (12-14) XL (16-18)	S (4-6) L (12-14)	XL (16-18) * S (4-6) L (12-14)
一方のプロジェクトで1つの項目が編集され、他方のプロジェクトで1つの項目が追加される。 編集された項目は更新され、追加された項目は追加される。	S (4-6) M (8-10) L (12-14)	S (2-4) M (8-10) L (12-14)	S (4-6) M (8-10) L (12-14) XL (16-18)	S (2-4) * XL (16-18) * M (8-10) L (12-14)
一方のプロジェクトで1つの項目が編集され、他方のプロジェクトで1つの項目が削除される。 その項目は削除される。 注意: 削除された項目を、変更された項目に優先させるかどうかを構成できます。 コレクション・プロパティの競合解決 を参照してください。	S (4-6) M (8-10) L (12-14)	S (2-4) M (8-10) L (12-14)	M (8-10) L (12-14)	M (8-10) L (12-14)
両方のプロジェクトで同じ項目が編集される。 自分のプロジェクトの値が保持される。	S (4-6) M (8-10) L (12-14)	S (2-4) M (8-10) L (12-14)	S (2-6) M (8-10) L (12-14)	S (2-6) * M (8-10) L (12-14)
各プロジェクトで異なる項目が編集される。 両方の変更が保持される。	S (4-6) M (8-10) L (12-14)	S (2-4) M (8-10) L (12-14)	S (4-6) M (6-8) L (12-14)	S (2-4) * M (6-8) * L (12-14)

リストおよび配列

リストと配列は、項目の順序付きリストを含んだコレクションであり、許可されている場合は、同じ項目を複数含めることができます。リストと配列には、次の変更が行われることがあります。

- 項目の追加
- 項目の順序変更
- 項目の削除
- 重複した項目の追加、順序変更または削除(使用環境で許可されている場合)

重複を避ける方法は、『[ATG Web Commerce Business Control Center Administration and Development Guide](#)』を参照してください。

注意: Oracle Commerce Platform の順序変更の計算方法により、どちらのプロジェクトでも明示的に変更されなかった項目が、提示された結合で変更とマークされることがあります。

次の表に、リストと配列への変更がどのように結合されるか、いくつかの例を示します。削除された項目は、マージされたバージョンには表示されません。Merchandising では、削除された項目はその名前に取消線が引かれた状態で、「マージされたバージョン」列の下部に表示されます。

競合の説明	元	他のバージョン	自分のバージョン	マージされたバージョン
2つのプロジェクトで項目の順序が変更される。 2つのリストの順序が結合される。 注意: 項目 B はすべてのコレクションで変更されていないように表示されますが、変更とマークされています。これは、Oracle Commerce Platform の順序変更の計算方法によるためです。	A B C D E	C B A D E	E B C D A	A* B* C* E* D
2つのプロジェクトで、同じ場所に異なる項目が追加される。 項目はリスト上部に追加される。	A B C	A B C D	A B C E	D* E* A B C
2つのプロジェクトで、異なる場所に同じ項目が追加される。 項目はリスト上部に2つ追加される。 注意: 重複が許可されない場合、項目は1つのみ追加されます。	A B C	A D B C	A B D C	D* D* A B C
一方のプロジェクトで項目の順序が変更され、他方のプロジェクトで項目が削除される。 2つのリストの順序が結合され、削除された項目は削除される。 注意: 削除された項目を、順序が変更された項目に優先させるかどうかを構成できます。 コレクション・プロパティの競合解決 を参照してください。	A B C D E F G	B D E F A C G	A B D E F G	A* E* F* B D G
一方のプロジェクトで項目が追加され、他方のプロジェクトで項目が削除される。 新しい項目はリスト上部に追加され、削除された項目は削除される。	A B C D	A B C D E F	A B D	E* F* A B D

変更を結合する場合のコレクションの最大サイズ

非常に大きいコレクションの値の場合、デフォルトにより、最初の 2300 項目のみが「変更のレビュー」ページに表示されます。その結果、競合しているバージョンに含まれる項目数が表示制限を上回る場合は、結合を表示できないため、マージされたバージョンは提示されません。

3 Merchandising UI の概要

この章では、Merchandising ユーザー・インタフェースの主要要素について概要を示します。インタフェースを使用してマーチャンダイジング・タスクを実行する方法は、[アセットの作成と管理](#)を参照してください。

Business Control Center ホームページからプロジェクトを作成またはオープンすると、Merchandising のメイン・ページがオープンします。メイン・ページには 2 つのペインがあり、左側がナビゲーション・ペイン、右側が詳細ペインです。上部にまたがるナビゲーション・バーは、共通のオプションおよび現在のセッションに関する情報にリンクしています。

ナビゲーションの基本

次に、Merchandising のナビゲーション・ペインで項目を参照または検索する場合に理解しておく必要のある重要な用語をいくつか示します。

- **親アセット**は、階層内で現在のアセットの真上に位置するアセットです。たとえば、アクセサリは、ショルダ・バッグ製品の親カテゴリになります。
- **上位階層**は、現在のアセットが子孫となっているすべてのアセットです。たとえば、商業ルート、婦人服、ギフト・アイデア、婦人用、アクセサリはすべて、ショルダ・バッグ製品の上位階層カテゴリです。

ナビゲーション・ペインの使用

Merchandising ウィンドウの左側にあるナビゲーション・ペインでは、Commerce アセットを参照または検索できます。

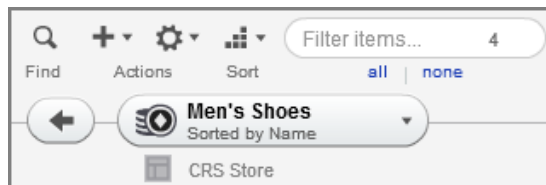
注意: この項では、アプリケーションのドロップダウン・メニューから Merchandising を選択するとき使用可能なナビゲーション・ペインのアセットを使用する方法について説明します。その他のアセットの検索および参照方法は、次の章を参照してください。

特定のタイプのアセットを参照および検索するには、次の章を参照してください。

- SEO タグ: [SEO タグの作成と管理](#)
- 価格表: [価格表の作成と管理](#)

ナビゲーション・ツールバー

ナビゲーション・ペイン上部にあるツールバーを、ビューの参照と検索の両方で使用できます。



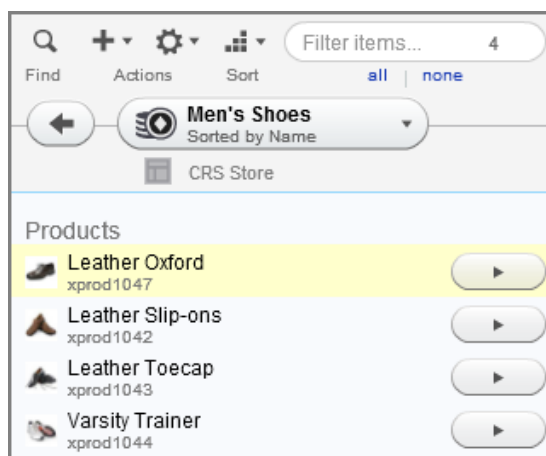
ツールバーは次の要素で構成されています。

- 「検索」/「参照」ボタンにより、「参照」パネルと「検索」パネルが切り替わります。
- 「作成」ボタンにより、新しいアセットを追加できます。
- 「処理」ボタンにより、選択したアセットの作業を行えます。アセットを編集、移動、複製、リンクおよびエクスポートできます。また、選択したアセットをプロジェクトに追加して、その子アセットを表示できます。
- 「ソート」ボタンにより、名前または ID ごとに昇順あるいは降順でアセットのリストをソートできます。
- 「フィルタ」では、リストに表示されているアセットの数が示され、リストをフィルタリングできます。
- 「選択」リンクでは、ナビゲーション・ペインに示されているすべてのアセットを選択または選択解除できます。リスト内のすべてを選択する場合は、「すべて」をクリックします。すべての選択を解除する場合は、「なし」をクリックします。

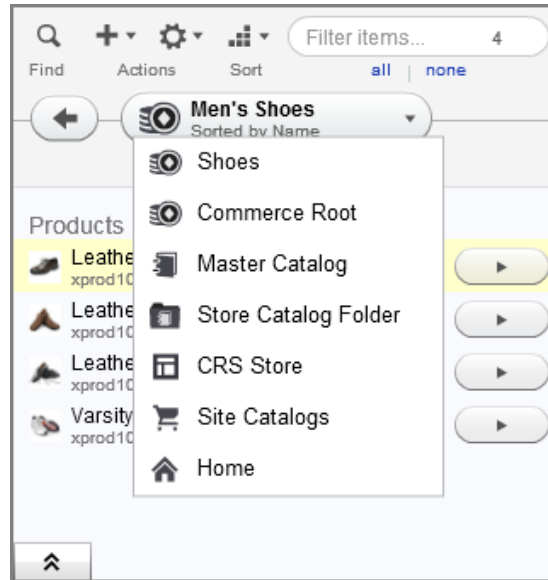
「参照」パネル

アセットの階層をナビゲートするには、「参照」パネルを使用します。たとえば、カタログの階層を使用して製品を探したり、フォルダごとにメディア・アセットを検索したり、プロモーションのアルファベット順リストを表示したりすることができます。Merchandising 管理者は、「参照」パネルに表示されるアセットの階層を構成します。

次のレベルにドリルダウンするには、各アセットの横にある矢印ボタンをクリックします。たとえば、カテゴリの横の矢印をクリックして、含まれている製品のリストを表示します。親アセットの名前は、子アセットのリスト上部に表示されます。たとえば、次の図の場合、「Home Store Root」カテゴリが親アセットで、子カテゴリはその下に示されています。



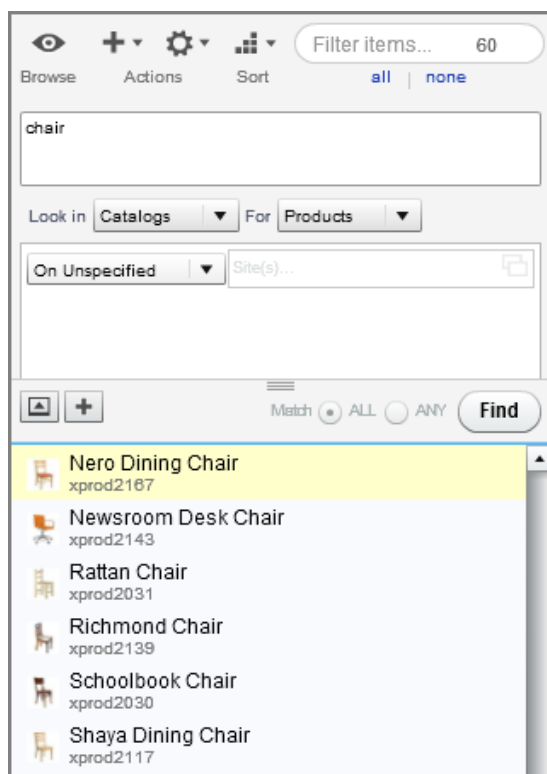
階層で、一度に1レベル戻る場合は、親アセットの左側の「戻る」矢印をクリックします。階層内で戻るレベルを選択するには、親アセットの右側の下向きの矢印をクリックして、リストから上位階層アセットを選択します。



指定した文字または単語を含んだ名前のアセットのみが表示されるように、「参照」パネルで子アセットのリストを絞り込む方法については、[結果のフィルタリング](#)を参照してください。

パネルの検索

指定した条件に一致するアセットを検索するには、「検索」パネルを使用します。アセット・タイプを指定して検索を始めます。そのタイプのすべてのアセットを検索することも、名前または ID 別にアセットを検索することもできます。または、返されるアセットの値セットと一致する必要があるプロパティ値など、追加条件で検索範囲をさらに絞り込むことも可能です。



「検索」パネルでアセットを検索するには

1. 「検索先」ドロップダウン・メニューからアセット・ファミリーを選択し、次に、「対象」ドロップダウン・メニューからアセット・タイプを選択します。
たとえば、「カタログ」で「製品」を探します。

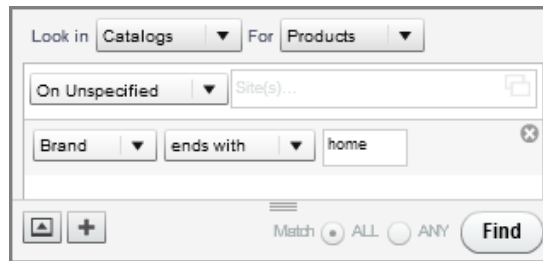


2. 複数サイト環境の場合、「カタログ」または「コンテンツ」を選択したら、検索する登録サイトを指定します。
 - 未指定: (デフォルト)アセットを検索する際、サイト・プロパティを無視します。
 - このサイト: サイト・プロパティが、選択した単一サイトに一致するアセットのみを検索します。
 - これらのサイト: サイト・プロパティが、選択した1つ以上のサイトに一致するアセットのみを検索します。
 - 任意のサイト: サイト・プロパティに1つ以上のサイトが含まれるアセットのみを検索します。
 - サイトなし: サイト・プロパティが空のアセットのみを検索します。詳細は、[サイトにリストされていない品目](#)を参照してください。

登録サイトの詳細は、[複数サイト環境のアセット](#)を参照してください。
3. 完全なアセット名またはアセット名の一部、ID、または両方を入力するか貼り付けます。
 - エントリが複数ある場合は、カンマまたは改行で区切ります。

- 名前と ID を同じ検索条件で併用できます。たとえば、**グラス**、**xprod2162** を入力すると、**グラス**という単語が含まれ、ID が **xprod2162** であるすべての項目が返されます。
4. (オプション)+ボタンをクリックして、特定のASET・プロパティを問い合わせることで、検索をさらに絞り込めます。

次の例では、「ブランド」プロパティの値が「Home」で終わるすべてのASETを問い合わせます。



再び+ボタンをクリックして、目的のASETに関する詳細を指定することで、検索条件をさらに絞り込めます。複数の条件を作成する場合は、問合せ演算子を選択します。

- 「すべて一致(AND)」で、作成したすべての条件に一致するASETが返されます。
- 「いずれかに一致(OR)」で、1つ以上の条件に一致するASETが返されます。

条件を削除するには、対応する x ボタンをクリックします。

注意: 記事の本文のプロパティを問い合わせる場合、次の比較演算子を使用しないでください。ends with、ends with (case sensitive)、is (exact match)、is not (exact match)、is one of および is not one of。

5. 「検索」をクリックします。

検索結果は、パネル下部のリストに表示されます。

「検索」パネル内の基準および結果は、Merchandising から「ターゲット設定およびセグメンテーション」などの別のアプリケーションにナビゲートしてから Merchandising UI に戻ると、消去されます。

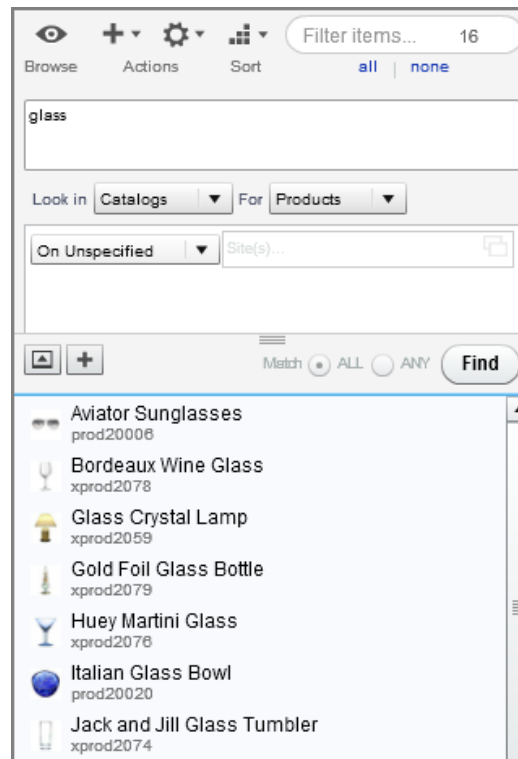
指定した文字または単語を含んだ名前のみが表示されるように、検索結果のリストを絞り込む方法については、[結果のフィルタリング](#)を参照してください。

結果のフィルタリング

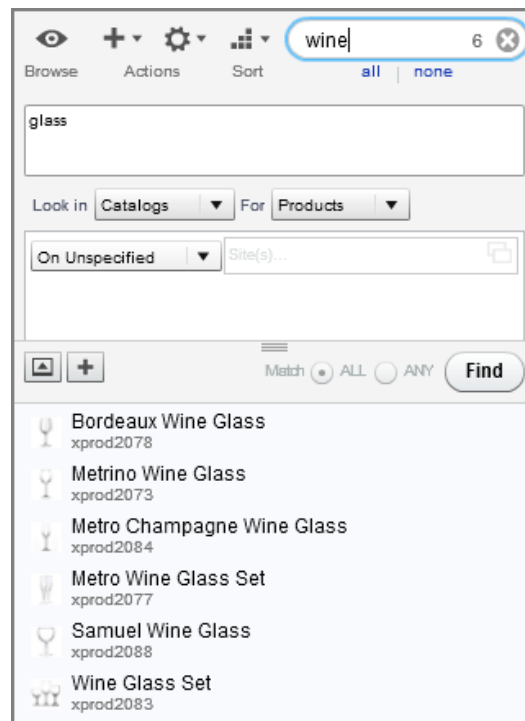
「フィルタ」コントロールを使用すると、「参照」または「検索」パネルおよび「プロジェクト」ダイアログ・ボックスの子ASET・リストの内容を素早く絞り込めます。

まず、「フィルタ」コントロールにテキストを入力または貼り付けます。「フィルタ」コントロールは、入力した文字または数字に一致します。この場合、ASET名または ID の始まりのみでなく、その中に含まれる文字や数字にも一致します。通常、入力する文字数が多いほど、一致する数は少なくなります。最長 50 文字まで入力できます。カウンタには、リストの一致数が表示されます。

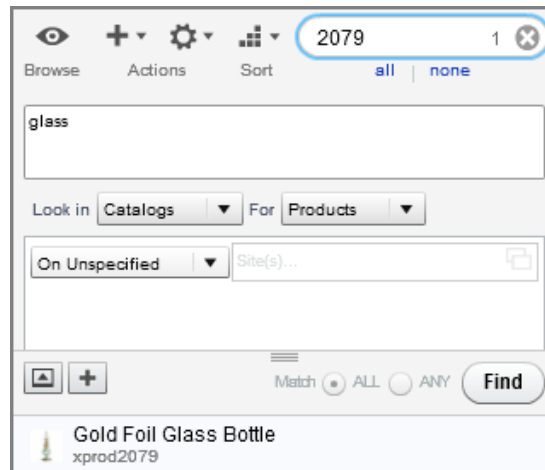
次の例では、**グラス**の検索結果に 15 の製品があります。



「フィルタ」コントロールにワインと入力すると、検索結果リストの内容が変更されて、名前にグラスとワインの両方が含まれる 6 つの製品のみが含まれます。



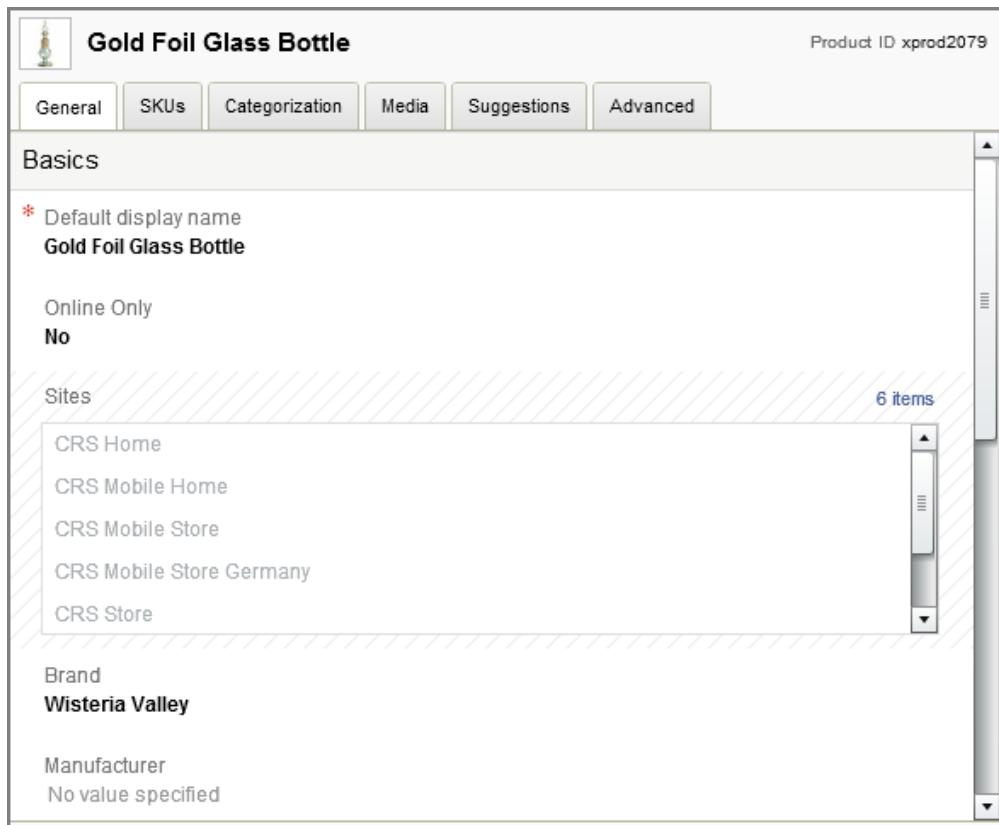
削除アイコンをクリックして「フィルタ」コントロールを消去し、2079 と入力すると、検索結果には、ID が xprod2079 の製品 1 つのみが表示されます。



詳細ペインの使用

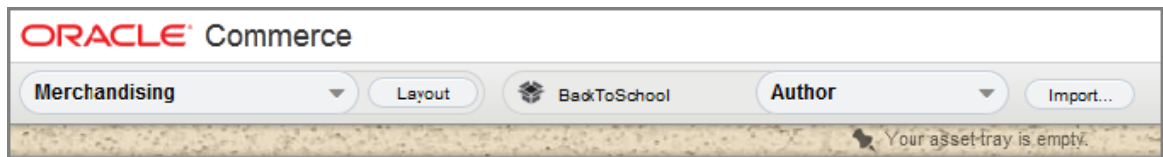
Merchandising でアセットを選択すると、そのプロパティは詳細ペインに表示されます。このペインは、見やすくするためにタブに分かれています。アセットは、ナビゲーション・ペインで選択することも、別のアセットの詳細ペインから選択することもできます。たとえば、製品の親カテゴリを選択できます。どのような方法でアセットにアクセスしても、その詳細ペインには同じ情報が表示されます。

詳細は、[アセットの作成と管理](#)を参照してください。

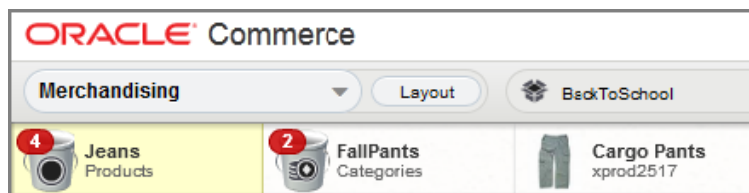


アセット・トレイの使用

Merchandising ウィンドウ上部に表示されるアセット・トレイは、複数編集操作などで編成および編集できるアセットをブックマークします。アセット・トレイにアセットがない場合は、ナビゲーション・ペインおよび詳細ペインの上部に細いバーとして表示されます。



アセットをアセット・トレイに追加すると、アセット・トレイが展開されてブックマークが表示されます。



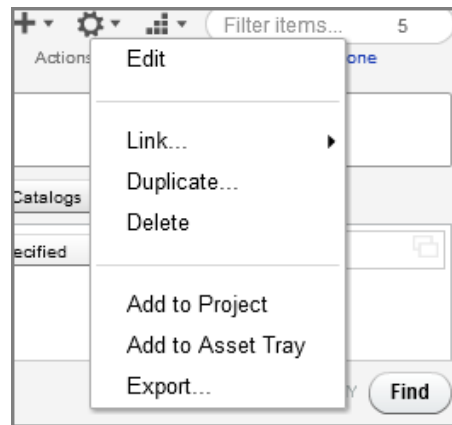
ナビゲーション・ペインからアセット・トレイへのアセットの追加

アセットをアセット・トレイに追加しても、プロジェクトには追加されません。アセット・トレイ内のアセットは、たとえば、複数編集操作の一部として正常に更新された場合など、変更された場合にのみ、プロジェクトに追加されます。**Business Control Center** からログアウトした場合やセッションが失効した場合、アセットはアセット・トレイ内に残ります。

注意: レイアウト・ビューでアセットをアセット・トレイに追加する方法は、[ビジュアル・マーチャンダイジングでの作業](#)を参照してください。

アセットをアセット・トレイに追加するには

1. 「検索」パネルまたは「参照」パネルで、編集するアセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。アセットをアセット・トレイに追加するときに、子アセットは自動的に選択されません。
2. ツールバーの「処理」ボタンをクリックして、「アセット・トレイに追加」を選択します。



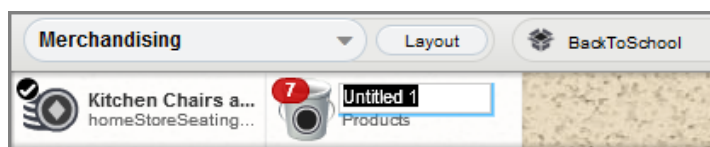
または、選択したアセットをアセット・トレイにドラッグできます。詳細は、[アセット・トレイへのアセットのドラッグのヒント](#)および [Merchandising](#) でのドラッグ・アンド・ドロップの使用を参照してください。

アセット・トレイが展開され、1つ以上のタイルが表示されます。各タイルは、1つ以上のアセットを表します。デフォルトでは、異なるタイプのアセットを選択した場合は、**Merchandising** によって自動的にタイプ別にグループ化されます。たとえば、製品と SKU の両方をアセット・トレイにドラッグした場合は、2つのタイルが表示され、1つには製品が、もう1つには SKU が含まれます。

注意: 管理者によって、アセット・トレイに追加した各アセットがデフォルトで個別のタイルとして表示されるように構成されている場合があります。

各タイルには、そのタイルが表しているアセットの数とタイプが表示されます。

3. 新しいタイルがアセットのグループを表す場合は、タイルのわかりやすい名前を入力します。この名前は、アセット・トレイ内のアセットを追跡するのに役立つのみであり、グループ内のアセットのプロパティにはなりません。タイルの名前を入力しない場合は、Untitled 1、Untitled 2 のような名前が **Merchandising** によって自動的に付けられます。



4. アセット・トレイからタイルを削除するには、右上に X が表示されるまでマウス・ポインタをタイル上に移動します。X をクリックします。

アセット・トレイへのアセットのドラッグのヒント

アセットをアセット・トレイにドラッグするときは次の点に留意してください。

- 複数のアセットをアセット・トレイにドラッグする場合、アセットをドロップするときに[Ctrl]キーを押すことによって、各アセットを個別のタイルとして追加できます。
- アセットのグループを表すタイルがアセット・トレイにすでに含まれている場合、その同じタイプの 1 つ以上のアセットをアセット・トレイにドラッグしても、自動的に既存のグループに追加されません。アセット・トレイの空の部分にアセットをドラッグすると、個別のタイルまたはグループとして追加されます。

これらのアセットを「検索」パネルまたは「参照」パネルから既存のグループに追加するには、そのグループのタイルにドラッグします。

すでにアセット・トレイ内にあるアセットをグループ化するには、1 つ以上のアセットを選択してグループにドラッグします。個別のアセットと他のグループの両方をグループに追加できます。

グループには、製品や SKU など、同じタイプのアセットのみを含めることができる点に留意してください。

- タイルの順序を変更するには、アセット・トレイ内の新しい場所にタイルをドラッグします。
- アセット・トレイ内のアセットをリンクするには、1 つ以上のタイルを選択し、[Ctrl]キーを押しながら別のタイルにドラッグします。たとえば、製品をカテゴリにリンクするには、製品のタイルをカテゴリのタイルにドラッグし、[Ctrl]キーを押しながら製品のタイルをドロップします。

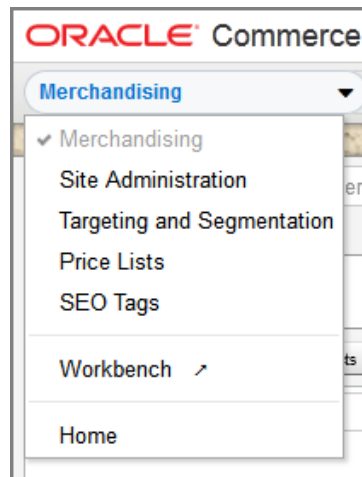
アセット・トレイでのアセットの使用

アセット・トレイでアセットがブックマークされると、簡単にアセットにアクセスして次の処理を実行できます。

- アセットのグループを表すタイルで複数編集操作を実行します。[複数編集の使用](#)を参照してください。
- アセットを編集します。タイルをダブルクリックして、選択したアセットの詳細ペインを別のウィンドウで表示します。[アセット・プロパティの作業](#)を参照してください。
- ナビゲーション・ペインまたはアセット・トレイで、アセットを別のアセットにリンクします。[アセット・トレイへのアセットのドラッグのヒント](#)、[アセットのリンク付けとリンク解除](#)および [Merchandising](#) でのドラッグ・アンド・ドロップの使用を参照してください。
- コレクション・エディタでコレクションにアセットを追加します。[コレクション・エディタでの作業](#)および [Merchandising](#) でのドラッグ・アンド・ドロップの使用を参照してください。

プロジェクトのナビゲーション

Merchandising ウィンドウの左上に表示されるメニューからは、プロジェクトの様々な部分に素早く移動できます。プロジェクトの他の部分に移動するか、Merchandising を終了して Endeca Workbench または Business Control Center ホームページに戻るには、下向きの矢印をクリックして、表示されるメニューの場所を選択します。



注意: このメニューで選択可能な場所は、ユーザー・プロファイルに関連付けられた権限によって異なります。この図で示されているよりも多い場所または少ない場所が表示されることがあります。

4 アセットの作成と管理

この章では、Merchandising におけるカタログ・アセットの作成と管理の概要を示します。この章の後に続く7つの章では、Merchandising でサポートされる各アセット・タイプの作成および管理方法について説明します。

注意: この章では、Merchandising で使用可能なアセット・タイプでの作業方法について説明します。その他のアセットでの作業方法は、次の章を参照してください。

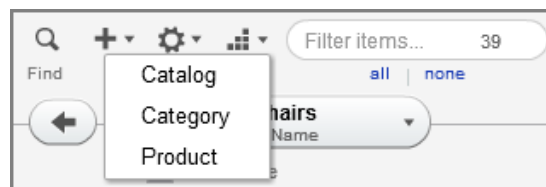
- SEO タグ: [SEO タグの作成と管理](#)
- 価格表: [価格表の作成と管理](#)

新しいアセットの作成

この項では、Commerce アセットの作成方法について概要を示します。この章の後に続く章では、カタログ・フォルダ、カタログ、カテゴリ、製品、SKU、コンテンツ・フォルダ、コンテンツ項目、プロモーションとクーポン、ストアの場所、カタログ・メディア・フォルダおよびカタログ・メディア項目を含む、Merchandising でサポートされる各アセット・タイプの作成および管理方法について説明します。

新しいアセットを作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで「参照」パネルを使用して、新しいアセットの親になるアセットにナビゲートします。たとえば、新しい製品を作成するには、その製品を作成するカテゴリにナビゲートします。
詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、作成するアセットのタイプを選択します。



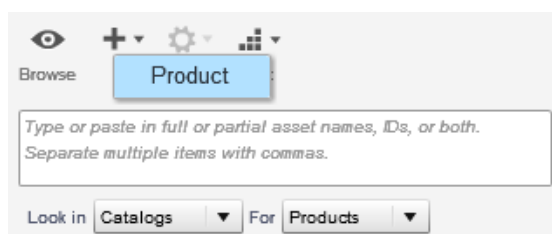
表示されるアセット・タイプのリストは、次の条件によって異なります。

- ユーザー・プロファイルに関連付けられている権限。権限について不明な点がある場合は、管理者に問い合わせてください。
- カタログ項目の場合、左側のナビゲーション・ペインのカタログ階層内の位置
たとえば、「参照」パネル内のカタログのトップレベルで、カタログまたはカテゴリを作成できます。もう1つ下のレベルのカテゴリにドリルダウンすると、カタログ、カテゴリまたは製品を作成できます。詳細は、「[参照](#)」パネルを参照してください。

3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。必須フィールドは星でマークされています。様々なタイプの Merchandising プロパティ・エディタを使用する方法は、[アセット・プロパティの作業](#)を参照してください。
4. 「作成」をクリックします。
新しいアセットがナビゲーション・ペインに表示されます。管理者が Merchandising を構成した方法によっては、アセットのタイルがアセット・トレイに表示される場合もあります。

「検索」パネルからのアセットの作成

「参照」パネルの階層内でアセットを作成できるのみでなく、「検索」パネルからもアセットを作成できます。「検索」パネルでは、「対象」ドロップダウン・メニューで現在選択されている、どのようなタイプのアセットでも作成できます。



「参照」パネルで親を選択して作成するアセットとは異なり、「検索」パネルから作成するほとんどのアセットには、詳細ペインで指定されている親アセットが自動的に設定されません。親を指定しないと、予期しないデフォルトの場所にアセットが作成されます。新しく作成したアセットの各タイプのデフォルトの場所に関する詳細は、この章の後の章を参照してください。

既存のアセットの複製

場合によっては、一度に1つのアセットを個々に作成するよりも、カタログの既存部分を複製した方が簡単です。たとえば、複数サイト環境では、構造や製品セットなどの特性を共有する複数のカタログを作成しても、価格表は別々に使用する必要がある場合があります。その場合、サイト間でカタログをコピーし、必要に応じてプロパティ値を変更します。

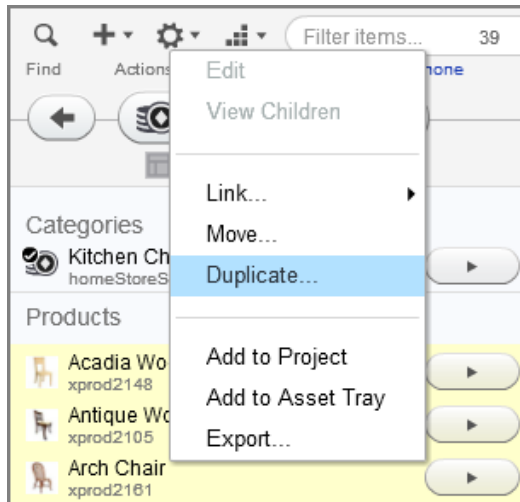
たとえば、カテゴリのコピーには、元と同じ階層内で編成されているそのカテゴリのすべての子のコピーが含まれます。複製アセットに割り当てられるデフォルト名は、元の名前に(**copy**)が付きます。ただし、別の形式を使用するように管理者がカスタマイズしていることもあります。

複製アセットは元のアセットの正確なコピーではありません。デフォルトでは、**Merchandising** で扱うことができるほとんどすべてのプロパティがコピーされます。作成日などの一部のプロパティはコピーされません。管理者は、どのプロパティが複製アセットにコピーされるかを管理できます。

複製は、コピー元のアセットからは完全に独立しており、一方に行われた変更は他方に反映されません。ただし、複製アセット内で階層を維持している子アセットは、元の子アセットにリンクされています。元のアセットの子のいずれか1つのプロパティ値を変更すると、複製アセットの子にもその変更が反映されます。子アセットを含んだ価格表フォルダまたはメディア・フォルダを複製すると、これらの子アセットも複製されますが、元の子アセットのリンクは複製されません。

アセットを複製するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、複製するアセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. ツールバーの「処理」ボタンをクリックして、「複製」を選択します。



3. 表示されたダイアログ・ボックスで、複製を含める親アセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
4. 「OK」をクリックします。

アセットのリンク付けとリンク解除

カタログ・アセットをリンクすると、親アセットに関連付けられます。複数のカタログまたはカテゴリに製品を表示させる場合に、リンクが役立ちます。たとえば、カタログの"アウトドア・カテゴリ"に、"ガス火鉢"という製品が含まれているとします。この製品を"父の日のギフト"カテゴリにも表示させるには、製品をそのカテゴリにリンクするのみで済みます。

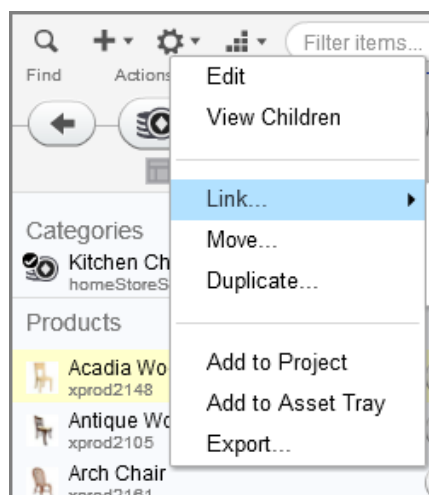
リンクされたアセットには複数の親があり、各場所に 1 つの親があります。ある場所のアセットに変更を加えると、その変更はすべての場所で反映されます。

注意: メディア・アセット、コンテンツ・アセット、プロモーション、クーポン、SEO タグ、ストアのテキスト、ストアの場所または価格表は、リンクまたはリンク解除できません。

アセットのリンク付け

アセットを他の親にリンクするには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、リンクするアセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. ツールバーの「処理」ボタンをクリックして、「リンク」→「リンク」を選択します。



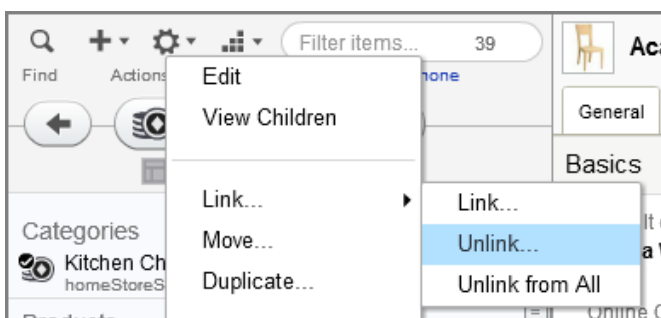
3. 表示されたダイアログ・ボックスで、親カタログまたは親カテゴリを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
4. 「OK」をクリックします。

アセットのリンク解除

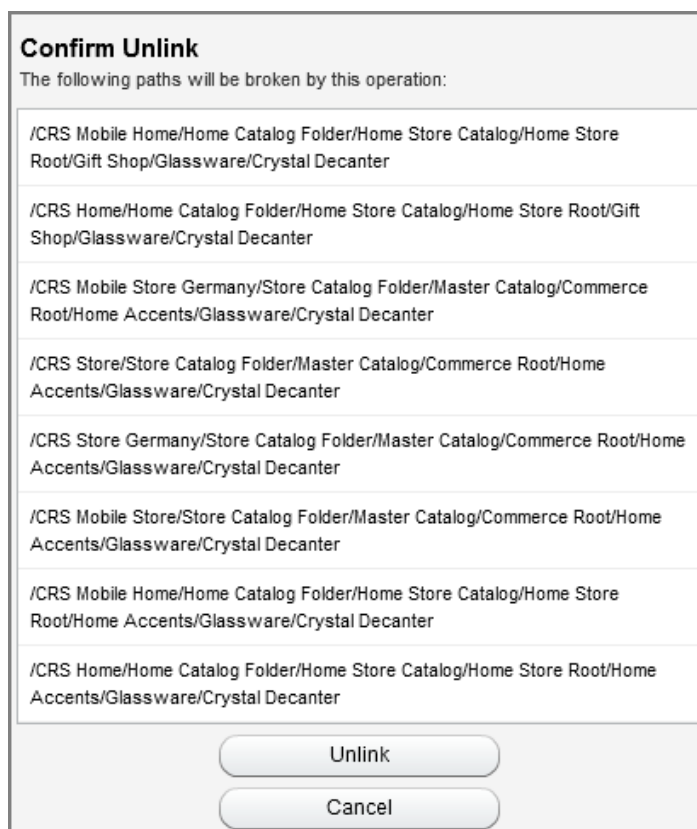
リンクを解除すると、アセットと親の間の関連付けが切断されます。1つの親またはすべての親からアセットをリンク解除できます。すべての親からアセットをリンク解除すると、そのアセットとすべての子は「非分類品目」リストに移動されます。複数サイト環境の場合は「サイトにリストされていない品目」リストに移動されます。詳細は、[非分類品目とサイトにリストされていない品目](#)を参照してください。

1つまたはすべての親からアセットをリンク解除するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、リンク解除するアセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. 「処理」ボタンをクリックして、「リンク」を選択します。



3. 次のいずれかを選択します。
 - リンク解除... 選択した親からのみアセットを削除します。
 - すべての親からリンク解除... カatalog階層内のすべての場所からアセットを削除します。
4. 「リンク解除の確認」ダイアログ・ボックスで、リンク解除によって切断される関連付けを確認します。「リンク解除」をクリックして、アセットをリンク解除します。



非分類品目とサイトにリストされていない品目

カタログ階層内のどの親にもリンクされていないカタログ・アセットは、「参照」パネルの「カタログ」リスト上部にある別リストに表示されます。

- 登録サイトのない環境(デフォルト)の場合、これらの品目は「非分類品目」リストに表示されます。
- 複数サイト環境の場合、これらの品目は「サイトにリストされていない品目」リストに表示されます。

非分類アセットとサイトにリストされていないアセットでも、他のカタログ・アセットと同じように表示および作業できます。リストをオープンし、アセットをダブルクリックしてプロパティを表示します。

「非分類品目」または「サイトにリストされていない品目」リストでは新しいアセットを作成できず、アセットをこれらのリストにドラッグできません。

「非分類品目」または「サイトにリストされていない品目」リストからアセットを移動するには、カタログ階層内の親にリンクします。詳細は、[アセットのリンク付けとリンク解除](#)を参照してください。

非分類品目

非分類品目は、カタログ階層内の親にリンクされていないカテゴリ、製品または SKU です。つまり、これらはカタログに関連付けられていません。非分類品目は、Web サイトのナビゲーションには表示されず、非分類品目が検索結果に表示されるように管理者がサイトを特に構成しないかぎり、訪問者はこれらの品目を検索できません。

次のいずれかの状況になると、カテゴリ、製品または SKU は非分類品目になります。

- 「リンク解除」または「すべてリンク解除」コマンドで、すべての親からリンク解除された場合。
- ひもづけられた親階層からリンク解除された場合。たとえば、ある製品の唯一の親カテゴリが非分類品目の場合、その製品も非分類になります。製品のすべての子（その製品に関連付けられている SKU など）も非分類になります。
- 外部データ・フィードを介して Merchandising にインポートされた場合。ほとんどの場合、インポートされるアセットは製品と SKU であるため、通常このケースに該当するのは、これらの品目のみです。
- Merchandising の「検索」パネルから作成された場合。詳細は、「[検索](#)」パネルからのアセットの作成を参照してください。

サイトにリストされていない品目

複数サイト環境の場合、サイトにリストされていない品目は、サイト・メンバーシップがない、つまり、環境の登録サイトのいずれにも関連付けられていないカタログ・フォルダ、カタログ、カテゴリ、製品または SKU です。サイトにリストされていない品目は、Web サイトのナビゲーションには表示されず、サイトにリストされていない品目が検索結果に表示されるように管理者がサイトを特に構成しないかぎり、訪問者はこれらの品目を検索できません。

次の場合、カタログ、カテゴリ、製品または SKU は、サイトにリストされていない品目になります。

- 「リンク解除」または「すべてリンク解除」コマンドで、全サイトのすべての親からリンク解除された場合。
- ひもづけられた親階層からリンク解除された場合。たとえば、ある製品の唯一の親カテゴリが、サイトにリストされていない品目の場合、その製品もサイトにリストされていない品目になります。製品のすべての子（その製品に関連付けられている SKU など）も、サイトにリストされていない品目になります。
- 外部データ・フィードを介して Merchandising にインポートされた場合。ほとんどの場合、フィードを介してインポートされるアセットは製品と SKU です。
- Merchandising の「検索」パネルから作成された場合。詳細は、「[検索](#)」パネルからのアセットの作成を参照してください。

アセットの移動

アセットを移動すると、移動したアセットの親が変わることで、カタログの構造が変化します。たとえば、製品を「非分類品目」リストからカタログ内のカテゴリに移動できます。

一度に複数のアセットを移動できますが、すべて同じ移動先に移動する必要があります。子アセットもすべて移動されます。

アセットを移動するには

1. 「参照」パネルで、移動するアセットを選択します（「検索」パネルではアセットを移動できません）。詳細は、「[ナビゲーション・ペインの使用](#)」を参照してください。子アセットもすべて自動的に選択される点に留意してください。
メディア・アセット、プロモーション、プロモーション・フォルダ、クーポンおよびクーポン・フォルダも「検索」パネルで選択できます。
2. ツールバーの「処理」ボタンをクリックして、「移動」を選択します。

- 表示されたダイアログ・ボックスで、新しい親アセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
- 「OK」をクリックします。

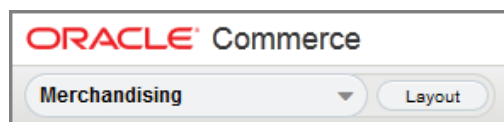
アセットのプレビュー

Merchandising ではアセットをプレビューして、実際に稼働中の Web サイトで変更がどのように反映されるかを確認できます。プレビュー機能は管理者が設定する必要があります。管理者がプレビューを使用可能にしている場合、「レイアウト」ボタンおよび「プレビュー」ボタンは Merchandising ユーザー・インタフェースに表示されません。

注意: 管理者がビジュアル・マーチャンダイジング機能を使用可能にした場合は、アセットをプレビュー・セッションから直接編集できます。詳細は、[ビジュアル・マーチャンダイジングでの作業](#)を参照してください。

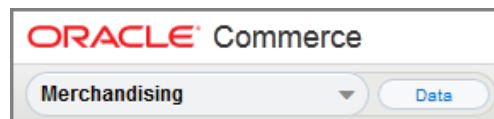
Merchandising から任意の時点でプレビュー・セッションを起動するには、次の手順を完了します。

- Merchandising ウィンドウ上部の「レイアウト」ボタンをクリックします。



管理者がプレビューを使用可能にしたときに構成したデフォルトのランディング・ページ、プレビュー・ユーザーおよびサイトを使用して、プレビュー・セッションが即座に起動します。ブラウザ・ウィンドウで Merchandising はプレビュー・セッションに置き換えられます。

- ランディング・ページ、ユーザー、サイトまたはプレビュー日時を変更するには、[プレビュー・セッションのオプションの変更](#)を参照してください。
- プレビュー・セッションをクローズして Merchandising に戻るには、「データ」ボタンをクリックします。

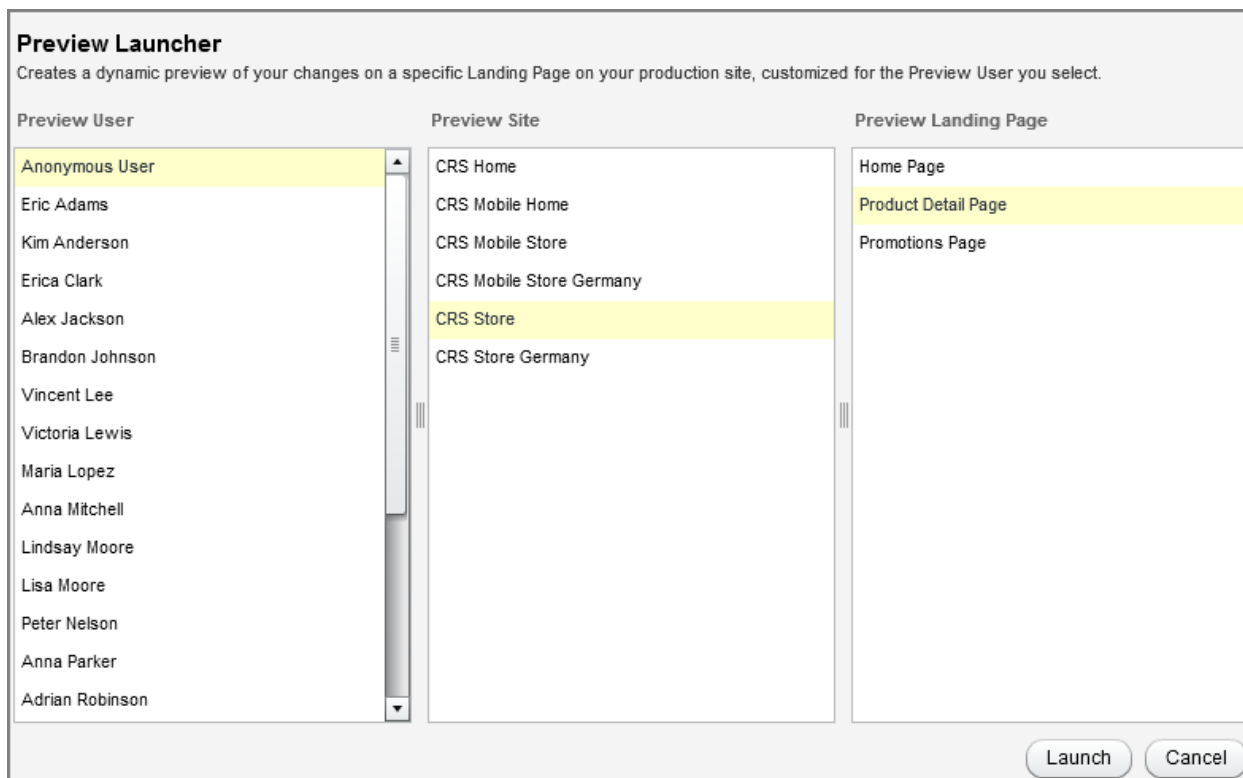


アセットの編集集中にプレビュー・セッションを起動するには、次の手順を完了します。

- プレビューするアセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。現在作業しているアセットをプレビューする場合は、変更を必ず保存してください。
- 詳細ペイン下部の「プレビュー方法」ボタンをクリックします。

「プレビュー方法」によって「プレビュー・ランチャ」ダイアログ・ボックスがオープンします。このダイアログ・ボックスで、ページの表示に使用するプロファイルを持つプレビュー・ユーザー、プレビュー・ランディング・ページ、および複数サイト環境ではプレビュー・サイトを選択します。

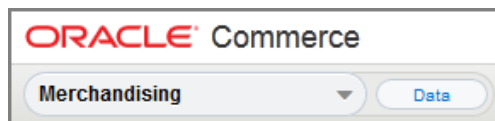
- プレビュー・ユーザー: ページを表示するときに使用するユーザー・プロファイルです。
- プレビュー・サイト: 複数サイト環境の場合は、ページを表示するサイトです。
- ランディング・ページのプレビュー: プレビューする Web サイト・ページです。



3. 「起動」をクリックして、選択したランディング・ページ、ユーザー・プロフィールおよびサイト（オプション）を使用するプレビュー・セッションを起動します。

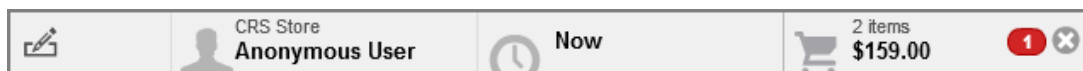
詳細ペインで、アセットからプレビュー・セッションを起動すると、そのプロパティ・ウィンドウに「プレビュー」/「プレビュー方法」ボタンの組合せが表示されます。

- 「プレビュー」により、そのアセットから起動された最後のプレビュー・セッションのユーザー・プロフィール、ランディング・ページ、サイト設定を使用して、新しいプレビュー・セッションが開始されます。
- 「プレビュー方法」により、「プレビュー・ランチャ」ダイアログがオープンします。このダイアログでは、新しいプレビュー・セッションを起動する前にプレビュー設定を変更できます。
- プレビュー・セッションをクローズするには、「データ」ボタンをクリックします。



プレビュー・セッションのオプションの変更

各プレビュー・セッションでは、ブラウザ・ウィンドウ上部にプレビュー・ツールバーが表示されます。



プレビュー・セッションを使用している間に、これらのコントロールを使用して、プレビュー・オプションを変更します。

- **ユーザー/サイト**では、「プレビュー・ランチャ」ダイアログが表示されます。このダイアログで、プレビュー・セッション用に異なるランディング・ページ、ユーザー・プロフィールおよびサイト（オプション）を選択できます。
- **日付/時間**では、「日付/時間でプレビュー」ダイアログが表示されます。このダイアログで、プレビュー・セッション用に異なる日時を選択できます。
- 「**プロモーション**」では、「プロモーションの視認性」ウィンドウが表示されます。詳細は、[プロモーションのプレビューとテスト](#)を参照してください。

注意: Merchandising からログアウトするときにプレビュー・オプションの変更は保存されません。

プレビュー・セッションの日時の変更

変更が今すぐに、または将来の日時に配置された場合に、サイトがどのように表示されるかをプレビューすることを選択できます。たとえば、次月まで稼働開始しない季節的なマイクロサイトに対して作業しているとします。プレビュー日を稼働開始日（アセットの「開始日」プロパティによって指定される）に設定すると、サイトが開始日にどのように表示されるかを確認できます。

プレビュー・セッションの日時を変更するには、次の手順を完了します。

1. プレビュー・ツールバーの日付/時間アイコンをクリックして、「日付/時間でプレビュー」ダイアログを表示します。

2. 将来のある日時におけるアセットの表示をプレビューするには、カレンダーをクリックして日付を選択します。上下の矢印を使用して、時間、分および時刻の AM/PM の部分を設定します。

注意: 日時は、サーバーの日時に基づいて評価されます。

現時点におけるアセットの表示をプレビューするには、「現在」ボタンをクリックします。

3. 「日付/時間の設定」をクリックします。

プレビュー・ツールバーが変更され、新しいプレビュー日時が表示されて、その将来の日付におけるアセットの表示をプレビューしていることが示されます。



4. (オプション)プレビュー日時を「現在」に戻すには、日付/時間コントロール内の X アイコンをクリックします。

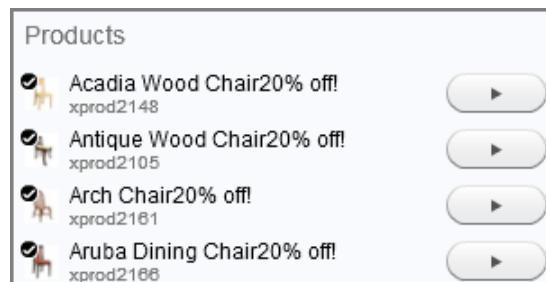
変更の確認

Merchandising では、作業しているアセットと、最も最近チェックインされたそのアセットのバージョンを比較することで、アセットに対して行われた変更を確認できます。個々の変更を任意で元に戻すことができます。

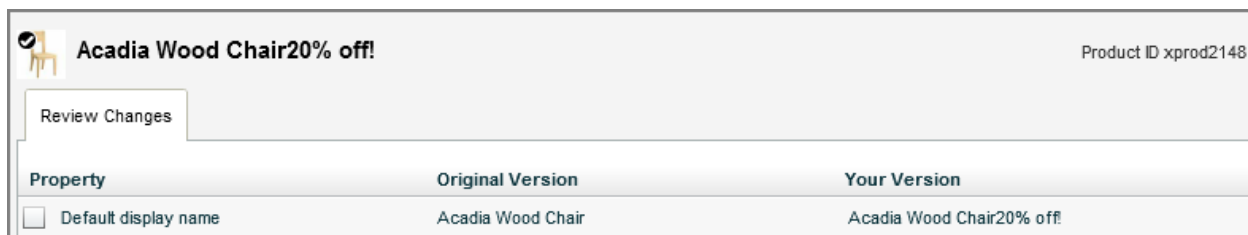
アセットへの変更を確認するには、次の手順を完了します。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、変更を確認するアセットを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。

ヒント: 確認する前に、変更を保存する必要があります。変更が保存されたアセットを「参照」ペインで表示すると、チェック・マーク・バッジが付いています。次の図のすべての製品に、保存された変更があります。



2. 詳細ペイン下部の「変更のレビュー」ボタンをクリックします。



3. (オプション)変更を元に戻すには、変更したプロパティの名前の横にあるチェック・ボックスをクリックしてから、「選択された変更を元に戻す」をクリックします。
4. アセットの確認を終えたら、「クローズ」をクリックします。

アセットの削除

サイトでアセットが不要になった場合は、システムから削除できます。

プロジェクトの配置前にアセットを削除すると、そのアセットは **Merchandising** とその基盤となるデータベースから即座に削除されます。続く章では、特定のタイプのアセットを削除する方法について説明します。

すでに配置されているアセットを削除するには、アセットを削除するための新しいプロジェクトを作成し、そのプロジェクトを配置する必要があります。配置済のアセットをシステムから削除する方法は、『[ATG Web Commerce コンテンツ管理ガイド](#)』を参照してください。

配置されていないアセットを削除するには

1. 「検索」パネルで、削除するアセットを選択します（「参照」パネルではアセットを削除できません）。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。子アセットもすべて自動的に選択される点に留意してください。
2. ツールバーの「処理」ボタンをクリックして、「削除」を選択します。
3. 「OK」をクリックして、アセットを削除します。

親アセットとリンク付けされたアセットの削除

製品を含んだカテゴリなど、親アセットを削除すると、子アセットは「非分類品目」リストまたは「サイトにリストされていない品目」リストに移動され、相互の階層関係が維持されます。唯一の例外は、他のカタログ・フォルダを含んだカタログ・フォルダを削除する場合です。この場合、子フォルダはカタログのルート・レベルに移動されます。詳細は、[非分類品目とサイトにリストされていない品目](#)を参照してください。

リンク付けされたアセットを削除すると、そのアセットはすべての親から削除されます。詳細は、[アセットのリンク付けとリンク解除](#)を参照してください。

複数サイト環境のアセット

複数サイト環境では、管理者により、特定のカタログ・アセット（カタログ、カタログ・フォルダ、カテゴリ、製品および SKU）が特定の登録サイトに関連付けられています。詳細ペインのアセットの「一般」タブにある「サイト」プロパティには、このカタログが属する登録サイトが表示されます。



カタログ・アセットの「サイト」プロパティは直接編集できませんが、アセットをリンクまたは移動することで様々な登録サイトに関連付けられます。[アセットのリンク付けとリンク解除](#)および[アセットの移動](#)を参照してください。

プロモーション、記事およびメディア・コンテンツ・アセットも「サイト」プロパティを持つことができます。管理者は特定の登録サイトにこれらのアセットを関連付ける必要はありません。デフォルトで、プロモーション、記事およびメディア・コンテンツ・アセットがすべてのサイトで使用可能です。これらのアセットの「サイト」プロパティは直接編集できます。詳細は、[プロモーションおよびクーポンの作成と管理](#)、[記事の作成と管理](#)および[メディア・コンテンツの作成と管理](#)を参照してください。


アセット・プロパティの作業

アセットで作業をするときは、詳細ペインでそのプロパティ値を作成および編集する必要があります。Merchandising には、アセット・プロパティを追加および編集する際に使用する多数のプロパティ・エディタがあります。

注意: ライト・テーブル・プロパティ・エディタでの作業の詳細は、[ライト・テーブルでのコレクションの編成](#)を参照してください。

テキスト・エディタでの作業

テキスト・エディタでは、製品名など、短い書式なし文字列を扱うことができます。



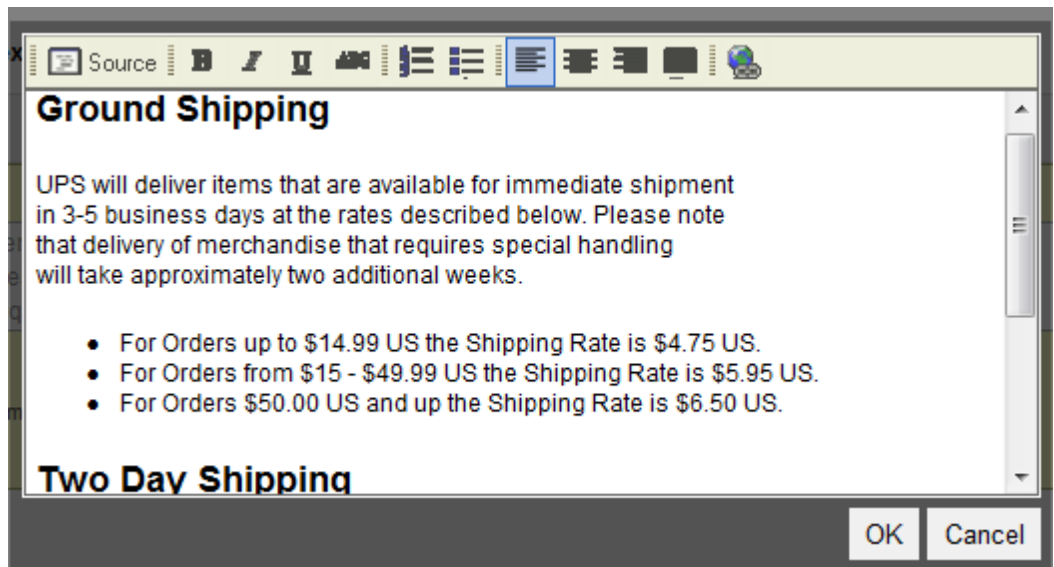
A screenshot of a text editor interface. It shows a light blue header bar with the text '* Default display name'. Below the header is a white text input field with a blue border containing the text 'Chippendale Dining Chair'.

テキスト・エディタでテキストを追加または編集するには、次の手順を完了します。

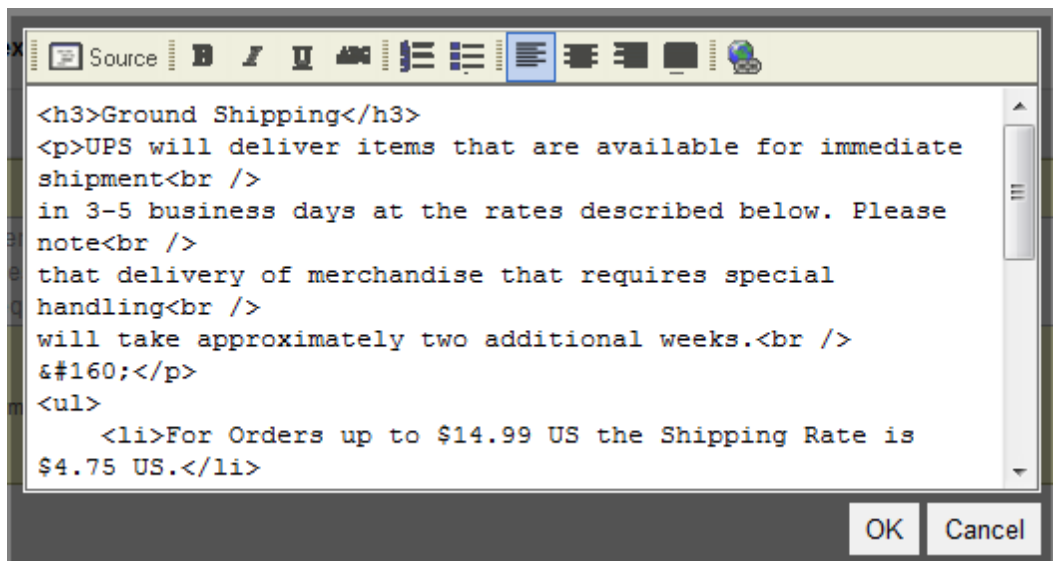
1. エディタをクリックします。
2. ボックスにテキストを入力するか貼り付けます。
3. (オプション) 詳細ペインで他のプロパティ値を設定します。
4. 変更が終わったら、詳細ペイン下部にある「作成」または「保存」ボタンをクリックします。

HTML エディタでの作業

Merchandising には CKeditor という HTML エディタがあり、製品のデフォルト詳細摘要などの長い文字列プロパティに対し、リッチテキスト形式で編集および適用するために使用できます。



このエディタでは、WYSIWYGとHTML 両方のソース・コード表示が提供されます。



CKEditor は、このエディタを必要とする Oracle Commerce Platform アプリケーションとともに自動的にインストールされます。このエディタの詳細なドキュメントは、CKSource Docs Web サイトで入手できます。

WYSIWYG エディタでテキストを追加または編集するには、次の手順を完了します。






1. 詳細ペインで、編集するプロパティをクリックします。
2. 「編集」ボタンをクリックして、エディタを起動します。
3. テキストを入力または編集します。
4. テキストを書式設定、サイズ設定および配置するには、エディタ上部のアイコンを使用します。
5. HTML コードを編集するには、「ソース」をクリックします。WYSIWYG 表示に戻すには、「ソース」を再度クリックします。

6. (オプション) 詳細ペインで他のプロパティ値を設定します。
7. 変更が終わったら、詳細ペイン下部にある「作成」または「保存」ボタンをクリックします。
注意: 変更が保存されると、適用した書式設定は詳細ペインに表示されない場合があります。

コレクション・エディタでの作業

コレクション・エディタでは、あるカテゴリの固定子製品のリストなど、コレクション・プロパティを扱うことができます。コレクションからアセットを追加および削除したり、コレクションの既存のアセットを編集したり、コレクションのアセットの順序を変更したりできます。

Merchandising には、順序付けされたコレクション用および順序付けされていないコレクション用のエディタがあります。順序付けされたコレクションの各アセットには、コレクション内で特定の位置があります。

Fixed child products		Clear all		5 items	
	Order	ID	Display Name		
	1	xprod2113	 Metro Chair		✕
▲	2	xprod2122	 Holland Vintage Stool		✕
▲	3	xprod2145	 Mission Bar Stool		✕
▲	4	xprod2162	 Berber Bar Chair		✕
▲	5	xprod2092	 uPod Stool		✕

Reorder Select... +

順序付けされていないコレクションは、アセットの簡単なリスト(カタログのルート・カテゴリなど)や、キーと値のペアのマップ(Commerce 参照ストアがインストールされている場合に製品の「拡張」タブに表示される翻訳など)です。順序付けされていないコレクションの項目は、Merchandising ではアルファベット順に表示され、順序を変更することはできません。

Translations		Clear all		2 items	
	Key	Value			
	de	Tasche Cowgirl			✕
	es	Bolso vaquero			✕

Select... +

コレクション・エディタでアセットを扱うには、次の手順を完了します。

1. エディタをクリックしてアクティブ化します。
2. 次のタスクのいずれかを実行します。
 - [コレクションの新しいアセットの作成](#)
 - [コレクションへの既存のアセットの追加](#)
 - [コレクションのアセットの編集](#)
 - [コレクションからのアセットの削除](#)
 - [コレクションのアセットの順序変更](#)
3. 変更が終了したら、詳細ペイン下部の「保存」ボタンをクリックします。

コレクションの新しいアセットの作成

コレクション・エディタから新しいアセットを作成すると、アセットは自動的にプロジェクトに追加されます。

コレクションの新しいアセットを作成するには、次の手順を完了します。

1. コレクション・エディタで、+ボタンをクリックして、表示されたウィンドウのプロパティ・フィールドに入力します。詳細は、[新しいアセットの作成](#)を参照してください。
2. 「作成」をクリックします。

新しいアセットがコレクションの最初の項目として表示されます。順序付けされていないコレクションまたはマップでは、変更を保存すると、コレクションはアルファベット順に順序変更されます。

コレクションへの既存のアセットの追加

アセットをコレクションに追加すると、アセットは自動的にプロジェクトに追加されます。

既存のアセットをコレクションに追加するには、次の手順を完了します。

1. コレクション・エディタで、「選択」ボタンをクリックし、表示されたナビゲーション・ペイン・ウィンドウを使用してアセットを参照または検索します。

新しいアセットはコレクション上部に表示されます。順序付けされていないコレクションまたはマップでは、変更を保存すると、コレクションはアルファベット順に順序変更されます。
2. または、既存のアセットをナビゲーション・ペインまたはアセット・トレイからドラッグし、コレクション・エディタにドロップすることもできます。

順序付けされたコレクションにアセットをドラッグする場合、ドロップする潜在的な場所にマウスを重ねると水平の線が表示されます。

順序付けされていないコレクションにアセットをドラッグする場合、新しいアセットはコレクション上部に表示されます。変更を保存すると、コレクションはアルファベット順に順序変更されます。

コレクションのアセットの編集

コレクション・エディタでアセットを編集すると、アセットは自動的にプロジェクトに追加されます。

コレクションのアセットを編集するには、次の手順を完了します。

1. コレクション・エディタで、アセットの表示名をクリックして、表示されたウィンドウのプロパティ・フィールドに入力します。詳細は、[新しいアセットの作成](#)を参照してください。
2. 「保存」をクリックします。

コレクションからのアセットの削除

アセットをコレクションから削除しても、システムからは削除されません。アセットをコレクションから削除すると、アセットは自動的にプロジェクトに追加されます。

アセットをコレクションから削除するには、次の手順を完了します。

1. コレクション・エディタで、1つまたはすべてのアセットをコレクションから削除します。
 - 1つのアセットを削除するには、アセットの行の末尾にある X をクリックします。
 - すべてのアセットをコレクションから削除するには、「すべて消去」をクリックします。

コレクションのアセットの順序変更

順序付けされたコレクションの各アセットには、コレクション内で特定の位置があります。コレクションを順序変更しても、順序変更されたアセットはプロジェクトに追加されません。

コレクションのアセットの順序を変更するには、次の手順を完了します。

1. アセットをコレクションの新しい位置に移動するには、「順序」列の番号を変更して、「順序変更」ボタンをクリックします。
1からコレクションのアセット数までの番号を入力します。入力した番号がコレクションのアセット数よりも大きい場合、アセットはリストの最後に移動されます。
2. アセットをコレクションの最上部に移動するには、アセットの行の先頭にある矢印アイコンをクリックします。

1つ以上のアセットをリストの新しい位置にドラッグすることもできます。

1. 1つ以上のアセットをコレクション・エディタで選択します。複数のアセットを選択する場合、アセットは連続している必要はありません。
2. アセットをコレクションの新しい位置にドラッグしてドロップします。(ドロップする潜在的な場所にマウスを重ねると水平の線が表示されます。)
順序変更されたコレクションを反映するように順序番号が自動的に変更されます。

カレンダー・エディタでの作業

カレンダー・エディタでは、開始日や終了日など、日付と時刻のプロパティを扱うことができます。

The image shows a user interface for setting a start date and time. At the top, there is a checked checkbox labeled 'Start date'. Below it, the date '3/8/2013' and time '12:00 AM' are displayed. There are two input fields: one for the date containing '3/8/2013' with a calendar icon to its right, and one for the time containing '12:00 AM' with up and down arrow icons to its right. A 'Clear' button is located to the right of the time field.

日付と時刻を設定するには、次の手順を完了します。

1. エディタをクリックします。
2. カレンダー・アイコンをクリックして、日付を選択します。
3. (オプション)エディタに時刻が含まれている場合は、上下の矢印を使用して時間、分および時刻の AM/PM の部分を設定します。

時間エディタが使用可能で、変更の保存時に時刻を指定しない場合、時刻はコンピュータのシステム時間として保存されます。このコンピュータは、Merchandising がインストールされているパブリッシング・サーバーではなく、Web ブラウザを介して Merchandising にアクセスしているコンピュータです。

4. (オプション) 詳細ペインで他のプロパティ値を設定します。
5. 変更が終わったら、詳細ペイン下部にある「作成」または「保存」ボタンをクリックします。

URL エディタでの作業

URL エディタを使用すると、ビデオ、オーディオ・クリップ、イメージ、PDF ファイルなどのメディア・コンテンツ・アセットをポイントする URL での作業が可能になります。

URL	
<input type="text" value="/wcmdocroot/mediastore/images/large/large.JPEG"/>	Open URL

URL エディタで参照を追加または編集するには、次の手順を完了します。

1. エディタをクリックします。
2. ボックスに URL を入力するか貼り付けます。詳細は、[メディア・コンテンツの作成と管理](#)を参照してください。
3. URL をテストするには、「URL のオープン」をクリックします。
URL によって指定されたファイルが、新しいブラウザ・ウィンドウに表示されます。
Merchandising がファイルにアクセスできない場合、ブラウザが新しいウィンドウにエラーを表示します。
4. (オプション) 詳細ペインで他のプロパティ値を設定します。
5. 変更が終わったら、詳細ペイン下部にある「作成」または「保存」ボタンをクリックします。

複数編集の使用

複数編集を使用すると、複数のアセットに同じ変更を同時に適用できます。たとえば、複数編集を使用して次のことを実行できます。

- 製品をクリアランス・カテゴリに週次で追加します。
- 靴の SKU の、新規に追加されたグループの新色フラグをアクティブ化し、古い SKU のフラグを非アクティブ化します。
- 製品のリストの詳細摘要の先頭に、「秋の新商品」という語句を追加します。

複数編集は、カタログ・アセット、プロモーション・フォルダ、プロモーション、クーポン、コンテンツ・アセットおよびメディア・アセットで使用できます。複数編集は、価格表、サイト、サイト・グループまたはターゲット設定およびセグメンテーション・アセットでは使用できません。

複数編集操作でのアセットの編集

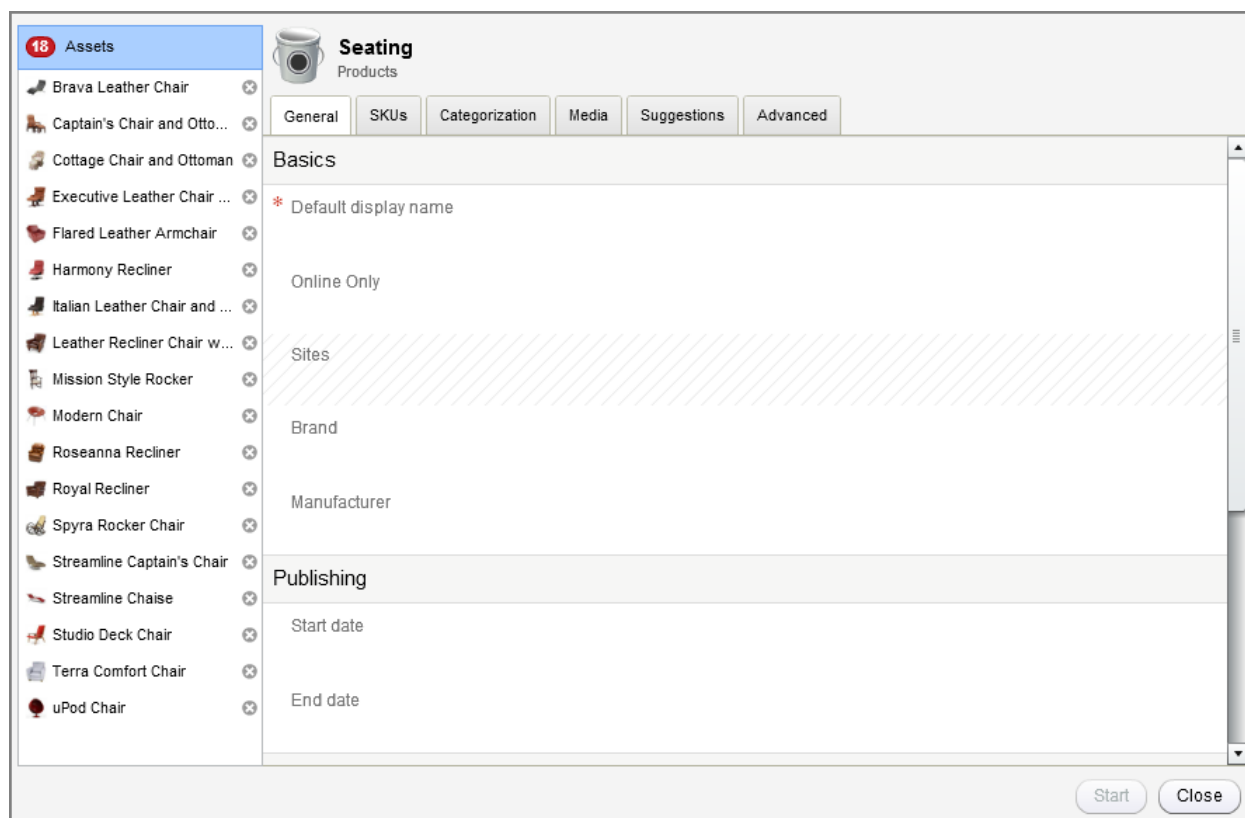
複数編集では、変更はアセット・リストのすべての項目のプロパティに適用されます。複数編集では、特に編集していないプロパティの値は変更されません。

プロパティの個別編集に適用されるのと同じ制限が、複数編集操作にも適用されます。たとえば、製品の「サイト」コレクションなどの読取り専用プロパティや、プロファイルのロールによって表示または編集が許可されていないプロパティは、編集できません。また、複数編集を使用して、次のアセット・プロパティを変更することはできません。

- 一意である必要があるプロパティ(文字列以外)。一意の文字列プロパティに、テキストを先頭追加または末尾追加できます。
- 次のプロモーション・プロパティ: 「テンプレート」、「条件およびオファー」、「プロモーション・アップセル」
- 次のクーポン・バッチ・プロパティ: コード・プリフィクスおよびクーポン数
- クーボンのクーポン ID
- 次のスタック・ルール・プロパティ: 「スタック・ルールの組合せ」および「プロモーション」タブのすべてのプロパティ
- 次の製品および SKU プロパティ: 「価格表」タブのすべてのプロパティ
- 他のアセットまたは他のアセットのコレクションへの単一参照であるカスケード削除プロパティ

複数編集操作でアセットを編集するには、次の手順に従います。

1. 更新するアセットをアセット・トレイに追加します。詳細は、[アセット・トレイの使用](#)を参照してください。
2. タイル・スタックをダブルクリックして「複数編集」ウィンドウをオープンします。
ウィンドウは 2 つの部分に分かれています。この操作でのアセットのリストが左側にあり、このタイプのアセットの詳細ペインが右側にあります。



3. 詳細ペインでプロパティ・エディタをクリックし、実行する変更のタイプを選択します。
 - 変更なし: プロパティの現在の値を変更しません。これは、すべてのプロパティ・エディタでデフォルトで選択されています。

- 前に追加: 変更を既存のプロパティ値の先頭に追加します。
たとえば、「20%オフ」という語句を「デフォルト表示名」の先頭に追加したり、5 個の SKU を固定子 SKU コレクションの先頭に追加したりできます。
 - 置換: 既存のプロパティ値を変更内容で置き換えます。
たとえば、既存の「固定子製品」コレクションを、選択する他の製品または作成する新製品で置き換えることができます。
 - 追加: 変更を既存のプロパティ値の最後に追加します。
たとえば、「2 個買うともう 1 個無料」という語句を「デフォルト表示名」の最後に追加したり、5 個の製品を「固定子製品」コレクションの最後に追加したりできます。
 - 消去: 既存のプロパティ値を削除します。このオプションはすべてのプロパティに使用できるわけではありません。たとえば、必須プロパティには使用できません。
4. 前の手順で「消去」を選択した場合以外は、プロパティ値を指定します。各タイプのプロパティ・エディタの使用の詳細は、[アセット・プロパティの作業](#)を参照してください。
 5. 「クローズ」をクリックしてウィンドウをクローズし、後でさらに変更するか、「開始」をクリックして複数編集操作を実行します。
ウィンドウをクローズすると、複数編集タイルがアセット・トレイで使用可能である場合は、行った変更はそのタイルに保存されます。
操作の開始の詳細は、次の項の[複数編集操作の実行](#)を参照してください。

複数編集操作の実行

プロパティの編集が終了したら、複数編集操作を実行し、変更を適用して保存します。これにより、変更はプロジェクトに自動的に追加されます。変更できなかったアセットはプロジェクトに追加されず。

複数編集操作を実行するには

1. 複数編集操作を開始する対象のタイルをオープンします。
2. 「開始」をクリックします。
「複数編集」ウィンドウがクローズし、Merchandising によって操作が開始されます。プログレス・バーがタイルに表示されます。
複数編集操作の実行中も Merchandising で作業を続行できます。
3. (オプション) 操作を取り消すには、複数編集タイルの右上の「停止」アイコンをクリックします。
操作に含まれるアセットまたは更新が比較的少ない場合は、停止する前に操作が完了する場合があります。その場合、変更を元に戻す最も簡単な方法は、現在のプロジェクトからアセットを削除することです。詳細は、[プロジェクトからのアセットの削除](#)を参照してください。
複数編集操作で行われた変更は元に戻せません。
4. 操作が終了すると、タイルをオープンして結果を表示できます。詳細は、次の項の[複数編集レポートの表示](#)を参照してください。

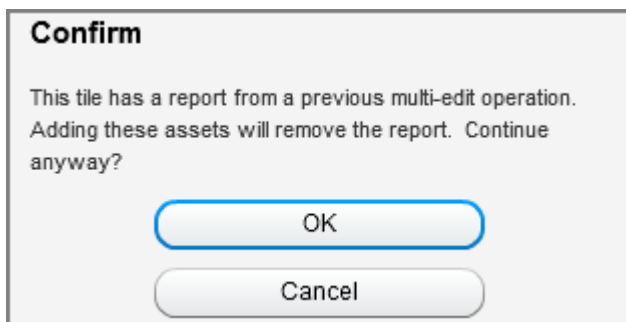
複数編集レポートの表示

複数編集操作が完了すると、そのタイルは操作のステータスを反映して変更されます。すべてのアセットが正常に更新された場合、タイルにはチェック・マークが表示されます。一部またはすべてのアセットを更新できなかった場合、タイルには警告アイコンが表示されます。タイルをオープンして、操作の結果を示すレポートを表示します。

複数編集レポートを表示するには

1. レポートを表示する対象の複数編集タイルをオープンします。
レポートは複数のカテゴリに分かれており、それぞれが独自のタブに表示されます。
 - 「失敗」。これらのアセットは、提案した編集によってエラーが発生したために、変更、保存またはプロジェクトに追加されていません。「失敗」タブの各アセットの後ろには、失敗が発生させた問題の説明が示されます。
 - 「更新済」。これらのアセットは正常に変更、保存およびプロジェクトに追加されました。
 - 「未変更」。これらのアセットには提案したプロパティ値がすでにあつたため、変更は必要ありませんでした。これらのアセットは保存またはプロジェクトに追加されませんでした。
 - 「取消済」。これらのアセットが更新される前に複数編集操作は停止されました。これらのアセットは、変更、保存またはプロジェクトに追加されませんでした。レポートには、対象のアセットがあるカテゴリのタブのみが表示されます。たとえば、すべてのアセットが正常に更新された場合は、レポートには「更新済」タブのみが表示されます。
2. 「失敗」タブまたは「取消済」タブに表示されたアセットを修正するには、それらの ID をレポートからナビゲーション・ペインの「検索」パネルにコピーおよびペーストして、検索します。検索結果リストからアセットを 1 つずつ編集するか、新しい複数編集操作にアセットを追加できます。
3. レポートの確認が終了したら、そのタイルの右上の X をクリックして、レポートをアセット・トレイから永久に削除できます。

複数編集レポートは保存できません。タイルに複数編集レポートがまだ含まれているときにアセットを追加する場合には、既存のレポートを削除してアセットを追加するか、レポートを保持してアセットを追加しないかのオプションがあります。



Merchandising でのドラッグ・アンド・ドロップの使用

Merchandising では、アセットをドラッグ・アンド・ドロップすることで、移動、リンク付けおよび追加の操作を簡素化できます。たとえば、次のようになります。







- プロモーションを「プロモーションの視認性」ウィンドウからアセット・トレイにドラッグします。詳細は、[プロモーションのプレビューとテスト](#)を参照してください。
- 複数編集操作のために、複数の製品を「検索」パネルからアセット・トレイにドラッグします。詳細は、[アセット・トレイの使用](#)を参照してください。
- 1つ以上のアセットをコレクションに追加します。たとえば、複数の製品を「検索」パネルの「検索結果」リストから、詳細ペインで現在表示されているカテゴリの「固定子製品」コレクションにドラッグすることで、これらの製品をカテゴリに追加します。詳細は、[コレクション・エディタでの作業](#)を参照してください。
- 複数の製品をアセット・トレイからドラッグして別のカテゴリにリンクします。詳細は、[アセット・トレイの使用](#)を参照してください。
- 選択した1つ以上のアセットをリスト内の新しい位置にドラッグして、コレクションのアセットの順序を変更します。
- 詳細ペインで現在表示されている製品を「参照」パネルの別のカテゴリにドラッグすることで、製品をそのカテゴリに移動します。
- イメージ・ファイルを「参照」パネルのメディア・フォルダから、詳細ペインにある製品の「サムネイル・イメージ」プロパティにドラッグすることで、製品のサムネイル・イメージを置き換えます。
- 1つのカタログの複数のカテゴリを分割画面ビューでドラッグして、別のサイトにリンクします。
- 単一参照プロパティ・エディタでアセットを追加または置き換えます。たとえば、「参照」パネルのメディア・フォルダからカテゴリ・テンプレートを、詳細ペインで現在表示されているカテゴリのテンプレート・プロパティ・エディタにドラッグします。

ナビゲーション・ペインからアセットをドラッグ・アンド・ドロップするには

1. (オプション)Merchandising ウィンドウの左下にある分割ボタンをクリックして、Merchandising の2番目のビューを表示します。



2. 作業を行うアセットを検索または参照します。[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
3. ドラッグするアセットを選択します。
デフォルトでは、アセットはドラッグすると移動します。移動ではなくリンクするには、アセットを選択して、[Ctrl]キーを押します。
注意: プロモーション、クーポンおよびメディア・アセットはリンクできません。
4. アセットを新しい場所にドラッグし、マウス・ボタンを放してドロップします。
ドロップする潜在的な場所にマウスを重ねると、その場所はハイライトされ、ドラッグ・ポイントに緑色のプラス記号が表示されます。

Fixed child products 5 items		
Order	ID	Display Name
1	xprod2113	 Metro Chair
2	xprod2122	 Holland Vintage Stool
3	xprod2145	 Mission Bar Stool
4	xprod2162	 Berber Bar Chair
5	xprod2092	 uPod Stool
		 Roseanna Storage Ottoman

- ドラッグ操作を途中で止める場合は、[Esc]キーを押すか、カーソルがドロップする場所から外れているときにマウスを放します。

5 ビジュアル・マーチャンダイジングでの作業

ビジュアル・マーチャンダイジングを使用すると、編成および編集するアセットをプレビュー・セッションから直接選択できます。Merchandising で行う変更と同様に、ビジュアル・マーチャンダイジングで行うすべての変更はプロジェクトの一部となるため、公開されるまで他のユーザーは変更を表示できません。

ビジュアル・マーチャンダイジングの基本

次に、ビジュアル・マーチャンダイジングで作業する場合に理解しておく必要のある重要な用語をいくつか示します。

- **レイアウト・ビュー**は、プレビューとビジュアル・マーチャンダイジングの両方が環境内で構成されている場合に使用できる編集可能なプレビュー・セッションです。詳細は、[UI の概要](#)を参照してください。
- **ライト・テーブル**は、カテゴリの固定子製品リストを順序変更するために使用するビジュアルなコレクション・エディタです。詳細は、[ライト・テーブルでのコレクションの編成](#)を参照してください。
- **プレビュー・ツールバー**は、レイアウト・ビュー・ウィンドウ上部に表示され、ボタンがあります。

開始前に

ビジュアル・マーチャンダイジングでは、ビジュアルで直感的な方法を使用して、アセットを編成したり、編集用にアセットを選択したりできます。ライト・テーブルおよびレイアウト・ビューの表示と動作は従来の Merchandising ユーザー・インタフェースと異なりますが、基盤となる機能は同じです。たとえば、ライト・テーブルまたは製品の詳細ペインのコレクション・エディタでのコレクションの順序変更では、同じ結果が生成されます。

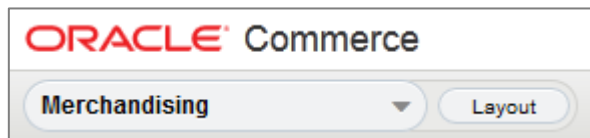
この章では、ビジュアル・マーチャンダイジングの使用方法について説明しますが、プロジェクトやプレビューなどへのアクセスに役立つその他の Merchandising 機能については説明しません。Merchandising の概念と機能については、このガイドの該当する項を参照してください。

UI の概要

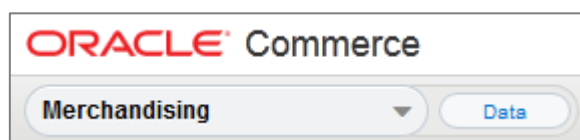
この項では、Merchandising レイアウト・ビューの主要な要素の概要について説明します。レイアウト・ビューは、プレビューとビジュアル・マーチャンダイジングの両方が環境内で構成されている場合に使用できる、編集可能なプレビュー・セッションです。プレビュー・セッションと同様に、レイアウト・ビューではアセットをプレ

ビューして、実際に稼働中の Web サイトで変更がどのように反映されるかを確認できます。レイアウト・ビューは対話型であり、編集、編成およびプロジェクトに追加するアセットを選択でき、変更は自動的に表示されます。

Merchandising ページ上部の「レイアウト」ボタンをクリックして、レイアウト・ビューを表示します。



レイアウト・ビューが表示されると、「レイアウト」ボタンは「データ」ボタンに置き換えられます。レイアウト・ビューをクローズして Merchandising に戻るには、「データ」ボタンをクリックします。

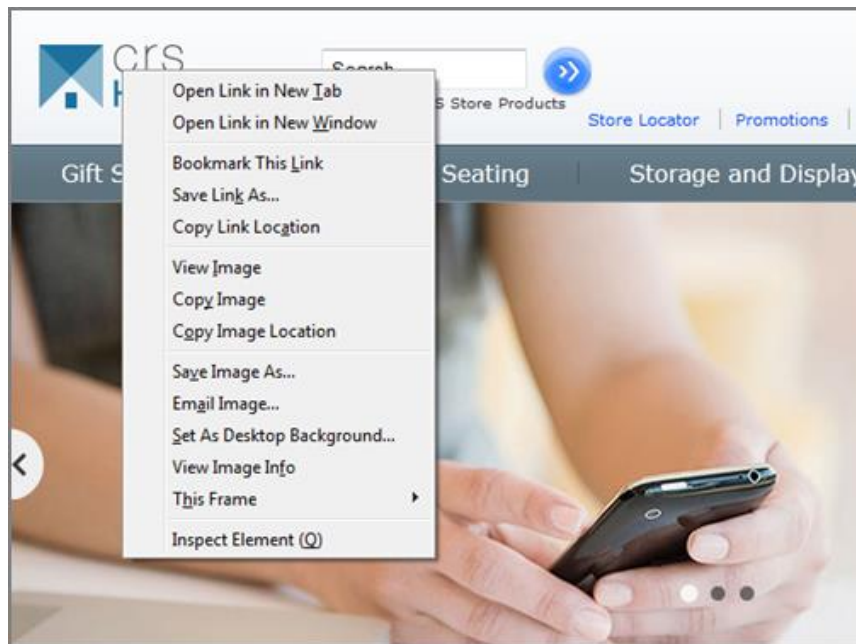


レイアウト・ビューでのアセットの選択

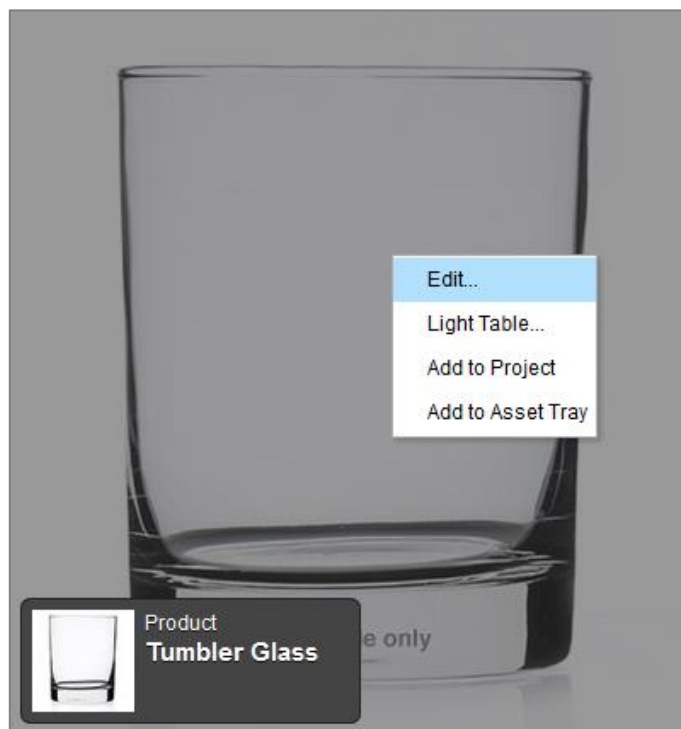
レイアウト・ビューでカテゴリ、製品、SKU、プロモーション、記事、メディア・コンテンツ・アセットまたはストア・テキストを右クリックすると、次のオプションを含むポップアップ・メニューが表示されます。

- 「**編集**」では、選択したアセットの詳細ペインが表示され、Merchandising で通常行うのと同様にアセットを編集できます。詳細は、[アセットの編集](#)を参照してください。
アクセス権限によって表示が可能でも、選択したアセットの編集が許可されない場合、メニューに「編集」ではなく、「表示」が表示されます。「表示」は、選択したアセットの詳細ペインを読み取り専用モードで表示します。
- **ライト・テーブル**では、ライト・テーブルが起動され、カテゴリの製品を編成できます。[ライト・テーブルでのコレクションの編成](#)を参照してください。
- 「**プロジェクトに追加**」では、選択したアセットが現在のプロジェクトに追加されます。詳細は、[プロジェクトへのアセットの追加](#)を参照してください。
- 「**アセット・トレイに追加**」では、選択したアセットがアセット・トレイに追加されます。詳細は、[アセット・トレイの使用](#)を参照してください。

レイアウト・ビューで他のものを右クリックすると、ブラウザの右クリック・メニューが表示されます。これは、Merchandising では制御されません。たとえば、次の図では、レイアウト・ビューで CRS Home のロゴを右クリックしたときにブラウザ・メニューが表示されています。



カテゴリ、製品、SKU、プロモーション、記事、メディア・コンテンツ・アセットまたはストア・テキストを右クリックすると、選択したアセットの名前とタイプが画面の左下に表示されます。このプロンプトは、選択したアセットが予期したものであることを確認するのに役立ちます。たとえば、次の図では、プロンプトは製品「タンブラ」がレイアウト・ビューで選択されていることを示しています。

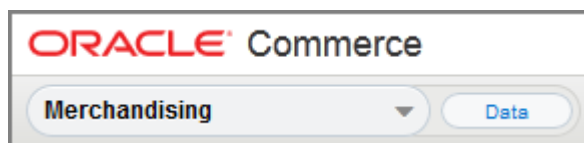


レイアウト・ビューでのアセットのハイライト

レイアウト・ビューでは、ビジュアル・マーチャンダイジング機能での作業で選択できるアセットを表示するハイライトをオンにすることができます。たとえば、CRSストアメニュー・バーの次の図では、ギフト・ショップ、女性、男性、靴、およびホーム・アクセントがCRSストアカタログのカテゴリに相当するため、すべてハイライトされています。新規品目は、様々なカテゴリの製品を表示するページへのリンクであるため、ハイライトされていません。



レイアウト・ビューのプレビュー・ツールバーの左側にあるアイコンをクリックして、アセットのハイライトを表示します。ボタンをもう一度クリックしてハイライトを非表示にします。



アセットの編集

レイアウト・ビューでは、カテゴリ、製品、SKU、プロモーション、記事、メディア・コンテンツ・アセットまたはストア・テキストなどのアセットを選択し、Merchandisingで通常行うのと同様に編集できます。選択したアセットを現在のプロジェクトまたはアセット・トレイに追加することもできます。編集するアセットの選択の詳細は、[UIの概要](#)を参照してください。

プロジェクトへのアセットの追加

アセットをレイアウト・ビューの現在のプロジェクトに追加できます。プロジェクトのアセットの詳細は、[プロジェクトの基本](#)を参照してください。

カテゴリ、製品、SKU、プロモーション、コンテンツ・アセットまたはストア・テキストを現在のプロジェクトに追加するには、次の手順を完了します。

1. 「レイアウト」ボタンをクリックします。
2. アセットを右クリックし、ポップアップ・メニューから「プロジェクトに追加」を選択します。

アセットの編集

カテゴリ、製品、SKU、プロモーション、記事、メディア・コンテンツ・アセットまたはストア・テキストをレイアウト・ビューで選択し、Merchandisingで通常行うのと同様に編集できます。変更を保存すると、変更はレイアウト・ビューに自動的に表示されます。アセットの編集の詳細は、[アセットの作成と管理](#)を参照してください。

アセットを編集するには、次の手順を完了します。

1. 「レイアウト」ボタンをクリックします。

2. アセットを右クリックし、ポップアップ・メニューから「編集」を選択します。

選択したアセットの詳細ペインが別のウィンドウに表示されます。

注意: アクセス権限によって表示が可能でも、選択したアセットの編集が許可されない場合、メニューに「編集」ではなく、「表示」が表示されます。ポップアップ・メニューから「表示」を選択して、選択したアセットの詳細ペインの読み取り専用バージョンを別のウィンドウに表示します。

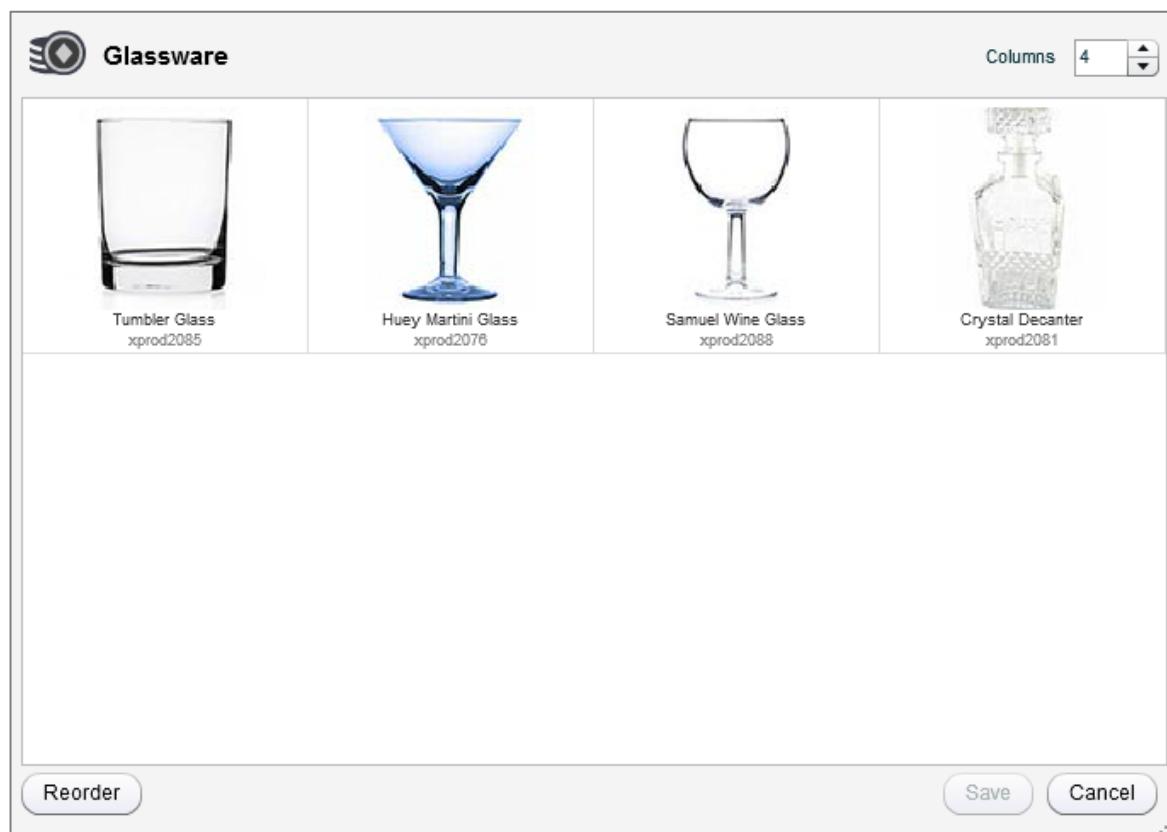
3. 変更を行い、確認して保存します。詳細は、[アセットの作成と管理](#)を参照してください。

レイアウト・ビューは、変更が表示されるように自動的に更新されます。

ライト・テーブルでのコレクションの編成

ライト・テーブルは、カテゴリの固定子製品コレクションを編成するために使用する一種のプロパティ・エディタです。芸術家やカメラマンは、ライト・テーブルを使用して、写真ネガやアートワークのようなメディアに光を当てて編成し、公開に備えます。同様に、Merchandising でライト・テーブルを使用し、製品イメージを使用してカテゴリの製品を編成します。

次の図では、ガラス製品というカテゴリの固定子製品コレクションがライト・テーブルに表示されています。



各タイルは、コレクション内の1つの製品を表します。マウス・ポインタをタイル上に移動すると、製品の順序変更または削除に使用するコントロールが表示されます。

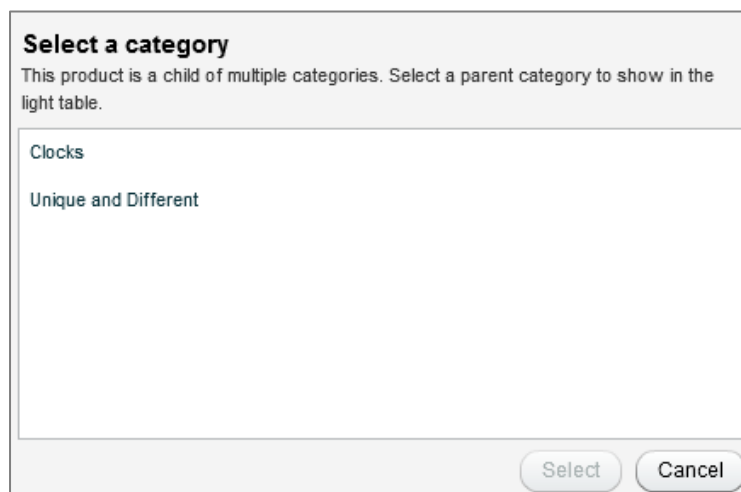


ライト・テーブルを使用して、カテゴリの固定子製品コレクションを順序変更したり、そこから製品を削除したりできます。その他のタイプのコレクションで作業するか、固定子製品コレクションに対してその他のタスクを実行するには、Merchandisingの詳細ペインでアセットを編集します。詳細は、[コレクション・エディタでの作業](#)を参照してください。

ライト・テーブルの表示

カテゴリの製品をライト・テーブルで表示するには、次の手順を完了します。

1. 「レイアウト」ボタンをクリックします。
2. アセットを右クリックし、ポップアップ・メニューからライト・テーブルを選択します。
 - カテゴリをクリックした場合、そのカテゴリの固定子製品がライト・テーブルに表示されます。
 - 製品をクリックした場合、その製品の親カテゴリの固定子製品がライト・テーブルに表示されます。製品に複数の親カテゴリがある場合は、表示するカテゴリを選択し、表示されるダイアログで「選択」をクリックします。



トラブルシューティング

アセットをクリックしてもライト・テーブルが表示されないときは、次のヒントが役立つ場合があります。

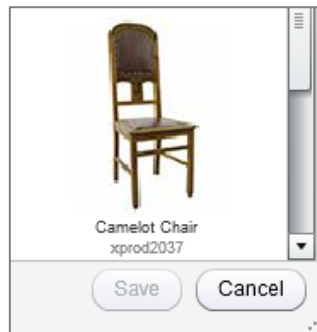
- アセットを右クリックしたときにライト・テーブル・オプションが表示されるが使用不可になっている場合は、アセットを表示または変更できるようにアクセス権限が設定されていない可能性があります。管理者に問い合わせてください。
- アセットを右クリックしたときにブラウザの右クリック・メニューが表示される場合は、ポインタがアセットの真上にあることを確認し、再度クリックしてみます。この動作が続く場合は、管理者に問い合わせてください。

ライト・テーブルのカスタマイズ

サイズや表示される列数を変更することによって、ライト・テーブルの表示をカスタマイズできます。これらの変更は(再度変更しないかぎり)Oracle Commerce Platform セッション中は有効ですが、ログアウトするときに保存されません。

ライト・テーブルをカスタマイズするには、次の手順を完了します。

1. ライト・テーブルを表示します。詳細は、[ライト・テーブルの表示](#)を参照してください。
2. サイズを変更するには、右下隅をクリックしてドラッグします。



管理者は、ライト・テーブルの最小サイズを設定できます。ライト・テーブルを指定された最小サイズよりも小さくすることはできません。

3. 列数を変更するには、「列」コントロールの上下の矢印をクリックします。この選択に基づいてライト・テーブルは自動的に更新されます。



管理者は、ライト・テーブルに表示される列の最小数および最大数を設定できます。指定された最小数または最大数よりも少ないまたは多い列を選択することはできません。

4. 保存するアセット変更も行った場合は、「保存」をクリックします。「取消」をクリックしてライト・テーブルをクローズし、新しいサイズと列数のみを保存することもできます。

親カテゴリからの製品の削除

製品をコレクションから削除してもシステムからは削除されませんが、製品は自動的にプロジェクトに追加されます。

製品をカテゴリから削除するには、次の手順を完了します。

1. ライト・テーブルを表示します。詳細は、[ライト・テーブルの表示](#)を参照してください。
2. 製品のタイトルの右上にある X アイコンをクリックします。
X アイコンが使用不可にされている場合、読取り専用でアセットにアクセスできる可能性があります。管理者に問い合わせてください。



3. 「保存」をクリックします。

コレクションの順序変更

カテゴリの固定子製品コレクションの各製品には、コレクション内で特定の位置があります。多くの Web サイトのページ・コーディング (Commerce 参照ストア・アプリケーションなど) では、この位置を使用して、製品がカテゴリ・ページに表示される順序を制御します。

注意: ライト・テーブルのコレクションの順序を変更できない場合、読取り専用でアセットにアクセスできる可能性があります。管理者に問い合わせてください。

カテゴリの固定子製品コレクションを順序変更するには、次の手順を完了します。

1. カテゴリの製品をライト・テーブルで表示します。詳細は、[ライト・テーブルの表示](#)を参照してください。
2. 製品をコレクションの新しい位置に移動するには、製品のタイトルの左上にある番号を変更して、「順序変更」をクリックします。
1 からコレクションの製品数までの番号を入力します。入力した番号が製品数よりも大きい場合、製品はリストの最後に移動されます。
3. 製品をコレクションの最上部に移動するには、製品のタイトルの左上にある矢印アイコンをクリックします。
4. 「保存」をクリックします。

1 つ以上の製品をライト・テーブルの新しい位置にドラッグすることもできます。

1. カテゴリの製品をライト・テーブルで表示します。詳細は、[ライト・テーブルの表示](#)を参照してください。
2. 1 つ以上の製品をライト・テーブルで選択します。複数の製品を選択する場合、製品は連続している必要はありません。

3. アセットをコレクションの新しい位置にドラッグしてドロップします。ドロップする潜在的な場所にマウスを重ねると垂直の線が表示されます。
順序変更されたコレクションを反映するように順序番号が自動的に変更されます。
4. 「保存」をクリックします。

プロモーションのプレビューとテスト

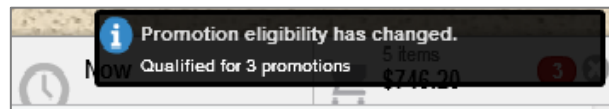
レイアウト・ビューでは、プレビュー・ユーザーが品目のショッピングを行うときにプロモーションがどのように動作するかを確認できます。プロモーションをレイアウト・ビューから直接編集することもできます。

注意: この項では、ビジュアル・マーチャンダイジングでプロモーションを操作する方法について説明しますが、スタック・ルールや条件およびオファーなどのプロモーション機能については説明しません。プロモーションの概念と機能については、[プロモーションおよびクーポンの作成と管理](#)を参照してください。

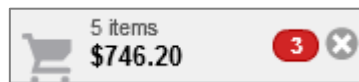
レイアウト・ビューでプロモーションをプレビューおよび編集(オプション)するには、次の手順に従います。

1. 「レイアウト」ボタンをクリックします。
2. (オプション)プレビュー・ユーザーおよびプレビュー日を設定します。詳細は、[プレビュー・セッションのオプションの変更](#)を参照してください。
3. テストの対象とするプロモーションがトリガーされると予期される品目のショッピングを行います。

プロモーションのオーダーに適格な品目をショッピング・カートに追加すると、プレビュー・ツールバーの上にメッセージが表示されます。また、ツールバーのプロモーション・ボタンも更新され、適用されるプロモーションの数およびショッピング・カート内の品目の数と金額が示されます。



ショッピング・カートを空にするには、プロモーション・ボタンの x をクリックします。



4. プレビュー・ツールバーのプロモーション・ボタンをクリックして、「プロモーションの視認性」ウィンドウを表示します。
ウィンドウは2つの部分に分かれています。プロモーションのリストが左側にあり、それらのリストで現在選択されているプロモーションの詳細が右側にあります。

Promotions Visibility

View information about available and applied promotions.

CRS Store
Erica Clark

▼ Applied

- \$10 off Orders over \$100
- Free Scarf with all orders over \$200
- Save 20% on any CRS Home item excluding Home Accents

▼ Not applied

- 15% Off Home Accents
- Get 2 free gifts with any Woman's Jacket
- Hubbard Chair Tiered Price Break

\$10 off Orders over \$100
Order Discount (promo50012)
When

[Edit...](#)

Evaluation

Details

▶ Stacking Rules

▼ Condition/Offer 1

Condition

Excluded Items

- 1 Ladder Back Dining Chair ([xsku2169](#))
Exclude items already discounted by any promotion.
- 1 Cashmere Scarf ([xsku60325](#))
Exclude items with zero prices.

Qualified Items	Remain
Not applicable for this promotion.	

Offer

This promotion was successfully applied.

「プロモーションの視認性」ウィンドウ上部には、現在のプレビュー・セッションに関する次の情報が表示されています。これらの項目の詳細は、[プレビュー・セッションのオプションの変更](#)を参照してください。

- 現在のプレビュー・ユーザーの名前
- 将来でプレビューしている場合は、日時
- 複数サイト環境の場合は、現在のサイトの名前

注意: ショッピング・カートが空の場合は、品目プロモーションはウィンドウに表示されません。Merchandising で品目プロモーションが評価されてウィンドウに表示されるには、ショッピング・カート内に少なくとも 1 つの品目が入っている必要があります。ショッピング・カートが空の場合は、ウィンドウにはオーダー・プロモーションが表示されます。

5. プロモーションの詳細および評価結果を確認し、オーダーに適用された、または適用されなかった理由を判別します。詳細は、[プロモーションの確認](#)を参照してください。

プロモーションの確認

「プロモーションの視認性」ウィンドウの左側のペインには、使用可能でアクティブな(失効していない)プロモーションが表示され、3 つのセクションに分かれています。

60

5 - ビジュアル・マーチャンダイジングでの作業

- **適用完了:** これらは、現在のショッピング・カートに適用されているプロモーションです。条件およびオファーの評価は合格しており、複数サイト環境では、プロモーションは顧客が現在参照しているサイトでも有効です。
- **未適用:** これらは、現在のショッピング・カートに適用されなかったプロモーションです。スタック・ルールまたは条件およびオファーの評価は合格しておらず、複数サイト環境では、プロモーションは顧客が現在参照しているサイトで有効です。
- **不適格:** (複数サイトのみ) これらは、現在のカートに適用されなかったプロモーションです。プロモーションが失効している可能性があるか、または、複数サイト環境の場合に、顧客が現在参照しているサイトでプロモーションが有効ではありません。管理者によるビジュアル・マーチャンダイジングの構成によっては、「不適格」リストは表示されない場合があります。

「適用完了」、「未適用」または「不適格」セクションのプロモーションのリストを表示するには、セクション名の横にある矢印をクリックします。

左側のペインでプロモーションをクリックして、そのプロモーションの詳細を右側のペインに表示します。プロモーション情報は2つのタブに分かれています。

- 「**評価**」タブには、選択したプロモーションのスタック・ルールおよび条件およびオファーの文の評価結果が表示されます。
- 「**詳細**」タブには、選択したプロモーションに関する情報が表示されます。

「プロモーションの視認性」ウィンドウでは、情報を直接変更することはできませんが、リンク(たとえば、「詳細」タブのスタック・ルール、プロモーション・アップセルや、「評価」タブのSKUなど)または「編集」ボタンをクリックして、プロモーションを変更して保存できる編集ウィンドウを起動できます。詳細は、[プロモーションの編集](#)を参照してください。

「プロモーションの視認性」ウィンドウでは、プロモーションに関する次の情報を表示できます。これらの項目の詳細は、[プロモーションの作成](#)を参照してください。

「評価」タブ

次の表に、「プロモーションの視認性」ウィンドウの「評価」タブのUIコンポーネントを示します。

項目	説明
1 オーダー当たりの最大割引	定期割引(「次の対象で適用」プロモーションなど)を適用するプロモーションの場合、「評価」タブは、「評価制限」プロパティで割引の数が制限された場合にメッセージを表示します。
スタック・ルール	スタック・ルールは、すべてのプロモーションで最初に評価されます。 スタック・ルールが合格した場合、プロモーション評価は続行され、「評価」タブの「スタック・ルール」セクションに確認メッセージが表示されます。 スタック・ルールが合格しなかった場合、プロモーション評価は停止され、「評価」タブの「スタック・ルール」セクションに問題の説明が表示されます。たとえば、同じタイプの別のプロモーションがすでに適用されていることが、メッセージによって示される場合があります。 スタック・ルールの詳細は、 スタック・ルールによるプロモーションの管理 を参照してください。

項目	説明
プレリミナリ	<p>スタック・ルール評価に合格した品目割引プロモーションについて、プロモーションのターゲットおよびクオリファイアとして有効な品目がショッピング・カートに入っていることがチェックされます。(オーダー割引および出荷プロモーションではこの手順はスキップされ、条件/オファー評価に直接進みます。)</p> <p>有効なターゲットまたはクオリファイアがショッピング・カートに入っている場合、評価は続行され、「評価」タブの「プレリミナリ」セクションに確認メッセージが表示されます。</p> <p>有効なターゲットまたはクオリファイアがショッピング・カートに入っていない場合、評価は停止され、「評価」タブの「プレリミナリ」セクションに問題の説明が表示されます。</p> <p>品目割引の詳細は、プロモーションの仕組みを参照してください。</p>
条件/オファー	<p>「スタック・ルール」評価、および品目割引プロモーションの場合は「プレリミナリ」評価に合格した、すべてのプロモーションの条件およびオファーの文が Merchandising によって評価されます。</p> <p>条件/オファー評価では、プロモーションの条件が満たされているかどうかを判別されます。「評価」タブのこのセクションに表示される情報の詳細は、条件/オファー評価を参照してください。</p>

条件/オファー評価

「評価」タブの条件/オファー・セクションでは、プロモーションの条件が満たされているかどうかを示され、ショッピング・カート内の品目が条件およびオファーとどのように関係しているかに関する情報が表示されます。「スタック・ルール」評価、および品目割引プロモーションの場合は「プレリミナリ」評価に合格した、すべてのプロモーションについて、条件およびオファーの文が評価されます。

プロモーション・タイプ、テンプレート、および条件の構造に応じて、条件/オファー・セクションには、ショッピング・カート内の品目に関して、次のタイプの詳細情報が表示されます。

「拡張」タブで、品目へのプロモーションの適用方法を制限するフィルタを構成できます。任意のプロモーション・タイプに適用できるフィルタと、品目タイプのプロモーションにのみ適用されるフィルタがあります。

特定のショッピング・カートがプロモーションに適切であるかどうかを判別するときに、品目が考慮されるかどうか、拡張フィルタによって変更されます。フィルタ設定は、Commerce アプリケーションの一部として変更できます(詳細は、[ATG Web Commerce Programming Guide](#) のクオリファイア・クラスを参照)。

Merchandising によって Commerce アプリケーションの該当する設定が読み取られ、デフォルトとして使用されます。個別のプロモーションについて、これらの設定を上書きできます。

- 除外品目: 拡張フィルタによってプロモーションから除外されたショッピング・カート内の品目に関する情報を表示します。フィルタによって、品目へのプロモーションの適用方法が制限されます。たとえば、すでに特売になっている品目は、プロモーションによりさらに割引が制限される場合があります。除外品目は、条件とオファーの両方について表示できます。

リスト内の各品目について表示される情報は、製品の表示名、除外された品目数、品目が除外された理由およびショッピング・カート内の該当する各 SKU の ID です。SKU ID をクリックして、表示されるウィンドウで SKU プロパティを表示または編集します。

拡張フィルタの詳細は、[拡張フィルタ](#)を参照してください。

- 適格品目: プロモーションに適格である、ショッピング・カート内の品目に関する情報を表示します。適格品目は、条件についてのみ表示されます。

リスト内の各品目について表示される情報は、製品の表示名、適格となっているこの品目の数、ショッピング・カートに追加された場合にクオリファイアとして使用可能なこの品目の残りの数およびショッピング・カート内の SKU の ID です。SKU ID をクリックして、表示されるウィンドウで SKU プロパティを表示または編集します。

条件およびオファーの文での適格品目の詳細は、[条件およびオファーのテンプレート](#)を参照してください。
- ターゲット品目: プロモーションによって割引または贈呈される品目に関する情報を表示します。ターゲット品目は、オファーについてのみ表示されます。
- リスト内の各品目について表示される情報は、製品の表示名、プロモーションのターゲットとなることが可能なこの品目の数、ショッピング・カートに追加された場合にターゲットとなることが可能なこの品目の残りの数およびショッピング・カート内の SKU の ID です。SKU ID をクリックして、表示されるウィンドウで SKU プロパティを表示または編集します。

条件およびオファーの文でのターゲット品目の詳細は、[条件およびオファーのテンプレート](#)を参照してください。

注意: 詳細情報は品目についてのみ表示され、プロモーションのその他の側面については表示されません。たとえば、アクセサリが\$100 含まれている、最新ファッションに敏感なユーザー・セグメントの顧客によるすべてのオーダーに、15%の割引を適用するプロモーションをテストしているとします。「評価」タブには、ショッピング・カート内の品目および品目がプロモーションにどのように影響するかに関する情報が表示されます。最新ファッションに敏感なセグメントの顧客のみが、プロモーションの適格対象であることを決定するシナリオに関する情報は表示されません。

条件の構造によっては、Merchandising で条件/オファー評価を複数回実行する必要がある場合があります。これらのプロモーションの場合、「評価」タブでは、それぞれの繰返しの結果が別々の条件/オファー・セクションに表示されます。たとえば、「バス・タオルを 2 枚買うとハンド・タオル 1 枚は 50% オフ」というプロモーションをテストしており、ショッピング・カートにバス・タオルが 4 枚、ハンド・タオルが 4 枚、バス・マットが 1 枚入っているとします。条件が満たされ、有効なターゲットが見つかる繰返しごとに 1 回、つまり 2 回の割引が適用されます。各条件/オファー評価において、条件品目またはオファー品目とする対象から、品目が除外されます。

条件およびオファーの文が合格しなかった場合、プロモーション評価は停止され、「評価」タブの条件/オファー・セクションにメッセージ「未適用」が表示されます。

「詳細」タブ

次の表に、「プロモーションの視認性」ウィンドウの「詳細」タブの UI コンポーネントを示します。

項目	説明
テンプレート	テンプレートによって、プロモーションの開始ポイントが提供され、適用される条件およびオファーのオプションが決まります。
摘要	プロモーションの概略です。

項目	説明
優先度	<p>プロモーションの優先度です。プロモーションは優先度の順序で適用され、優先度の数値が小さいものから適用されます。プロモーションはこのプロパティの値でソートされます。</p> <p>プロモーションの優先度はプロモーション・タイプの次に考慮されます。たとえば、他の品目割引プロモーションと比べて特定の品目割引プロモーションがどのように適用されるかは指定できますが、出荷割引と比べて品目割引が適用される順序は指定できません。</p>
使用期間	<p>プロモーションの使用期間を開始日と終了日で定義することも、顧客がプロモーションを受信した時点から始まる期間として定義することもできます。使用期間のないプロモーションは、使用不可になるまで有効です。</p>
1 オーダー当たりの最大数	<p>「次の対象で適用」プロモーションに指定された 1 オーダー当たりの最大数の値。この値は、割引を適用できる最大回数を指定します。</p>
プロモーション・アップセル	<p>プロモーション・アップセルが使用可能な場合、このプロモーションで使用可能なアップセルのリストです。</p> <p>アップセルをクリックして新しいウィンドウを起動し、Merchandising で通常行うのと同様に編集できます。</p>
クーポン	<p>このプロモーションに関連付けられているクーポンです。</p> <p>クーポンをクリックして新しいウィンドウを起動し、Merchandising で通常行うのと同様に編集できます。</p>
プロモーション可用性	<p>すべての顧客がプロモーションを使用できるのか、クーポンまたはシナリオのみと使用できるのか、または登録された顧客が使用できるのかを指定します。</p>
スタック・ルール	<p>このプロモーションに関連付けられているスタック・ルールです。スタック・ルールによって、一緒に使用できるプロモーションを制御できます。</p> <p>スタック・ルールをクリックして新しいウィンドウを起動し、Merchandising で通常行うのと同様に編集できます。</p>
1 スタック・ルール当たりの最大プロモーション数	<p>このスタック・ルールを使用して組み合わせることができる最大プロモーション数です。</p>
スタック・ルールの組合せ	<p>現在のルールと一緒に使用できる追加のスタック・ルールです。</p>
除外するプロモーション	<p>このプロモーションと一緒に使用できないプロモーションです。</p>

プロモーションの編集

「プロモーションの視認性」ウィンドウでプロモーションを選択し、Merchandising で通常行うのと同様に編集できます。変更を保存すると、変更はレイアウト・ビューに自動的に表示され、プロモーションはプロジェクト

に追加されます。プロモーションの編集の詳細は、[プロモーションおよびクーポンの作成と管理](#)を参照してください。

「プロモーションの視認性」ウィンドウからプロモーションを編集するには、次の手順を完了します。

1. ウィンドウの左側でプロモーションをクリックします。
2. 「編集」ボタンをクリックします。
選択したプロモーションの詳細ペインが別のウィンドウに表示されます。
3. 変更を行い、確認して保存します。詳細は、[プロモーションおよびクーポンの作成と管理](#)を参照してください。

「プロモーションの視認性」ウィンドウは、変更が表示されるように自動的に更新されます。

アセット・トレイへのプロモーションの追加

「プロモーションの視認性」ウィンドウの「適用完了」、「未適用」および「不適格」リストからドラッグすることによって、プロモーションをアセット・トレイに追加できます。アセット・トレイの詳細は、[アセット・トレイの使用](#)を参照してください。アセットのドラッグ・アンド・ドロップの詳細は、[Merchandising](#) でのドラッグ・アンド・ドロップの使用を参照してください。

6 カタログ・フォルダの作成と管理

カタログ・フォルダを使用して、カタログを編成できます。カタログ・フォルダは、Merchandising および他の Oracle Commerce Platform 管理者ユーザー・インタフェースのみで使用できます。Web サイト自体には表示されません。

カタログの作成中に、カタログ・フォルダを使用して一時構造を作成することで、カタログ階層に追加しないけれども、「参照」パネルで表示するアセットを編成できます。

カタログ・フォルダの作成

カタログ・フォルダを次の場所で作成できます。

- 複数サイト環境の場合は、サイトのトップレベル
- 別のカタログ・フォルダ内

新しいカタログ・フォルダを作成するには

1. 「参照」パネルで、サイトまたは他のカタログ・フォルダのトップレベルにナビゲートします。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「カタログ・フォルダ」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドのみが必須です。
4. 「作成」をクリックします。

「検索」パネルからフォルダを作成し、フォルダの詳細ペインの「一般」タブにある「親フォルダ」プロパティを指定しない場合、新しいフォルダはトップレベルに作成されます。

カタログ・フォルダ・プロパティ

詳細ペインで、次のカタログ・フォルダ・プロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているカタログ・フォルダ・プロパティです。Web サイトに固有の新しいカタログ・フォルダ・プロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	フォルダ名です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。

プロパティ	説明
サイト	複数サイト環境の場合、カタログ・フォルダが属するサイトの名前になります。 このプロパティは読取り専用です。 複数サイト環境のアセット を参照してください。
摘要	フォルダの概略です。
子フォルダ	このフォルダに含まれるフォルダのリストです。
子カタログ	このフォルダに含まれるカタログのリストです。
親フォルダ	このフォルダを含むフォルダです。空の場合、このフォルダはルート・フォルダです。 このプロパティは読取り専用です。このフォルダの親を変更するには、フォルダを移動、リンク付けまたはリンク解除します。

トップレベルへのカタログ・フォルダの移動

ネストされたフォルダを階層のルートに移動する最も簡単な方法は、Merchandising 画面を分割して、ネストされたフォルダをルートにドラッグする方法です。詳細は、[Merchandising でのドラッグ・アンド・ドロップの使用](#)を参照してください。

カタログ・フォルダの削除

ルートでカタログ・フォルダを削除するには、プロジェクトを表示して、そこから削除する必要があります。詳細は、[プロジェクトからのアセットの削除](#)を参照してください。

別のカタログ・フォルダを含んだカタログ・フォルダを削除する場合、子フォルダがカタログ階層のトップレベルに移動されます。

7 カタログの作成と管理

カタログでは Commerce アセットが階層で編成されており、ユーザーはこの階層に沿って Web サイト上のアセットをナビゲートします。カタログは、2 つのタイプのアセット(カテゴリおよび他のカタログ)の親になります。他のカタログに含まれるカタログは、技術的には普通のカタログであり、その親と同じ使用可能なプロパティを持っていますが、サブカタログと呼ばれることがあります。

既存のカタログを Merchandising にインポートする方法は、[アセットのインポートとエクスポート](#)を参照してください。

カタログの作成

新しいカタログを作成するには

1. 「参照」パネルで、サイト、カタログ・フォルダまたは他のカタログのトップレベルにナビゲートします。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意:「対象」ドロップダウン・メニューで「カタログ」を選択した場合は、「検索」パネルからカタログを作成することもできます。この操作により、「非分類品目」または「サイトにリストされていない品目」リストでカタログが作成されます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「カタログ」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドは唯一の必須フィールドです。
4. 「作成」をクリックします。

カタログ・プロパティ

詳細ペインで、次のカタログ・プロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているカタログ・プロパティです。Web サイトに固有の新しいカタログ・プロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	他の Oracle Commerce Platform アプリケーションのカタログで使用されている名前です。 カタログ名は必須プロパティですが、ここで指定しない場合は自動的に名前が割り当てられます。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
サイト	複数サイト環境の場合、カタログが属するサイトの名前になります。 このプロパティは読取り専用です。 複数サイト環境のアセット を参照してください。
ルート・カテゴリ	カタログ内のトップレベル・カテゴリのリストです。
すべてのルート・カテゴリ	カタログ内(サブカタログを含む)のすべてのルート・カテゴリのリストです。このプロパティは読取り専用です。
ルートのサブ・カタログ	ルート・カテゴリがカタログのルート・カテゴリでもあるカタログのリストです(カタログの結合で使用)。
包含カタログ	このカタログがサブカタログの場合は、親カタログです。

8 カテゴリの作成と管理

カタログはカテゴリによって階層に編成され、この階層によって Web サイトのナビゲーション・フレームワークが提供されます。カテゴリはカタログ、製品または他のカテゴリの親になる場合があります。

カテゴリは 1 つ以上の他のカテゴリの子またはルート・カテゴリのいずれかになることができます。ルート・カテゴリは、カタログのナビゲーション構造の開始点です。カタログには複数のルート・カテゴリを含めることが可能ですが、ナビゲーション・ルートにできるのは 1 つのみです。たとえば、カタログには次のルート・カテゴリを含めることができます。

- **Commerce ルート・カテゴリ:** すべてのカタログのカテゴリ、製品および SKU が含まれています。
- **ナビゲート不可のルート・カテゴリ:** 購入可能だけれども、ナビゲーションに含まれていないアセット(ギフト包装など)が含まれています。

詳細は、[カテゴリ・プロパティ](#)を参照してください。

注意: カテゴリは複数のカタログの直下に属することが可能なため、複数サイト環境で、容易に複数のサイトの一部になります。

カテゴリの作成

新しいカテゴリを作成するには

1. 「参照」パネルで、新しいカテゴリを作成するカタログまたはカテゴリを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意: 「対象」ドロップダウン・メニューで「カテゴリ」を選択した場合は、「検索」パネルからカテゴリを作成することもできます。この操作により、「非分類品目」または「サイトにリストされていない品目」リストでカテゴリが作成されます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「カテゴリ」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドは唯一の必須フィールドです。
4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

カテゴリ・プロパティ

詳細ペインで、次のカテゴリ・プロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているカテゴリ・プロパティです。Web サイトに固有の新しいカタログ・プロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
デフォルト表示名	サイトのカテゴリに使用される名前です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
サイト	複数サイト環境の場合、カテゴリが属するサイトの名前になります。 このプロパティは読取り専用です。 複数サイト環境のアセット を参照してください。
開始日	カテゴリが使用可能になる日付です。
終了日	カテゴリが使用不可になる日付です。
デフォルト摘要	カテゴリとともに表示する短い摘要テキストです。
デフォルト詳細摘要	カテゴリとともに表示する詳細摘要テキストです。
テンプレート	カテゴリを表示するために使用する JSP テンプレートです。 テンプレートの作業の詳細は、 メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理 を参照してください。

「カタログ・メディア」タブ

カテゴリ、製品および SKU にはすべて、テンプレート（「一般」タブ上）、サムネイル・イメージ、小イメージ、大イメージおよび補助メディアといった同じメディア・プロパティ・セットが備わっています。ご使用の Web サイトでは、これらすべてのプロパティを必要としないことがあります。たとえば、ほとんどの商用サイトでは、各 SKU はそのテンプレート・ページに表示されません。より一般的には、製品のテンプレート・ページに、製品の子 SKU すべてが表示されます。

ユーザーがカタログをできるだけ柔軟に設定できるように、カテゴリ、製品および SKU にはすべて同じメディア・プロパティ・セットが備わっています。たとえば、特定のメディア項目を SKU ではなく、製品と関連付けたい場合があります。SKU が色などの目に見える特性で区別されていて、親製品に関連付けられた単一のイメージ・セットではなく、異なるイメージを各 SKU に対して設定したい場合などです。

メディア・プロパティの作業の詳細は、[メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理](#)を参照してください。

「製品」タブ

プロパティ	説明
固定子製品	このカテゴリの明示的に設定された子製品のリストです。
子製品(グループ)	このカテゴリの子製品を含むコンテンツ・グループの名前です。

「拡張」タブ

プロパティ	説明
サブ・カタログ	このカテゴリに含まれるカタログのリストです。サブカタログは、ルート・カテゴリがこのカテゴリの子カテゴリであるカタログです。
固定関連カテゴリ	このカテゴリに関連付けられている、明示的に設定されたカテゴリのリストです。
関連カテゴリ (グループ)	このカテゴリに関連付けられているカテゴリを含んだコンテンツ・グループの名前です。
カタログの親カテゴリ	現在のカタログに関わる親カテゴリです。

9 製品の作成と管理

製品は、ボックス型のシューズや一足のローファなど、カタログにおけるナビゲーションの終点です。製品はSKUの親になることができます。

製品の作成

新しい製品を作成するには

1. 「参照」パネルで、新しい製品を作成するカテゴリを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意:「対象」ドロップダウン・メニューで「製品」を選択した場合は、「検索」パネルから製品を作成することもできます。この操作により、「非分類品目」または「サイトにリストされていない品目」リストで製品が作成されます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「製品」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドは唯一の必須フィールドです。
4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

製品プロパティ

詳細ペインで、次の製品プロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandisingにデフォルトで付属している製品プロパティです。Webサイトに固有の新しい製品プロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
デフォルト表示名	サイトの製品に使用される名前です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意のIDが割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
オンラインのみ	ストア内引取で品目を使用できるかどうかを指定します。 「オンラインのみ」の値が「いいえ」(デフォルト)に設定されている場合、ストア内引取で品目を使用できます。「オンラインのみ」の値が「はい」に設定されている場合、ストア内引取で品目を使用できず、オンラインのみで購入できます。

プロパティ	説明
サイト	複数サイト環境の場合、製品が属するサイトの名前になります。 このプロパティは読取り専用です。 複数サイト環境のアセット を参照してください。
製造業者	製品の製造業者の名前です。
開始日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、製品が販売される日付です。 フィルタリングの詳細は、『 ATG Web Commerce Personalization Programming Guide 』を参照してください。
終了日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、製品の販売が終了する日付です。 フィルタリングの詳細は、『 ATG Web Commerce Personalization Programming Guide 』を参照してください。
デフォルト摘要	製品とともに表示する短い摘要テキストです。
デフォルト詳細摘要	製品とともに表示する詳細摘要テキストです。
テンプレート	製品を表示するために使用する JSP テンプレートです。 テンプレートの作業の詳細は、 メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理 を参照してください。

「SKU」タブ

プロパティ	説明
SKU	この製品の子 SKU のリストです。
表示可能な SKU 属性	DisplaySkuProperties サブレット Bean によって表示可能な、製品の SKU のプロパティのリストです。たとえば、この Bean を使用して、「デフォルト表示名」プロパティと「定価」プロパティを表示できます。 サブレット Bean の詳細は、『 ATG Web Commerce ストア設定ガイド 』を参照してください。

「分類」タブ

プロパティ	説明
親カテゴリ	この製品を含んだカテゴリです。 詳細は、 親カテゴリでの作業 を参照してください。

「カタログ・メディア」タブ

カテゴリ、製品および SKU にはすべて、テンプレート(「一般」タブ上)、サムネイル・イメージ、小イメージ、大イメージおよび補助メディアといった同じメディア・プロパティ・セットが備わっています。ご使用の Web サイトでは、これらすべてのプロパティを必要としないことがあります。たとえば、ほとんどの商用サイトでは、各 SKU はそのテンプレート・ページに表示されません。より一般的には、製品のテンプレート・ページに、製品のすべての子 SKU が表示されます。

ユーザーがカタログをできるだけ柔軟に設定できるように、カテゴリ、製品および SKU にはすべて同じメディア・プロパティ・セットが備わっています。たとえば、特定のメディア項目を SKU ではなく、製品と関連付けたい場合があります。SKU が色などの目に見える特性で区別されていて、親製品に関連付けられた単一のイメージ・セットではなく、異なるイメージを各 SKU に対して設定したい場合などです。

メディア・プロパティの作業の詳細は、[メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理](#)を参照してください。

「価格表」タブ

「価格表」では、特定の価格セットを特定の顧客グループを対象に設定できます。たとえば、価格表を使用して企業間価格設定を実装することで、各顧客が契約、RFQ および事前交渉による価格に基づいて独自の価格設定を設けることができます。「価格表」タブでの作業の詳細は、この章で後述する[製品価格での作業](#)を参照してください。

注意: 管理者が Merchandising を構成した方法によっては、製品の詳細ペインにある「価格表」タブが表示されない場合があります。

「提示」タブ

プロパティ	説明
固定関連製品	この製品に関連付けられている製品の静的なリストです。
関連製品 (グループ)	動的に関連付けられた製品のリストを含むコンテンツ・グループの名前です。
動的関連製品	「関連製品(グループ)」プロパティによって指定された、コンテンツ・グループの製品のリストです。 このプロパティは読取り専用です。
関連製品	この製品の子である全製品のリストです。 このプロパティは読取り専用です。

「拡張」タブ

プロパティ	説明
デフォルト・キーワード	この製品を返す検索語です。
割引可能	品目がプロモーションで割引を受ける資格があるかどうかを指定します。 プロモーションの詳細は、 プロモーションおよびクーポンの作成と管理 を参照してください。

「関連コンテンツ」タブ

プロパティ	説明
関連記事	この製品に関連付けられている記事です。 詳細は、 記事の作成と管理 を参照してください。
関連メディア・コンテンツ	この製品に関連付けられているメディア・コンテンツの項目です。 詳細は、 メディア・コンテンツの作成と管理 を参照してください。

親カテゴリでの作業

親カテゴリは、階層内の製品の直上にあるカテゴリです。たとえば、アクセサリは、ショルダ・バッグ製品の親カテゴリになります。リンクされた製品には、複数の親カテゴリがあります。たとえば、ショルダ・バッグ製品を婦人用ギフト・カテゴリにリンクする場合、その親カテゴリはアクセサリと婦人用ギフトになります。

「分類」タブの「親カテゴリ」エディタには、製品の親カテゴリが表示され、親カテゴリを追加または削除できます。

Parent categories for catalog Clear all 1 item

Key	Value	
homeStoreCat...	Seating	✕

Merchandising では、実行するタスクに応じて「親カテゴリ」エディタの内容が入力されます。

- 「参照」パネルで製品を作成すると、「親カテゴリ」エディタには、製品の作成時に選択されたカテゴリが自動的に入力されます。
- 「検索」パネルで製品を作成するか、製品が親カテゴリの情報なしでインポートされると（フィードでインポートされる製品など）、「親カテゴリ」エディタには何も入力されません。
- 製品を移動、リンクまたはリンク解除すると、「親カテゴリ」エディタに表示されているカテゴリは自動的に更新されて新しい親が反映されます。

親カテゴリを手動で追加または削除することも可能です。詳細は、[コレクション・エディタでの作業](#)を参照してください。

製品価格での作業

製品の詳細ペインにある「価格表」タブの情報には、管理者によって設定された価格表が反映されています。ユーザーは価格タイプを変更でき、該当する場合は、製品の価格を指定できます。

注意: 「価格表」ビューで価格表をより広範に構成する方法は、[価格表の作成と管理](#)を参照してください。

「価格表」エディタには、製品に適用される各価格表が表示されており、各リストの製品の価格タイプを編集できます。

製品の価格を変更するには

1. 製品の詳細ペインの「価格表」タブにナビゲートします。
2. 「価格表」エディタで、編集する価格表をクリックします。
3. 「価格タイプ」リストからオプションを選択します。
 - 継承: 製品価格は価格表によって指定されます。これはデフォルト値です。
 - 上書き: 「製品価格」列で指定した価格により、この製品の継承価格が上書きされます。
 - 数量: 「製品価格」列の「セット数量価格設定...」ボタンをクリックして指定した数量価格設定方式により、この製品のリストの価格が置き換えられます。数量価格設定の方法は、[価格表の作成と管理](#)を参照してください。
4. 詳細ペイン下部の「保存」ボタンをクリックします。

10 SKU の作成と管理

SKU(最小在庫管理単位)は、サイト上の購入可能な製品のインスタンスを表します。顧客は実際に製品を購入するのではなく、SKUを購入します。製品は自身に関連付けられた、種類、サイズおよび色を表す様々なSKUを複数持つことができます。たとえば、2つの色と5つのサイズで販売されているフード付きサンドレス製品の場合、10の関連SKU(サイズ/色の組合せごとに1つずつ)があります。SKUには子アセットはありません。

通常、SKUは"Mサイズの青いシャツ"など、1つの項目を表します。構成可能なSKUは、単一の品目として販売されるけれども、コンピュータ・システムや自転車など、可変コンポーネントがあるものを表します。

SKU の作成

新しいSKUまたは構成可能なSKUを作成するには

1. 「参照」パネルで、新しいSKUと関連付ける製品を選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意:「対象」ドロップダウン・メニューで「SKU」を選択した場合は、「検索」パネルからSKUを作成することもできます。この操作により、「非分類品目」または「サイトにリストされていない品目」リストでSKUが作成されます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「SKU」または「構成可能なSKU」を選択します。Merchandising インストールの構成方法に応じて、SKUの追加のタイプを使用できます。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドは唯一の必須フィールドです。
4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

SKU プロパティ

SKU プロパティは、製品やカテゴリ・プロパティと同様に、表示目的のために使用されます。また、価格設定や履行など、他の Oracle Commerce Core Commerce システムと統合するために使用されます。

詳細ペインで、次のSKUプロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているSKUプロパティです。Webサイトに固有の新しいSKUプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
デフォルト表示名	サイトの SKU に使用される名前です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
オンラインのみ	ストア内引取で品目を使用できるかどうかを指定します。 「オンラインのみ」の値が「いいえ」(デフォルト)に設定されている場合、ストア内引取で品目を使用できます。「オンラインのみ」の値が「はい」に設定されている場合、ストア内引取で品目を使用できず、オンラインのみで購入できます。
サイト	複数サイト環境の場合、SKU が属するサイトの名前になります。 このプロパティは読取り専用です。 複数サイト環境のアセット を参照してください。
開始日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、SKU が使用可能になる日付です。 フィルタリングの詳細は、『 ATG Web Commerce Personalization Programming Guide 』を参照してください。
終了日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、SKU が使用不可になる日付です。 フィルタリングの詳細は、『 ATG Web Commerce Personalization Programming Guide 』を参照してください。
デフォルト摘要	SKU とともに表示する短い摘要テキストです。
テンプレート	SKU を表示するために使用する JSP テンプレートです。 テンプレートの作業の詳細は、 メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理 を参照してください。
親製品	この SKU を含む製品です。 このプロパティは読取り専用です。この SKU の親を変更する場合は、 製品の作成と管理 を参照してください。

「カタログ・メディア」タブ

カテゴリ、製品および SKU にはすべて、テンプレート(「一般」タブ上)、サムネイル・イメージ、小イメージ、大イメージおよび補助メディアといった同じメディア・プロパティ・セットが備わっています。ご使用の Web サイトでは、これらすべてのプロパティを必要としないことがあります。たとえば、ほとんどの商用サイトでは、各 SKU はそのテンプレート・ページに表示されません。より一般的には、製品のテンプレート・ページに、製品の子 SKU すべてが表示されます。

ユーザーがカタログをできるだけ柔軟に設定できるように、カテゴリ、製品および SKU にはすべて同じメディア・プロパティ・セットが備わっています。たとえば、特定のメディア項目を SKU ではなく、製品と関連付

けたい場合があります。SKU が色などの目に見える特性で区別されていて、親製品に関連付けられた単一のイメージ・セットではなく、異なるイメージを各 SKU に対して設定したい場合などです。

メディア・プロパティの作業の詳細は、[メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理](#)を参照してください。

「SKU 価格設定」タブ

SKU 価格設定は、製品または SKU カタログ・ページを使用して SKU に定価および任意の販売価格を割り当てるシンプルな価格設定方法です。SKU 価格は価格表から独立しています。管理者が Merchandising を構成した方法によっては、SKU の詳細ペインにある「SKU 価格設定」タブが表示されない場合があります。たとえば、カタログで価格表が使用されている場合、「SKU 価格設定」タブが表示されない可能性があります。

プロパティ	説明
定価	割引またはプロモーション前の SKU のデフォルトの価格です。
販売中	品目が販売中かどうかを示すブール (はい/いいえ) プロパティです。
販売価格	「販売中」プロパティが「はい」に設定されている場合は、SKU の価格です。
卸売価格	SKU の卸売価格です。

「価格表」タブ

「価格表」では、特定の価格セットを特定の顧客グループを対象に設定できます。たとえば、価格表を使用して企業間価格設定を実装することで、各顧客が契約、RFQ および事前交渉による価格に基づいて独自の価格設定を設けることができます。「価格表」タブでの作業の詳細は、この章で後述する [SKU 価格での作業](#)を参照してください。

注意: 管理者が Merchandising を構成した方法によっては、SKU の詳細ペインにある「価格表」タブが表示されない場合があります。

「拡張」タブ

プロパティ	説明
バンドル・リンク	SKU バンドルを構成する SKU リンクのリストです。このプロパティ・エディタが空の場合、SKU はバンドルではありません。
導出されたカタログ	エンド・ユーザーにこの SKU を表示する権限があるかどうかを判別するために使用されます。 このプロパティは読取り専用です。
動的属性	定義する各属性の鍵/値ペアとして指定された、SKU のその他の構成可能な属性です。たとえば、鍵/値ペアを色/赤やサイズ/小として指定できます。
割引可能	品目がプロモーションで割引を受ける資格があるかどうかを指定します。 プロモーションの詳細は、 プロモーションおよびクーポンの作成と管理 を参照してください。

プロパティ	説明
履行者	品目を出荷する履行者です。
代替製品	品目の在庫がない場合に、代替製品として提示する製品です。

SKU バンドルの作成

SKU バンドルは、複数の個別の SKU で構成された SKU です。バンドルの場合、品目グループを単一品目として購入することが可能ですが、受注処理では複数の品目として処理されます。バンドルは、バンドルのコンポーネント SKU が常に同じである点において、構成可能な SKU と異なります。たとえば、SKU バンドルは、6 本の HB 鉛筆と 1 つの筆箱で構成できます。

SKU バンドルは 3 つの部分からなるプロセスで作成します。

1. SKU バンドルが構成されている個々の SKU を作成します。
2. 「SKU」から SKU リンクを作成します。SKU リンクは、個々の SKU と数量で構成されます。
3. 「バンドル・リンク」プロパティが、1 つ以上の SKU リンクで構成される SKU を作成します。

たとえば、6 本の HB 鉛筆と 1 つの筆箱で構成される SKU バンドルを作成するとします。

1. HB 鉛筆を表す SKU を作成し、筆箱を表す別の SKU を作成します。
2. 鉛筆 SKU と筆箱 SKU へのリンクを含んだ新しい SKU を作成することで、SKU バンドルを作成します。
3. SKU バンドルで、6 本の HB 鉛筆 SKU を表す SKU リンクを作成し、筆箱 SKU の 1 つを表す別の SKU リンクを作成します。

SKU バンドルの作成

SKU リンクに関連付ける 1 つ以上の SKU を作成したら、リンクを組み合わせる SKU を作成できます。

1. この章で前述したように、新しい SKU を作成します。
2. 詳細ペインの「拡張」タブで、「バンドル・リンク」プロパティをクリックします。
3. +ボタンをクリックして、新しいリンクを作成します。
4. 新しい「SKU リンク」ダイアログ・ボックスで、次の必須プロパティを入力します。
名前: SKU リンクを説明する名前です。
品目: このリンクに関連付けられた SKU です。既存の SKU を選択することも、新しい SKU を作成することもできます。
数量: このバンドルに含める品目の数量です。
5. 「作成」をクリックして、新しい SKU リンクを作成し、ダイアログ・ボックスをクローズします。
6. 作成する新しい SKU リンクごとに、手順 3 から手順 5 を繰り返してください。
7. 「保存」をクリックして、SKU バンドルへの変更を保存します。

構成可能な SKU の作成

通常の SKU が、M サイズの青いシャツなど単一品目を表すのに対し、構成可能な SKU は、単一品目として販売されるけれども、顧客がメモリー容量やハードディスク・サイズを選択できるコンピュータ・システムなど、可変コンポーネントを持つオブジェクトを表します。構成可能な SKU は通常の SKU と同じ方法で作成できますが、構成可能なプロパティを追加する必要があります。

新しい構成可能なプロパティを構成可能な SKU に追加するには

1. この章で前述したように、新しい構成可能な SKU を作成します。
2. 詳細ペインの「拡張」タブで、「構成可能な品目」の「構成可能なプロパティ」プロパティをクリックします。
3. +ボタンをクリックして、新しい構成可能なプロパティを作成します。
4. 新しい「構成可能なプロパティ」ダイアログ・ボックスで、次の必須プロパティを入力します。
名前: プロパティを説明する名前です。
構成オプション: この構成可能なオプションが製品を表す場合は製品を指定し、SKU を表す場合は SKU を指定します。
5. 「作成」をクリックして、新しい構成可能なプロパティを作成し、ダイアログ・ボックスをクローズします。
6. 作成する新しい構成可能なプロパティごとに、手順 3 から手順 5 を繰り返してください。
7. 「保存」をクリックして、構成可能な SKU への変更を保存します。

SKU 価格での作業

SKU の詳細ペインにある「価格表」タブの情報には、管理者によって設定された価格表が反映されています。ユーザーは価格タイプを変更でき、該当する場合は、SKU の価格を指定できます。

注意: 「価格表」ビューで価格表をより広範に構成する方法は、[価格表の作成と管理](#)を参照してください。

「価格表」エディタには、SKU に適用される各価格表が表示されており、各リストの SKU の価格タイプを編集できます。

SKU の価格を変更するには

1. SKU の詳細ペインの「価格表」タブにナビゲートします。
2. 「価格表」エディタで、編集する価格表をクリックします。
3. 「価格タイプ」リストからオプションを選択します。
 - 継承: SKU 価格は価格表によって指定されます。これはデフォルト値です。
 - 上書き: 「SKU 価格」列で指定した価格により、この SKU の継承価格が上書きされます。
 - 数量: 「SKU 価格」列の「セット数量価格設定...」ボタンをクリックして指定した数量価格設定方式により、この SKU のリストの価格が置き換えられます。数量価格設定の方法は、[価格表の作成と管理](#)を参照してください。
4. (オプション)SKU は複数の製品の子になることができます。様々な製品の同じ SKU に対して異なる価格を設定するには、「価格表」エディタに表示される製品名の列ペアの各「価格タイプ」/「価格」で手順 3 を繰り返します。
5. 詳細ペイン下部の「保存」ボタンをクリックします。

11 コンテンツ・フォルダの作成と管理

コンテンツ・フォルダを使用して、記事とメディア・コンテンツを編成できます。コンテンツ・フォルダは、Merchandising および他の Oracle Commerce Platform ユーザー・インタフェースのみで使用できます。Web サイト自体には表示されません。

コンテンツ・フォルダの作成

コンテンツ・アセットとフォルダを作成する前に、その編成方法を検討してください。たとえば、メディア・アセットは題材またはアセット・タイプ別に編成できます。コンテンツ・アセット・フォルダは、「コンテンツ」のトップレベルまたは別のコンテンツ・フォルダ内部に作成できます。

新しいコンテンツ・フォルダを作成するには、次の手順を完了します。

1. 「参照」パネルで、「コンテンツ」または別のコンテンツ・フォルダにナビゲートします。
注意: 「検索先」ドロップダウン・メニューで「コンテンツ」を選択した場合は、「検索」パネルからフォルダを作成することもできます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「コンテンツ・フォルダ」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドのみが必須です。
4. 「作成」をクリックします。
「検索」パネルからフォルダを作成し、フォルダの詳細ペインの「一般」タブにある「親フォルダ」プロパティを指定しない場合、新しいフォルダはトップレベルに作成されます。

コンテンツ・フォルダ・プロパティ

詳細ペインで、次のコンテンツ・フォルダ・プロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているコンテンツ・フォルダ・プロパティです。Web サイトに固有の新しいプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	フォルダ名です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
摘要	フォルダの概略です。
親フォルダ	このフォルダを含むフォルダです。空の場合、このフォルダはルート・フォルダです。
作成者	フォルダを作成した Merchandising ユーザーのユーザー名です。このプロパティは読取り専用です。
作成日	このフォルダが作成されたときのタイムスタンプになります。このプロパティは読取り専用です。
変更者	フォルダを最後に更新した Merchandising ユーザーのユーザー名です。このプロパティは読取り専用です。

コンテンツ・フォルダの削除

コンテンツ・フォルダを削除する前に、空にする必要があります。

12 記事の作成と管理

記事は、顧客が Web サイトで閲覧できる HTML ドキュメントです。たとえば、ダイニング・テーブルの製品詳細ページには、木製家具の手入れの仕方に関する記事が含まれる場合があります。記事には、リッチ・テキスト、イメージのほか、ビデオなどの他のメディア・コンテンツを含めることができます。記事に関連製品およびカテゴリを関連付けることもできます。

記事の作成

新しい記事を作成するには、次の手順を完了します。

1. 「参照」パネルで、「コンテンツ」にナビゲートします。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意:「検索先」ドロップダウン・メニューで「コンテンツ」を選択した場合は、「検索」パネルから記事を作成することもできます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「記事」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。必須フィールドは星アイコンでマークされています。
4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

記事プロパティ

詳細ペインで、次のプロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているプロパティです。Web サイトに固有の新しいプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	Merchandising の記事で使用される名前です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
ヘッドライン	記事のヘッドラインです。Merchandising の内部で使用する「名前」とは異なり、ヘッドラインが Web サイトに表示されます。
本文	記事の HTML テキストです。

プロパティ	説明
メイン・イメージ	ページの記事をレンダリングするときに表示するメイン・イメージです。詳細は、 メディア・コンテンツの作成と管理 を参照してください。
サムネイル・イメージ	公開中などのページの記事をレンダリングするときに表示するサムネイル・イメージです。このイメージは、Merchandising の記事のサムネイル・イメージとしても使用されます。詳細は、 メディア・コンテンツの作成と管理 を参照してください。
タグ	記事に関連付けられているタグのリストです。詳細は、 タグの作成と管理 を参照してください。
作成者	記事の作成者です。
抽象	記事の HTML 要約です。
サイト	複数サイト環境の場合、記事が属するサイトの名前になります。詳細は、 複数サイト環境のアセット を参照してください。
掲載日	記事が掲載されたときのタイムスタンプになります。(これは、「開始日」と同様に必須ではありません。)このプロパティは、Web サイトで表示したり、ソートに使用することを想定しています。
親フォルダ	このアセットを含むフォルダです。
開始日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、記事が使用可能になるときのタイムスタンプです。
終了日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、記事が使用不可になるときのタイムスタンプです。
親フォルダ	この記事を含むフォルダです。
作成者	記事を作成した Merchandising ユーザーのユーザー名です。このプロパティは読取り専用です。
作成日	この記事が作成されたときのタイムスタンプになります。このプロパティは読取り専用です。
変更者	記事を最後に更新した Merchandising ユーザーのユーザー名です。このプロパティは読取り専用です。

「関連コンテンツ」タブ

プロパティ	説明
関連製品	この記事に関連付けられている製品です。
関連カテゴリ	この記事に関連付けられているカテゴリです。
関連記事	この記事に関連付けられている他の記事です。詳細は、 記事の作成と管理 を参照してください。

プロパティ	説明
関連メディア・コンテンツ	この記事に関連付けられているメディア・コンテンツの項目です。

13 メディア・コンテンツの作成と管理

メディア・コンテンツ・アセットは、イメージ、オーディオ・クリップ、PDF ファイル、ビデオ・クリップなどの Web コンテンツを示すバイナリ・ファイルです。たとえば、ガス・グリルの製品詳細ページには、グリルの組み立て方を示すビデオ・クリップ、レシピのほか、PDF ファイルの取扱説明書を掲載した記事が含まれる場合があります。

メディア・コンテンツ・アセットは、mediaContent リポジトリに保存されているバイナリ・ファイルをポイントする明記された URL で、Merchandising によって管理されています。

Merchandising は、ファイルの拡張子に基づいて、URL がポイントするアセットのファイル・タイプを次のいずれかに自動検出します。

- ビデオ
- イメージ
- PDF
- オーディオ
- その他

メディア・コンテンツ・アセットの作成

新しいメディア・コンテンツ・アセットを作成するには、次の手順を完了します。

1. 「参照」パネルで、「コンテンツ」にナビゲートします。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意:「検索先」ドロップダウン・メニューで「コンテンツ」を選択した場合は、「検索」パネルからメディア・コンテンツを作成することもできます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「メディア・コンテンツ」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。必須フィールドは星アイコンでマークされています。
4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

メディア・コンテンツ・プロパティ

詳細ペインで、次のプロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているプロパティです。Web サイトに固有の新しいプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	Merchandising のアセットで使用される名前です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
タイトル	Web サイトに表示されるアセットのタイトルです。
URL	mediaContent リポジトリのコンテンツ・ファイルをポイントする URL です。
メディア・タイプ	URL のファイル拡張子に基づいて、次のいずれかの値に自動的に設定されます。ビデオ、イメージ、PDF、オーディオ、その他。このプロパティは読み取り専用です。
サムネイル・イメージ	公開中などのページのアセットをレンダリングするときに表示するサムネイル・イメージです。このイメージは、Merchandising のアセットのサムネイル・イメージとしても使用されます。
タグ	アセットに関連付けられているタグのリストです。詳細は、 タグの作成と管理 を参照してください。
摘要	Web サイトに表示されるアセットの概要です。
サイト	複数サイト環境の場合、アセットが属するサイトの名前になります。詳細は、 複数サイト環境のアセット を参照してください。
親フォルダ	このアセットを含むフォルダです。
作成者	このアセットを作成した Merchandising ユーザーのユーザー名です。このプロパティは読み取り専用です。
作成日	このアセットが作成されたときのタイムスタンプになります。このプロパティは読み取り専用です。
変更者	このアセットを最後に更新した Merchandising ユーザーのユーザー名です。このプロパティは読み取り専用です。

「関連コンテンツ」タブ

プロパティ	説明
関連製品	このアセットに関連付けられている製品です。
関連カテゴリ	このアセットに関連付けられているカテゴリです。
関連記事	このアセットに関連付けられている他の記事です。
関連メディア・コンテンツ	このアセットに関連付けられているメディア・コンテンツの項目です。

14 タグの作成と管理

タグは、記事とメディア・コンテンツ・アセットに割り当てるラベルです。自動的に割り当てられた ID を除き、タグには 1 つのプロパティしか含まれません。単純なテキスト文字列を格納する **tag** プロパティです。たとえば、**タグ** プロパティの値が **back to school** の値のタグを作成し、秋のセール・キャンペーンに関連する記事およびメディアにタグを適用できます。

タグを任意の数の記事とメディア・コンテンツ・アセットに割り当てることができます。記事またはメディア・コンテンツ・アセットに割り当てられるタグ数には制限がありません。**tag** プロパティの値は、検索およびガイド付きナビゲーションに使用できます。

注意: タグは、サイトウェアではありません。複数サイト環境の場合、すべてのサイトの記事およびメディア・コンテンツ・アセットにタグを使用できます。

タグの作成

「検索」パネルまたはタグを必要とする記事またはメディア・コンテンツ・アセットからタグを作成する必要があります。「参照」パネルでタグを作成したり、表示することはできません。

「検索」パネルからのタグの作成

「検索」パネルから新しいタグを作成するには、次の手順を完了します。

1. 「検索」パネルで、「検索先」ドロップダウン・メニューから「コンテンツ」を選択し、「対象」ドロップダウン・メニューから「タグ」を選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「タグ」を選択します。
3. タグのテキストを入力します。

注意: ここに入力するテキストは、単一タグになります。スペースまたはカンマで単語を区切っても、各単語に対する個別のタグは作成されません。

4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。
記事またはメディア・コンテンツ・アセットに新しいタグを割り当てるには、[コレクション・エディタでの作業](#)を参照してください。

詳細ペインからのタグの作成

詳細ペインから新しいタグを作成するには、次の手順を完了します。

1. 詳細ペインにプロパティを表示する記事またはメディア・コンテンツ・アセットを「参照」または「検索」パネルから選択します。

2. 「一般」タブで、「タグ」プロパティをクリックします。
3. 「タグ」コレクション・エディタで、+ボタンをクリックして、表示されたウィンドウのタグのテキストを入力します。詳細は、[新しいアセットの作成](#)を参照してください。
4. 「作成」をクリックします。

新しいタグがコレクションの最初の項目として表示されます。記事またはメディア・コンテンツ・アセットに既存のタグを割り当てるには、[コレクション・エディタでの作業](#)を参照してください。

15 ストアの場所の作成と管理

ストアの場所は、所在地や時間など、物理的な実店舗に関する情報を含むアセットです。ストアの場所はストア内引取機能によって使用されますが、Web サイトに表示することもできます。

ストアの場所の作成

新しいストアの場所のアセットを作成するには

1. 「参照」パネルで、「ストアの場所」にナビゲートします。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意:「検索先」ドロップダウン・メニューで「ストアの場所」を選択した場合は、「検索」パネルからストアの場所を作成することもできます。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「ストア」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。必須フィールドは星アイコンでマークされています。
4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

ストアの場所のプロパティ

詳細ペインで、次のプロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているプロパティです。Web サイトに固有の新しいプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

注意: ストアに関して入力する情報は、Merchandising によって検証されません。たとえば、郵便番号が残りの所在地と一致していることはチェックされません。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	ストアの場所の名前です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
小売ストア ID	銀行およびクレジット・カード会社がクレジット・カード支払を処理するときに、ストアを識別するために使用する ID 番号です。

プロパティ	説明
開始日	アセットが使用可能になる日付です。詳細は、 カレンダー・エディタ での作業を参照してください。
終了日	アセットが使用不可になる日付です。詳細は、 カレンダー・エディタ での作業を参照してください。
サイト	複数サイト環境の場合、ストアが属するサイトの名前になります。 複数サイト環境のアセット を参照してください。
サイト・グループ	複数サイト環境の場合、ストアが属するサイト・グループの名前になります。 複数サイト環境のアセット を参照してください。
緯度	ストアの場所の緯度座標です。たとえば、33.51 です。
経度	ストアの場所の経度座標です。たとえば、-112.03 です。
所在地 1	ストアの所在地の 1 行目です。たとえば、2404 East Camelback Road です。
所在地 2	ストアの所在地の 2 行目です。たとえば、Fashion Park です。
所在地 3	ストアの所在地の 3 行目です。たとえば、#100E です。
市区町村	ストアが置かれている市区町村です。たとえば、Phoenix です。
郡	ストアが置かれている郡です。たとえば、Maricopa です。
都道府県	ストアが置かれている都道府県です。たとえば、AZ です。
郵便番号	ストアの場所の郵便番号です。たとえば、85016 です。
国	ストアが置かれている国です。たとえば、USA です。
時間	ストアの営業時間です。たとえば、平日午前 10 時～午後 7 時です。
電話番号	ストアの電話番号です。たとえば、949-721-2000 です。
FAX 番号	ストアの FAX 番号です。たとえば、949-721-2000 です。
Eメール	ストアの Eメール・アドレスです。たとえば、service@example.com です。

「関連コンテンツ」タブ

プロパティ	説明
関連記事	この場所に関連付けられている記事です。詳細は、 記事の作成と管理 を参照してください。
関連メディア・コンテンツ	この場所に関連付けられているメディア・コンテンツの項目です。詳細は、 メディア・コンテンツの作成と管理 を参照してください。

16 カタログ・メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理

メディア・アセットは、Web ページをポイントする URL、JSP テンプレート、または Merchandising によって管理される製品コピーのブロックなど、通常、コンテンツを持つアセットです。メディア・アセットは専門用語としては、コンテンツ・リポジトリに保存される Core Commerce アセットになります。

次のタイプのメディア・アセットを扱うことができます。

- 「メディア - 内部 - テキスト」アセットには、テキストのブロックが保存されます。たとえば、Web サイトのスロットによって表示されるテキスト行は、メディア内部テキスト・アセットとして保存されている可能性があります。
- 「メディア - 内部 - バイナリ」アセットには、イメージまたは PDF などのバイナリ・ファイルが保存されます。
注意: 製品イメージなどの大きいファイルを「メディア - 内部 - バイナリ」アセットとして使用しないでください。使用すると、サイズが大きくなって配置が遅くなる場合があります。「メディア - 内部 - バイナリ」項目は、小さいにファイルに対して使用する必要があります。大きいファイルの場合は、「メディア - 外部」アセットを使用します。
- 「メディア - 外部」アセットには、カタログ・データベース外部に保存されたテキストやバイナリ・ファイルなどのファイルをポイントする URL が保存されます。たとえば、すべての製品で使用される JSP テンプレートは、メディア外部アセットとして保存されている可能性があります。

メディア・アセットはメディア・フォルダで編成します。メディア・フォルダは必ず必要です。つまり、メディア・アセットは、メディア・フォルダ外部には配置できません。メディア・アセットを作成する前に、その編成方法を決定して、適切なフォルダ構造を作成してください。

メディア・フォルダの作成

メディア・アセットとフォルダを作成する前に、その編成方法を検討してください。たとえば、メディア・アセットは題材またはアセット・タイプ別に編成できます。メディア・アセット・フォルダは、「メディアおよびコンテンツ」のトップレベルまたは別のメディア・フォルダ内部に作成できます。

新しいメディア・フォルダを作成するには

1. 「参照」パネルで、「メディアおよびコンテンツ」にナビゲートします。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「メディア・フォルダ」を選択します。
3. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドのみが必須です。
4. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

メディア・フォルダ・プロパティ

詳細ペインで、次のメディア・フォルダ・プロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているメディア・フォルダ・プロパティです。Web サイトに固有の新しいメディア・フォルダ・プロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「プロパティ」タブ

プロパティ	説明
名前	フォルダ名です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
摘要	フォルダの概略です。
親フォルダ	このフォルダを含むフォルダです。値が表示されていない場合、このフォルダはルート・フォルダです。
パス	フォルダの完全パス名です。
作成日	このフォルダが作成された日付です。
開始日	フォルダが使用可能になる日付です。
終了日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、このフォルダが使用不可になる日付です。

メディア・アセットの作成

新しいメディア・アセットを作成するには

- 「参照」パネルで、「メディアおよびコンテンツ」にナビゲートします。新しいアセットを作成するフォルダを選択します。詳細は、[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
注意:「対象」ドロップダウン・メニューで「メディア」を選択した場合は、「検索」パネルからメディア・アセットを作成することもできます。この操作により、「非分類品目」または「サイトにリストされていない品目」リストでメディア・アセットが作成されます。
- ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、次のいずれかを選択します。
 - メディア - 外部
 - メディア - 内部 - バイナリ
 - メディア - 内部 - テキスト
- 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。必須フィールドは星アイコンでマークされています。
- 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

「メディア - 外部」プロパティ

詳細ペインで、次のプロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているプロパティです。Web サイトに固有の新しいプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	メディア・アセット名です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
摘要	アセットの概略です。
親フォルダ	このアセットを含むフォルダです。 このプロパティは必須です。
パス	アセットの完全パス名です。 このプロパティは読取り専用です。
URL	メディア・アセットにアクセスするために、JSP ページで使用できる相対 URL です。 このプロパティは必須です。

「メディア - 内部 - テキスト」プロパティ

詳細ペインで、次のプロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているプロパティです。Web サイトに固有の新しいプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	メディア・アセット名です。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
摘要	アセットの概略です。
データ	アセットを構成するテキストです。 このプロパティは必須です。

プロパティ	説明
親フォルダ	このアセットを含むフォルダです。 このプロパティは必須です。
パス	アセットの完全パス名です。 このプロパティは読取り専用です。
作成日	アセットが作成された日時です。 このプロパティは読取り専用です。

「メディア - 内部 - バイナリ」プロパティ

詳細ペインで、次のプロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、Merchandising にデフォルトで付属しているプロパティです。Web サイトに固有の新しいプロパティが管理者によって追加されている場合があります。

「一般」タブ

プロパティ	説明
名前	.JPG、.GIF または .PNG などの拡張子を含めたメディア・アセットのファイル名です。 このプロパティは必須です。
摘要	アセットの概略です。
データ	アセットを構成するデータです。 このプロパティは必須です。
親フォルダ	このアセットを含むフォルダです。 このプロパティは必須です。
パス	アセットの完全パス名です。 このプロパティは読取り専用です。
作成日	アセットが作成された日時です。 このプロパティは読取り専用です。
MIME タイプ	アセットのコンテンツ・タイプの値です。 このプロパティは読取り専用です。

メディア・フォルダの削除

別のフォルダを含んだメディア・フォルダを削除する場合、子フォルダが「メディアおよびコンテンツ」階層のトップレベルに移動されます。

17 SEO タグの作成と管理

Web 検索エンジンによるページのランキングは部分的に、特定の HTML タグ、特に、<meta>タグと <title>タグに表示される単語に基づいています。一般的な検索エンジン最適化 (SEO) 手法では、これらのタグの主な検索条件をリストして、これらの条件を含んだページのランキングを確立します。SEO タグは、そのプロパティがサイト・ページの<title>タグと<meta>タグのコンテンツを設定するために使用される項目です。SEO タグ、およびそのプロパティで使用される値の詳細は、『[ATG Web Commerce Programming Guide](#)』を参照してください。

SEO タグを作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「SEO タグ」にナビゲートします。[ナビゲーション・ペインの使用](#)を参照してください。
2. 「新規作成」ボタンをクリックして、ドロップダウン・メニューから「SEO タグ」を選択します。
3. 「コンテンツ・キー」テキスト・ボックスに、項目を検索するために使用する識別子を入力します。
4. 「摘要」テキスト・ボックスに、ページのコンテンツを説明するテキストを入力します。
5. 「キーワード」テキスト・ボックスに、ページの検索キーワードのリストを入力します。
6. 「タイトル」テキスト・ボックスに、ページのタイトルとして使用するテキストを入力します。
7. 「表示名」テキスト・ボックスに、項目に使用する表示名を入力します。
8. 「作成」をクリックします。

新しい項目がナビゲーション・ペインに表示されます。

The screenshot displays the ATG Web Commerce Admin Console interface. At the top, the breadcrumb navigation shows 'SEO Tags' with a dropdown arrow, followed by 'Project: BackToSchool' and 'Task: Author'. The user is logged in as 'Admin User' and can access 'Utilities' or 'Log out'.

The main content area is titled 'Add a New Credit Card' (ID: 1100074) under the 'Basics' tab. The configuration fields are as follows:

- Content Key:** /myaccount/newCreditCard.jsp
- Default Description:** (empty field)
- Default Display Name:** Add a New Credit Card
- Default Keywords:** (empty field)
- Default Title:** CRS Store - Add a New Credit Card

Under the 'Site Configurations' section, two site codes are listed: 'storeSiteUS' and 'storeSiteDE', each with a delete icon (X). An 'Add' button is located below the site configurations.

At the bottom of the configuration area, there are buttons for 'Review Changes', 'Preview As...', 'Save', and 'Revert'. The status bar at the very bottom indicates '102 results' and 'Page 1 of 3'.

18 アセットのインポートとエクスポート

Oracle Commerce アセットはエクスポートが可能のため、Merchandising 外部で作業することも、変更を Oracle Commerce Platform システムに容易にインポートして戻すこともできます。たとえば、次のようになります。

- 新しいカタログ情報が自動フィードで送られてきた場合、新しいアセットを一括して書式設定および編集し、カタログにインポートできます。
- 多数の人から更新が送信される場合は、それぞれの変更を手動で入力するかわりに、すべての変更を Merchandising に一度に組み込むことができます。
- カatalog・アセットの一括編集またはグローバル操作(検索や置換またはスペル・チェック)をスプレッドシートで素早く実行して、これらの変更をカタログにインポートして戻すことができます。
- Merchandising へのアクセス権限がない人に対し、アセット情報をレビュー目的のために配布できます。

アセットのエクスポート

カタログ・アセットとそのプロパティまたは価格を XLS (Microsoft Excel) または CSV (カンマ区切り値) 形式のファイルにエクスポートできます。エクスポートしたら、Microsoft Excel などのスプレッドシート・エディタを使用して、プロパティ値を表示および編集できます。エクスポートを開始する前に、プレビュー・オプションを使用すると、スプレッドシートの最初の数行を表示して、選択した内容を確認できます。

エクスポートのガイドラインと制限

この項では、エクスポートの計画に役立つ情報を示します。

エクスポート用に選択できないアセット・タイプ

Merchandising では、次のタイプのアセットはエクスポートしません。

- 価格表
- 価格表フォルダ

アセット・プロパティのエクスポート

アセットをエクスポートする場合、次のデータ型を持つプロパティすべてをエクスポートできます。

- 文字列型
- 長文字列型
- リスト、セットおよびマップ・コレクションの文字列とリポジトリ項目

注意: 配列はサポートされていません。

- 日付型
- タイムスタンプ型
- int 型
- 長整数型
- 単精度浮動小数点型
- 倍精度浮動小数点型
- 列挙型
- ブール型
- リポジトリ項目

プロパティのデータ型の詳細は、このガイドの前半にある、各種アセット・タイプの作成と処理について説明している章を参照してください。

価格でエクスポートできるプロパティの詳細は、[価格プロパティのエクスポート](#)を参照してください。

アセットのバージョン設定

エクスポートするためにアセットをプロジェクトに追加する必要はありませんが、プロジェクトと関連して作業を行う必要があります。

プロジェクトで変更したアセットを選択してエクスポートする場合、変更されたバージョンがエクスポートされます。それ以外の場合、メイン・バージョン(最後にチェックインされたバージョン)がエクスポートされます。

注意: バージョン設定情報はエクスポートに含まれません。スプレッドシートを編集して、Merchandising に再インポートする場合、[バージョン設定に関する考慮事項](#)を参照してください。

セキュリティ

エクスポートするアセットとプロパティに対する読取りアクセス権とリスト・アクセス権を持っている必要があります。アセットのエクスポートに書込みアクセス権は必要ありませんが、アセットとプロパティへの変更をインポートするには、書込みアクセス権が必要です。ユーザー権限の詳細は、管理者に問い合わせるか、[ATG Content Administration Programming Guide](#) のユーザー・アクセス権とセキュリティの管理に関する項を参照してください。

複数サイト環境でのエクスポート

複数サイト環境では、各カタログ・アセットには次のプロパティが割り当てられます。

- サイト: アセットのサイト・メンバーシップを定義します。
- 親カテゴリ

Merchandising では、カタログ項目のこれら両方のプロパティはエクスポートしませんが、プロモーションの「サイト」プロパティはエクスポートします。

サイズのエクスポート制限

- アセット行の最大数は 65,534 です。
1 つのスプレッドシートにエクスポートできるアセットの最大行数は 65,533 行です。Microsoft Excel の最大行数の制限は 65,536 行で、エクスポートされたスプレッドシートの最初の 2 行は、エクスポートに関する情報のために予約されています。65,534 行を超過する数のアセットをエクスポートする場合、またはコレクション・プロパティを項目別にし、エクスポートされたアセットの項目の総数が 65,534 行を超える場合、制限を上回るアセットまたはコレクション

項目はスプレッドシートには含まれません。データが切り捨てられたことを警告するメッセージが表示されます。

- 1つのセル内の最大文字数は32,767字です。

Microsoft Excel では、1つのセル内で32,767字を上回る数の文字数は許可されません。プロパティ値がかなり長いと、この制限に遭う可能性があります。問題となる可能性が高いのは、それぞれ15文字以上で2,000個のSKU IDのリストなど、非常に大きいコレクション・プロパティをエクスポートする場合です。このような場合は項目別書式を使用します。[コレクション・プロパティのエクスポート・オプション](#)を参照してください。

様々なタイプのアセットのエクスポート

各エクスポート手順でエクスポートできるのは1つのタイプのアセットのみです。たとえば、製品とカテゴリの両方を同じスプレッドシートにエクスポートすることはできません。製品を1つのエクスポート手順でエクスポートし、カテゴリを別の手順でエクスポートする必要があります。

一部のアセット・タイプは、他のアセット・タイプの子になります。たとえば、「構成可能なSKU」はSKUのタイプであり、「品目割引」はプロモーションのタイプです。親アセットをエクスポートする場合、子アセットすべてが自動的にエクスポートされます。

親アセットと子アセットの両方をエクスポートする場合、両方のアセット・タイプに適用されるプロパティのみをエクスポートできます。たとえば、プロモーションアセット・タイプを選択した場合、「1オーダーあたりに1つ使用」プロパティはエクスポートできませんが、「出荷割引」を選択した場合は利用可能になります。

コレクション・プロパティのエクスポート・オプション

リスト、セットおよびマップなど、サポートされているコレクション・プロパティを次のいずれかの形式でエクスポートできます。

- フラット: すべてのコレクション項目は1つのセル内に、カンマで区切られてリストされます。
- 項目別: 各コレクション項目は個別の行にリストされます。

手順は、[アセット・プロパティのエクスポート](#)を参照してください。

マップ・コレクションの項目には、一方を他方に対応付ける鍵/値ペアが含まれています。これらの項目を表すため、鍵と値は、Alabama=AL, Alaska=AK のように等号で区切られています。

フラット書式

フラット書式の場合、スプレッドシートの各行は、1つのアセットとエクスポートされたすべてのプロパティを表します。この書式では、各アセットのプロパティを複数エクスポートできます。コレクションの個々の値は、青、緑、赤のようにカンマで区切られています。あるいは、リポジトリ項目の場合は、cat110006, cat11008, cat11009 のようにカンマとスペースで区切られています。

次の表は、フラット書式で表示される childskus コレクション・プロパティを示します。

ID	displayNameDefault	childSKUs
xprod1068	ウール・ウエスト・タイ・トップ	xsku1448, xsku1449
xprod2525	メタリック・シルク・ブレンド・タンクトップ	xsku2525_1, xsku2525_2

注意: コレクション項目に数値のみが含まれている場合、または値にカンマが含まれている場合、項目は、"123", "124"のように、二重引用符で囲まれます。これにより、Microsoft Excel で数値のリストが単一の数値として解釈されないようにします。値にカンマが含まれている場合、二重引用符は、カンマによって新しい項目が開始されないことを示しています。たとえば、キーワード・コレクションは、冬物アクセサリ、"帽子、スカーフ、 および手袋", ニット・ギフトのようにエクスポートできます。スプレッドシートから再インポートするときに、引用符は取り除かれます。

項目別書式

項目別書式の場合、コレクション項目は個々の行に分けられるため、1つのアセットがスプレッドシートの複数の行にまたがる場合があります。コレクション・プロパティを項目別にする場合は、その1つのプロパティのみを選択してエクスポートできます。

次の表は、項目別書式の childskus プロパティで前の例の製品を示します。

ID	childSKUs
xprod1068	xsku1448
xprod1068	xsku1449
xprod2525	xsku2525_1
xprod2525	xsku2525_2

製品および SKU の価格のエクスポート

製品および SKU の価格表からの価格のエクスポートが可能のため、Merchandising 外部で作業することも、変更を Oracle Commerce Platform システムに容易にインポートして戻すこともできます。エクスポートする価格の価格表を選べますが、価格表アセット自体はエクスポートできません。

注意: 価格は、各エクスポート手順で1つの価格表からのみエクスポートできます。

価格のエクスポートに関するガイドラインと制限は、他のアセット・プロパティのエクスポートのものと同じです。たとえば、アセット・プロパティまたは価格をエクスポートする場合、サイズのエクスポート制限(最大 65,534 アセット行)は同じです。詳細は、[エクスポートのガイドラインと制限](#)を参照してください。

数量価格設定

数量価格設定モデルは、エクスポートでサポートされていません。エクスポートされた数量価格には、price プロパティを含むセルにキーワード IGNORE、listPrice プロパティを含むセルに COMPLEX がマーク付けされています。価格表の数量価格設定モデルの詳細は、[価格表の作成と管理](#)を参照してください。

継承価格

エクスポートされた製品または SKU の価格が基本価格表から継承されている場合、キーワード IGNORE は ID プロパティを含むセル、および空の Price プロパティを含むセルにマークを付けます。

	A	B	C	D	E	F
1	/atg/commerce/pricing/priceLists/SecurePriceLists:price					LOCALE=en_US
2	ID	listPrice	priceList	skuld.displayNameDefault	skuld	
3	IGNORE		plist3080003	Samuel Wine Glass	xsku2088	

キーワード **IGNORE** を **NEW** に変換して、listPrice 列の価格値を提供できます。スプレッドシートをインポートするときに、新しい価格が適用/作成されます。

listPrice 列のスプレッドシートをインポートするときに、キーワード **IGNORE** を **NEW** に変換して、適用される価格値を提供できます。[無視するデータのマーク付け](#)を参照してください。

継承価格の詳細は、[価格表の作成と管理](#)を参照してください。

価格プロパティのエクスポート

製品または SKU の価格をエクスポートする場合、Merchandising が次のプロパティを自動的にエクスポートします。

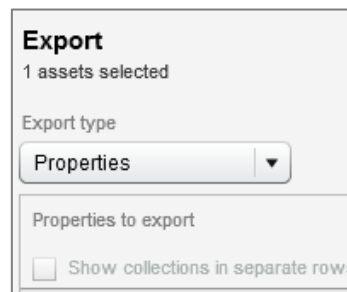
- Price Item ID
- PriceList ID
- SKU ID または Product ID
- SKU Name または Product Name
- Price

注意: 管理者の Merchandising の構成方法によっては、ここにリストされたすべてのプロパティが表示されたリストに含まれない場合がありますが、エクスポートするプロパティのリストは変更できません。

アセット・プロパティのエクスポート

アセット・プロパティをスプレッドシートにエクスポートするには、次の手順に従ってください。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、エクスポートするアセットを選択します。アセットは、ナビゲーション・ペインから選択することも、現在のプロジェクトで選択することもできます。
プロジェクトで変更したアセットをエクスポートする場合、メイン・バージョンの値ではなく、プロジェクトのバージョンのプロパティ値がエクスポートされます。詳細は、[アセットのバージョン設定](#)を参照してください。
2. 「処理」メニューで「エクスポート」をクリックします。
Merchandising が一度にエクスポートできるのは、1 つのアセット・タイプのみです。エクスポートで 2 つ以上のアセット・タイプを選択すると(たとえば、「製品」および「SKU」)、このエクスポートのアセット・タイプを決めるためのウィンドウが表示されます。詳細は、[様々なタイプのアセットのエクスポート](#)を参照してください。
3. 「エクスポート」タイプ・リストで「プロパティ」を選択します。



The screenshot shows a dialog box titled "Export" with the following elements:

- Header: **Export**
- Status: 1 assets selected
- Section: Export type
- Dropdown menu: Properties (with a downward arrow)
- Section: Properties to export
- Checkbox: Show collections in separate rows

4. 「プロパティ」リストで、エクスポートに含めるプロパティを選択します。
ID プロパティは常にエクスポートされるため、自動的に選択されています。選択を解除することはできません。

ヒント: ID プロパティのみをエクスポートして、インポートの手始めになるスプレッドシートを作成できます。[アセットのインポート](#)を参照してください。

5. エクスポート・ファイルの形式 (XLS または CSV) を選択します。
6. (オプション) 内容を項目別の行にした状態でコレクション・プロパティをエクスポートする場合は、そのプロパティを選択して、「コレクションを個別の行に表示」をクリックします。選択できるプロパティは 1 つのみです。詳細は、[コレクション・プロパティのエクスポート・オプション](#)を参照してください。

注意: コレクション・プロパティがカッコに囲まれて表示されます。

7. (オプション) 「プレビュー」をクリックして、スプレッドシートの最初の 5 行を示すエクスポートされたデータのサンプルを表示できます。プレビューが予期したものと違う場合は、「プロパティ」の選択肢を変更し、再度「プレビュー」をクリックします。
8. 「エクスポート」をクリックします。
「エクスポート」ボタンをいったんクリックすると、操作を取り消すことはできず、エクスポートが完了するまで他の Merchandising タスクを実行できません。
9. エクスポートが完了すると、ブラウザにダイアログ・ボックスが表示されるので、そのダイアログでエクスポート・ファイルをオープンするか、保存するかを選択します。
このダイアログ・ボックスで「取消」をクリックすると、エクスポート・ファイルは保存されないため、再びエクスポート手順を繰り返す必要があります。

価格のエクスポート

価格をスプレッドシートにエクスポートするには、次の手順に従ってください。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、価格をエクスポートする「製品」または「SKU」を選択します。アセットは、ナビゲーション・ペインから選択することも、現在のプロジェクトで選択することもできます。

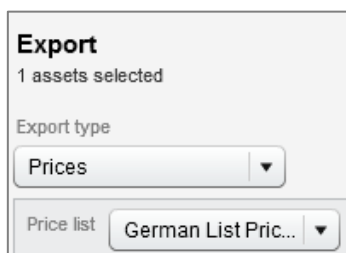
プロジェクトで変更したアセットを選択すると、Merchandising はメイン・バージョンからの値ではなく、プロジェクトのバージョンから価格をエクスポートします。詳細は、[アセットのバージョン設定](#)を参照してください。

2. 「処理」メニューで「エクスポート」をクリックします。

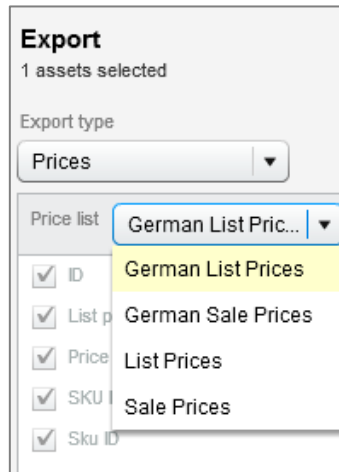
Merchandising が一度にエクスポートできるのは、1 つのアセット・タイプのみです。エクスポートで 2 つ以上のアセット・タイプを選択すると(たとえば、「製品」および「SKU」)、このエクスポートのアセット・タイプを決めるためのウィンドウが表示されます。詳細は、[様々なタイプのアセットのエクスポート](#)を参照してください。

3. 「エクスポート」タイプ・リストで「価格」を選択します。

「エクスポート」タイプ・リストに「価格」が表示されない場合、カタログで使用される場合であっても、管理者が Merchandising の価格表を非表示に構成している可能性があります。



4. 価格をエクスポートする価格表を選択します。
価格は、一度に1つの価格表からのみエクスポートできます。



5. 「プロパティ」リストは、Merchandising がエクスポートする価格のプロパティを表示します。このリストでプロパティの選択を解除することはできません。
6. エクスポート・ファイルの形式 (XLS または CSV) を選択します。
7. (オプション) エクスポートされたデータをプレビューする場合は、「プレビュー」をクリックします。エクスポートされたデータのサンプルが表示され、スプレッドシートの最初の 5 行が表示されます。
8. 「エクスポート」をクリックします。
「エクスポート」ボタンをいったんクリックすると、操作を取り消すことはできず、エクスポートが完了するまで他の Merchandising タスクを実行できません。
9. エクスポートが完了すると、ブラウザにダイアログ・ボックスが表示されるので、そのダイアログ・ボックスでエクスポート・ファイルのオープンまたは保存を選択します。
このダイアログ・ボックスで「取消」をクリックすると、エクスポート・ファイルは保存されないため、再びエクスポート手順を繰り返す必要があります。

エクスポートされたデータの表示

アセット・データは XLS または CSV ファイルにエクスポートでき、Microsoft Excel などのスプレッドシート・プログラムを使用してそのファイルを表示および編集できます。デフォルトのファイル名は、<YYMMDDhhmmss>export.xls|csv の形式になります。たとえば、2011 年 1 月 30 日の AM11:43:27 にエクスポートされた CSV ファイルは、110130114327export.csv という名前になります。

エクスポートされたデータは特定の形式に従っており、スプレッドシートを Merchandising に再インポートするときにこの形式を使用できます。次の図で例を示します。

	A	B	C
1	/atg/commerce/catalog/ProductCatalog.product		TIMEFORMAT=MM/dd/yyyy HH:mm:ss
2	ID	displayNameDefault	endDate
3	xprod2525	Metallic silk blend tank top	01/31/2009 23:59:00
4	xprod1068	Wool waist tie top	04/02/2009 01:00:00

1 行目: リポジトリ、アセット・タイプ、書式設定オプション、プロセス・メッセージ

1 行目は、リポジトリ・パスとアセット・タイプ、書式設定オプション、および警告かエラー・メッセージ用に予約されています。

- 1 行目の 1 列目 (セル A1) には、リポジトリ・パス、およびコロンで区切られたアセット・タイプが含まれています。たとえば、次のようになります。
`/atg/commerce/catalog/ProductCatalog:product`
- 2 列から 4 列 (セル B1、C1、D1 および E1) には、データの書式設定オプションが含まれています。

`FORMAT=itemized` は、スプレッドシートにコレクション・プロパティが項目別書式で含まれていることを示し、該当する場合は、2 列目 (セル B1) に表示されます。

エクスポートされたプロパティにタイムスタンプが含まれている場合、`TIMEFORMAT` が 3 列目 (セル C1) に表示され、タイムスタンプで使用されている日付の形式が示されます。たとえば、次のようになります。`TIMEFORMAT=MM/dd/yyyy HH:mm:ss`

エクスポートされたプロパティに日付が含まれている場合、`DATEFORMAT` が 4 列目 (セル D1) に表示され、日付の値で使用されている形式が示されます。たとえば、次のようになります。

`DATEFORMAT=dd/MM/yyyy`

- エクスポート・プロセス中に生成されたメッセージは 5 列目 (セル E1) に表示されます。たとえば、「データが Excel の 65535 行制限を超過し、切り捨てられました。」のように表示されます。

2 行目: プロパティの見出し

2 行目には、エクスポートされたプロパティのプロパティ名を含んだ見出しが表示されます。ID プロパティは常に 1 列目 (セル A2) に表示され、ID プロパティの実際のリポジトリ名に関係なく常に「ID」とラベル付けされています。残りの列は、表示名のアルファベット順になっています。これは、「エクスポート」ダイアログ・ボックスで使用される順序と同じです。

注意: 「エクスポート」ダイアログとは異なり、スプレッドシートにはプロパティのリポジトリ名が含まれており、ローカライズ済の表示名は含まれていません。

3 行目以降: アセット・データ

アセット・データは 3 行目からスプレッドシートの残りまで続きます。アセットにプロパティの値がない場合、対応するセルは空になります。

アセットのインポート

インポート機能を使用すると、Merchandising の外部で Commerce アセットを処理して、スプレッドシートまたは CSV 形式で Oracle Commerce にインポートできます。インポートにより、アセットを一括して編集する便利な方法を利用できます。スプレッドシート・アプリケーションの編集機能を使用して複数のアセットを変更してから、すべての変更を Merchandising プロジェクトに一度にインポートすることが可能です。

インポート機能は、カタログ全体のインポートはサポートしていませんが、数万ではなく、数千程度の比較的少ない数のアセットを編集または追加するのに最適な機能です。

アセットをスプレッドシートから Merchandising にインポートするには、次の手順に従ってください。

1. Merchandising にインポートできるように、スプレッドシートを適切な形式で作成します。サポートされているファイル・タイプは CSV と XLS です。詳細は、[アセットのエクスポートおよびインポートするファイルの書式設定](#)を参照してください。

2. ファイルをロードして、アセットがインポート可能かどうかを検証します。詳細は、[アセットの検証とプレビュー](#)を参照してください。
3. スプレッドシートをインポートします。詳細は、[アセット・データのインポート](#)を参照してください。
4. インポートされたアセットにエラーまたは警告がないか確認してください。詳細は、[インポート最終レポートの確認](#)を参照してください。
5. プロジェクトでアセットを確認します。望ましくない変更は元に戻し、バージョンの競合が生じた場合は解決してください。第2章の[プロジェクトからのアセットの削除](#)および[他のプロジェクトとの競合の解決](#)を参照してください。

インポートのガイドラインと制限

この項では、インポートの計画に役立つ情報を示します。

バージョン設定に関する考慮事項

インポートするためにアセットをプロジェクトに追加する必要はありませんが、プロジェクトと関連して作業を行う必要があります。新しいアセットおよび変更されたアセットをインポートすると、これらはプロジェクトに追加されます。変更されたアセットのプロパティ値は、インポートした値で更新されます。変更していないアセットはプロジェクトに追加されません。

Merchandising では、アセットのバージョン設定情報はエクスポートまたはインポートされません。再インポートする予定のアセットをエクスポートする場合は、必ずアセットの最新バージョンをエクスポートして、プロパティが誤って古い値で上書きされないようにしてください。

アセットをチェックアウトして、プロジェクトでプロパティ値を編集し、その同じプロパティの更新した値をインポートする場合、以前の編集の記録はありません。アセットへの変更を元に戻すことは可能ですが、プロパティはメイン・バージョンの値に戻り、インポート前のプロジェクト・バージョンの値には戻りません。

セキュリティ

アセットへの変更をインポートするには、そのアセットおよびインポートする変更済プロパティへの書込みアクセス権が必要です。エクスポート機能では、リストおよび表示権限のみが必要なため、アセットをエクスポートすることは可能ですが、インポートすることはできません。ユーザー権限の詳細は、管理者に問い合わせるか、『[ATG Web Commerce Content Administration Programming Guide](#)』のユーザー・アクセス権とセキュリティの管理に関する項を参照してください。

複数サイト環境におけるアセットのインポート

複数サイト環境では、各カタログ・アセットには「サイト」プロパティと「親カテゴリ」プロパティが割り当てられます。Merchandising では、カタログ項目のこれら両方のプロパティはインポートしませんが、プロモーションの「サイト」プロパティはインポートします。

インポートするファイルの書式設定

インポートするファイルを書式設定する最も簡単な方法は、まず、変更するアセットを含んだファイルを Merchandising からエクスポートすることです。空のスプレッドシートで最初からインポート・ファイルを手動で作成することも可能です。XLS ファイルのみをサポートするエクスポート機能とは異なり、インポート機能は XLS 形式ファイルと CSV 形式ファイルの両方をサポートするため、CSV ファイルをサポートするエディタを使用して、インポートするスプレッドシートを作成できます。

次の図は、インポートするために書式設定されたスプレッドシートの例を示します。

	A	B	C	D	E
1	/atg/commerce/catalog/ProductCatalog:product		TIMEFORMAT=MM/dd/yyyy HH:mm:ss		
2	ID	displayNameDefault	IGNORE	&fixedRelatedProducts	startDate
3	xprod1007	Braided leather belt	Perfect for your jeans or trousers, this leather belt does it all.		11/01/2008 01:00:00
4	xprod1008	Front buckle bag	Add another element of trendy to your outfit with this embroidered handbag.	xprod1048, xprod1056	11/01/2008 01:00:00
5	NEW	Pearl earrings		xprod1011	01/31/2009 01:00:00
6	xprod1011	Pearl necklace	Made of genuine hand picked freshwater pearls, this is the perfect piece of jewelry for absolutely any outfit.		11/01/2008 01:00:00

注意: セルを空のままにすると、プロパティ値が削除されることがあります。プロパティ値を削除する場合の書式を参照してください。

スプレッドシートのインポートに必要な書式設定

スプレッドシートの 1 行目と 1 列目は、インポート・プロセスで使用するためのもので、特定の情報を含む必要があります。1 行目には、インポートするデータの情報が含まれ、1 列目 (1 行目を除く) には、インポートするアセットの ID プロパティが含まれます。

スプレッドシートの 1 行目には、次に示すように、リポジトリ、アセット・タイプおよびデータ型の特定の形式を指定する必要があります。

- 1 行目の 1 列目 (セル A1) には、リポジトリ定義で定義されているように、リポジトリ・コンポーネントへの基底パス、およびスプレッドシートのアセットのアセット・タイプを含める必要があります。たとえば、次のようになります。

/atg/commerce/catalog/ProductCatalog:product

- 項目別コレクションや特定の日付形式など、特別なプロパティの書式設定を指定するには、1 行目 (セル B1 から D1) の追加列を使用します。各書式にはセルを別々に割り当てる必要がありますが、特定の順序で表示する必要はありません。書式設定オプションは次のとおりです。

説明	スプレッドシート内の書式	要件
項目別コレクション・プロパティ (コレクション・プロパティのエクスポート・オプションを参照)	FORMAT=itemized	マップ、リストまたはセット・プロパティを項目別書式でインポートする場合に必要です。 注意: 項目別インポート・ファイルに FORMAT=itemized が含まれていない場合、コレクション・プロパティの値はインポート・タスクにより、次の値があるたびに上書きされます。コレクションの項目別リストの最後の項目は、そのコレクションに対して保存される唯一の項目になります。

説明	スプレッドシート内の書式	要件
日付プロパティの値の書式 (01/31/2009 など)	<p>DATEFORMAT=MM/dd/yyyy</p> <p>日、月および年のインジケータは、たとえば、dd/MM/yyyy のように、データに一致する順序で表示されます。</p>	<p>インポートされたプロパティのタイプが日付の場合、必要です。</p> <p>日付の値は、たとえば、3/15/09 ではなく、03/15/2009 の書式に正確に一致する必要があります。</p>
タイムスタンプ・プロパティの値の書式 (31/01/2009 22:45:01 など)	<p>TIMEFORMAT= MM/dd/yyyy HH:mm:ss</p> <p>日、月および年のインジケータは、たとえば、dd/MM/yyyy HH:mm:ss のように、データに一致する順序で表示されます。</p> <p>12時間制を使用する場合、書式は MM/dd/yyyy hh:mm:ss aa になります。ここで、aa は 03/15/2009 05:30:00 AM など、AM または PM のいずれかにできます。</p>	<p>インポートされたプロパティのタイプがタイムスタンプの場合に必要です。</p> <p>タイムスタンプの値は、たとえば、3/15/09 5:30 ではなく、03/15/2009 05:30:00 の書式に正確に一致する必要があります。</p>

スプレッドシートの 2 行目からの 1 列目は、インポートされたアセットの ID プロパティ用になっています。他のプロパティ値は 1 列目を使用できません。2 行目 (セル A2) には ID 見出しが含まれ、リポジトリ項目の ID プロパティの実際の名前に関係なく、ここは常に ID になります。残りの行 (セル A3 以降) には、インポートされた各アセットの ID 値が含まれます。空の ID の行はインポート中スキップされます。

新しいアセットを追加する場合の書式

インポート機能を使用すると、スプレッドシートをインポートするときに新しいアセットを作成できます。アセットを作成するには、行をスプレッドシートに追加して、各列にプロパティ値を入力します。セルを空にする場合、そのプロパティの値は null に設定されます。ID 列を空にすると、そのアセットはスキップされ、作成されません。

新しいアセットの ID 値は、次のいずれかの方法で割り当てます。

- ID 列に NEW と入力して、システムによって ID が作成されるようにします。
自動生成された ID を使用して新しいアセットが作成されます。NEW キーワードは大文字で入力し、セル内の唯一の値にする必要があります。
- ID 列に一意的 ID を入力します。
新しいアセットが、入力した ID で作成されます。

注意: アセットを作成するには、必須プロパティの値を入力する必要があります。

インポートする新しいアセットを作成する場合、その新しいアセットを利用するスプレッドシートの他のアセットよりも前に追加してください。インポート・タスクでは、スプレッドシートの上から下の順に処理を行い、他のアセットから参照される前にアセットを作成する必要があります。たとえば、新しい製品を作成して、スプレッドシートの他のプロパティの「関連製品」プロパティに追加する場合は、その新しい製品を参照する製品を含んだ行の前に、その製品を追加します。

プロパティ値を削除する場合の書式

アセットを Merchandising にインポートするときに、アセットのプロパティ値を削除できます。プロパティ値を削除するには、対応するセルを空のままにします。

ヒント: スプレッドシートのセルを削除するけれども、インポート中にプロパティ値が削除されないようにする場合、そのセルを無視するものとしてマークできます。[無視するデータのマーク付け](#)を参照してください。

この削除書式は、項目をコレクション・プロパティに追加する場合は適用されません。項目をコレクションに先頭追加または末尾追加するために列を書式設定する場合、空のセルはインポート中に自動的に無視されます(コレクションへの追加またはコレクションからの削除は行われません)。[項目をコレクションに追加する場合の書式](#)を参照してください。

無視するデータのマーク付け

スプレッドシートをインポートする際、式または注記の列、編集しないプロパティを含んだ列、あるいはデータが削除される可能性のある空のセルなど、インポートに含めないデータがファイルに含まれていることがあります。これらの項目をインポートから削除する場合は、列(プロパティ)、行(個別のアセット)またはセル(個別のプロパティ値)がインポート・プロセスで無視されるようにマーク付けできます。

次に示すように、キーワード **IGNORE** を使用して、インポート中に無視するデータをマークします。

無視する対象	方法
単一のプロパティまたは余分な列など、データの列を無視	IGNORE という単語を列見出し(2行目)に入力します。
アセット(単一行)を無視	IGNORE という単語を、アセットの ID セル(1列目)に入力します。
アセットのプロパティ(単一セル)を無視	そのセルに IGNORE と入力します。

データが無視されるようにするには、**IGNORE** という 1 語を大文字でそのセルに含める必要があります。

項目をコレクションに追加する場合の書式

次に示すように、コレクション・プロパティの列見出しのプロパティ名の前または後ろにアンパサンド(&)を入力することで、項目をコレクションに追加できます。

- **&fixedChildProducts** のように、アンパサンドを列見出し名の最初に入力して、項目をコレクションの先頭に追加します。
- **fixedChildProducts&** のように、アンパサンドを列見出し名の最後に入力して、項目をコレクションの末尾に追加します。

先頭追加書式および末尾追加書式を使用すると、すべての項目ではなく、追加項目をコレクションに含めるのみで済むため、コレクションの編集プロセスが簡素化されます。この書式を使用しない場合、インポート・プロセスにより、コレクション・プロパティはスプレッドシートにリストされているとおりの項目で上書きされます。

この書式を使用する場合、コレクションに何も追加されないようにすることを示すために、セルを空のままにします。項目をコレクションに先頭追加または末尾追加するために列を書式設定する場合、その列の空のセルはインポート中に無視されます(コレクションへの追加またはコレクションからの削除は行われません)。

次の図は、製品をカテゴリに追加するために使用される先頭追加書式の例を示します。

	A	B
1	/atg/commerce/catalog/ProductCatalog:category	
2	ID	&fixedChildProducts
3	cat10032	xprod2072,xprod2075
4	cat10018	xprod2072,xprod2075

先頭追加書式と末尾追加書式を使用して、項目別書式のコレクションへの追加も行うことができます。次の表は、前の例を項目別書式にした状態で示します。

	A	B
1	/atg/commerce/catalog/ProductCatalog:category	FORMAT=itemized
2	ID	&fixedChildProducts
3	cat10032	xprod2072
4	cat10032	xprod2075
5	cat10018	xprod2072
6	cat10018	xprod2075

コレクション・プロパティ名の一部としてアンパサンド文字をすでに使用している場合は、別の文字を使用して、項目をコレクションに末尾追加および先頭追加できます。

CSV ファイル固有の書式

インポート機能では、XLS (Microsoft Excel) ファイルのほか、CSV (カンマ区切り値) 形式のファイルもサポートしています。CSV ファイルは、スプレッドシートのセルを区切るためにカンマを使用するテキストベースのファイルです。ファイルの新しい各行は、スプレッドシートの新しい行を表します。コレクション・プロパティのように、セルに保存された値にカンマが含まれる場合は、値全体が二重引用符で囲まれて、カンマによって新しいセルが開始されないことを示します。

Microsoft Excel を使用して CSV ファイルを作成する場合、ファイルを CSV 形式で保存するときに引用符が自動的に追加されます。ファイルを Excel でオープンしても、引用符は表示されません。Microsoft のワードパッドなどのテキスト・エディタでファイルを編集するときのみ、引用符が表示されます。

次に、テキストで表示される CSV ファイルの例を示します。

```
/atg/commerce/catalog/ProductCatalog:product, , ,
ID,displayNameDefault,parentCategoriesForCatalog,childSKUs
xprod1009,Terry Gloves,masterCatalog=cat70014,"xsku1032, xsku1033, xsku1034"
xprod1012,Cable knit hat,masterCatalog=cat70014,xsku1040
xprod1010,Shoulder Bag,masterCatalog=cat70014,xsku1038
```

次の図は、同じ CSV ファイルが Microsoft Excel で表示された状態を示します。

	A	B	C	D
1	/atg/commerce/catalog/ProductCatalog:product			
2	ID	displayNameDefault	parentCategoriesForCatalog	childSKUs
3	xprod1009	Terry Gloves	masterCatalog=cat70014	xsku1032, xsku1033, xsku1034
4	xprod1012	Cable knit hat	masterCatalog=cat70014	xsku1040
5	xprod1010	Shoulder Bag	masterCatalog=cat70014	xsku1038

インポート時のエラーを防ぐため、3 行目以降のカンマの数が、2 行目のカンマの数と一致していることを確認してください。

アセットの検証とプレビュー

ファイルをインポートすると、ファイルは Merchandising によって検証されます。まず、ファイルが正しく書式設定されていて、インポート可能なデータを含んでいるかどうかを確認され、次に、スプレッドシートの最初の 200 個のアセットが検証されます。「すべて検証」オプションを使用して、ファイル内のすべてのアセットを検証することも可能です。実際にインポートする前にエラーまたは警告が送信された場合は、タスクを停止し、スプレッドシートを編集してエラーを除去し、再びファイルをアップロードできます。

ファイルをインポートするための手順は、[アセット・データのインポート](#)を参照してください。

検証フェーズに合格してスプレッドシートがインポートされると、結果ダイアログ・ボックスにインポートの結果が表示されます。[インポート最終レポートの確認](#)を参照してください。

ファイルの検証

インポートするファイルを選択すると、ファイル形式およびスプレッドシートの最初の 2 行の書式が検証されます。ファイルにエラーがある場合は、「インポート」ダイアログにメッセージが表示されます。

このフェーズで生じる可能性のあるエラーは次のとおりです。

- ファイルが XLS または CSV 形式ではない。
- 1 行目、1 列目のリポジトリまたはアセット・タイプが有効ではない。
- 1 行目に `FORMAT=itemized` が含まれているが、ファイルに項目別コレクション・プロパティが含まれていない。
注意: ファイルが項目別書式になっているけれども、1 行目に `FORMAT=itemized` が含まれていない場合、ファイルは有効ですが、項目別コレクションとしてインポートされません。かわりに、現在の値はインポート・タスクにより、コレクションの新しい項目があるたびに上書きされ、保存される唯一の値は最後の項目のみになります。
- ファイルに ID 列がないか、1 列目に ID がない。
- ファイルの 2 行目に、このアセット・タイプには存在しないプロパティが含まれているか、綴りに誤りのあるプロパティ名が含まれている。
- ファイルに、書込み権限のないプロパティが含まれている。
- ファイルに、許可されていないプロパティが含まれている。許可されていないプロパティとは、導出プロパティ、一時プロパティ、読取り可能ではないプロパティ、書込み可能ではないプロパティおよび UI 書込み可能ではないプロパティです。詳細は、『[ATG Web Commerce Repository Guide](#)』を参照してください。
注意: Merchandising では、これらのタイプのプロパティはエクスポートされないため、スプレッドシートにこれらのタイプのプロパティが含まれている場合は、手動で追加されています。
- ファイルにタイムスタンプまたは日付プロパティが含まれているが、1 行目に対応する `TIMESTAMP` または `DATE` 書式がない。

アセットの検証

ファイルがアップロードされてファイルの検証に合格すると、最初の 200 個のアセットが検証され、結果が「インポート」ウィンドウに表示されます。

検証プロセスでは、インポートされたアセットのうち変更されたアセットの数、新しいアセットの数、および変更されていないアセットの数が判別されます。プレビュー・テーブルに、検証された各アセットのステータス、その ID とインポート済プロパティがリストされ、エラーまたは警告のある値にマークが付けられます。変更されていない項目の「ステータス」列は空になっています。

エラーまたは警告メッセージを表示するには、エラーまたは警告が含まれる項目にポインタを重ねます。

アセットの検証中に生じる可能性のあるエラーまたは警告は次のとおりです。

- スプレッドシートの値をプロパティの適切なタイプに変換できない。たとえば、日付に月を表す 2 桁が含まれていないか、数値プロパティに文字または記号が表示されるなど。
- 必須プロパティの値がない。
- プロパティ値のリポジトリ ID が見つからない。

インポート中の同じタイプのアセットに対する ID が不明な場合、アセットがスプレッドシートの他の場所に作成されている可能性があるため、メッセージは警告になります。異なるアセット・タイプの場合、メッセージはエラーになります。

注意: ID 列に、存在しないリポジトリ ID が含まれている場合、新しいアセットはその ID で作成されます。[新しいアセットを追加する場合の書式](#)を参照してください。

ファイルに 200 個を上回る数のアセットが含まれ、インポート・プロセスを開始する前にこれらすべてを検証する場合は、「すべて検証」をクリックします。それ以外の場合は、Merchandising により、データのインポート時に残りのアセットがすべて検証され、エラーまたは警告がインポートの結果に表示されます。[インポート最終レポートの確認](#)を参照してください。

アセット・データのインポート

アセット・データを Merchandising プロジェクトにインポートするには

1. アセットをインポートする Merchandising プロジェクトを作成またはオープンします。[プロジェクトの基本](#)を参照してください。
2. 「インポート」ボタンをクリックします。
3. 「インポート」ダイアログで、「参照」をクリックし、インポートする XLS または CSV ファイルを見つけます。
4. 「アップロード」をクリックします。

Merchandising により、ファイルが適切に書式設定されているかどうかを検証されます。

- ファイルが適切に書式設定されている場合、最初の 200 個のアセットが検証され、表示されます。
 - ファイルが適切に書式設定されていない場合、エラー・メッセージが表示されます。エラー・メッセージを確認して問題の原因を判別し、スプレッドシートを編集し、手順 2 に戻ります。[ファイルの検証](#)を参照してください。
5. ファイルの検証に合格し、最初の 200 個のアセットが「インポート」ダイアログに表示されたら、アセット・プレビューを確認し、エラーまたは警告がないか注意してください。
 - エラーまたは警告メッセージのテキストを表示するには、エラーまたは警告があるとマークされている値にポインタを重ねます。
 - データの問題に気付いたら、「取消」をクリックし、スプレッドシートを編集して問題を解決し、手順 2 に戻ります。

注意: 長いプロパティ値は、プレビュー・テーブルに完全に表示されませんが、切り捨てられているのは表示のみで、値自体ではありません。スプレッドシートの値全体がインポートされます。

6. (オプション) インポートされたスプレッドシートに 200 個を上回る数のアセットが含まれていて、インポート前にスプレッドシート全体を検証する場合は、「すべて検証」をクリックします。

注意: スプレッドシートのサイズによっては、このプロセスの完了に数分を要することがあります。

「インポート」ダイアログには、各アセットのインポートされるプロパティのプレビュー、およびエラーまたは警告が表示されます。変更されたアセット、新しいアセットおよび変更されないアセットの総数が、プレビュー・テーブルの上部に表示されます。

7. プレビュー・データに問題がなければ、「インポート」をクリックします。

インポートの結果の詳細は、次の項 [インポート最終レポートの確認](#) に進んでください。

新しいアセットと変更済アセットが現在のプロジェクトに追加されます。「変更のレビュー」オプションを使用すると、アセットの更新済プロパティ値とメイン・バージョンの値を比較できます。[変更の確認](#)を参照してください。

インポート最終レポートの確認

スプレッドシートのインポート後、「インポート(最終レポート)」ダイアログに各アセットの結果が表示されます。このダイアログでは、インポートの結果に基づいてアセットがタブに分かれています。アセットの各タブ・リストには、各アセットの ID と名前が表示され、次のような結果が示されます。

- 変更済: スプレッドシートの値で適切に更新されたアセットが表示されます。
- 失敗: エラーにより、インポート中に更新されなかったアセットが表示されます。
- 新規: インポート中に作成されたアセットが表示されます。
- 失敗した新規: 必須プロパティがないなど、エラーによって作成できなかった新しいアセットが表示されます。スプレッドシートで新しい ID を入力しなかった場合、ID は空になります。
- 変更なし: スプレッドシートでアセットへの変更がなかったために更新されなかったアセットが表示されます。これらのアセットはプロジェクトに追加されません。

インポートされたアセットのプロパティの変更を表示するには

1. 「インポート(最終レポート)」ダイアログをクローズして、「プロジェクト」タブにナビゲートします。
2. インポート済アセットにナビゲートして、詳細ペインでそのプロパティを表示します。
3. 「変更のレビュー」をクリックします。
4. 保持しない変更を元に戻します。[変更の確認](#)を参照してください。

正常にインポートされなかったアセットに対し、インポート・プロセスを再試行するには

1. 正常にインポートできなかった原因であるエラーを書き留め、「インポート(最終レポート)」ダイアログをクローズします。
2. スプレッドシートを編集してエラーを修正します。
注意: すでに正常にインポートされている、NEW とマークされたアセットをすべてスプレッドシートから削除します。削除しない場合、次回スプレッドシートをインポートするときに、重複したアセットが作成されます。その場合、プロジェクトから重複したアセットを削除します。[プロジェクトからのアセットの削除](#)を参照してください。
3. スプレッドシートを再度インポートします。[アセット・データのインポート](#)を参照してください。

19 プロモーションおよびクーポンの作成と管理

プロモーションおよびクーポンを使用すると、特定の製品または製品グループへの割引を提供できます。たとえば、母の日の製品系列のプロモーションを決定した場合は、サイトの「ようこそ」ページで、母の日の製品をイメージで強調して、特定の日付までに注文した顧客には 10 パーセントの割引を提供するように設定できます。あるいは、新規顧客の再訪を促すために、クーポンを E メール送信することもできます。

プロモーションでは、割引を受けるために満たす必要のある条件、および割引の適用方法を定義するオプションを指定します。たとえば、コート類のカテゴリで 1 品目購入する必要がある、\$50 を上回る額を購入する必要がある、または 7 月中に購入する必要があるといった条件を指定できます。クーポンは、ユーザーがクーポン・コードを入力したときに、プロモーションを使用可能にします（プロモーション条件が満たされている場合）。クーポンの作成では、クーポン・コードをプロモーションに関連付けます。プロモーションとクーポンの両方をフォルダで編成でき、他の Merchandising アセットによって使用されるのと同じ検索およびフィルタリング・コントロールで検索できます。[Merchandising UI の概要](#)および[アセットの作成と管理](#)を参照してください。

この章では、Merchandising でプロモーションを作成、編集および操作する方法について説明します。次の項から構成されています。

[プロモーションの仕組み](#)

[プロモーション・フォルダの作成](#)

[プロモーションの作成](#)

[購入時ギフト・プロモーションの作成](#)

[拡張条件およびオファーの文の作成](#)

[プロモーションでのクーポンの使用](#)

[プロモーションのソート](#)

[スタック・ルールによるプロモーションの管理](#)

プロモーションの仕組み

プロモーションは 3 つの一般タイプに分かれます。

- 「品目割引」プロモーション-顧客は 1 つ以上の品目で割引を受けられます。
- 「オーダー割引」プロモーション-顧客はオーダー全体に対する割引を受けられます。
- 「出荷割引」プロモーション-顧客は送料の割引を受けられます。

Merchandising でプロモーションを設定した後、プロモーションをユーザーに提供する方法を決定します。

- ユーザー・プロフィールにプロモーションを付与するクーポンまたはクーポン・バッチを作成します。標準的なクーポンには、そのクーポンを要求するために使用できる単一のコードが関連付けられており、多くの場合、そのコードは顧客に広く配布されます（一般的な例としては、休日中はユーザーに送料無料を付与するなど）。クーポンの使用を制限する場合は、クーポン・バッチを使用します。クーポン・バッチによって、個別のクーポンに対してランダムな認証コードが生成され、これにより、クーポンを他の顧客に渡すことができないようになります。（詳細は、このガイドの[プロモーションでのクーポンの使用](#)を参照してください。）
- プロモーションを受けられる訪問者を決めるシナリオを作成します。シナリオにより、プロモーションを受けられる訪問者が判別され、プロモーションが訪問者の `activePromotions` プロファイル属性に追加されて、訪問者プロフィールにその旨がマークされます（詳細は、『[ATG Web Commerce パーソナライゼーション・ガイド](#)』の「[シナリオの作成](#)」を参照してください。）

すべての顧客に自動的に適用されるプロモーションを設定することもできます。このようなプロモーションでは、シナリオおよびクーポンを設定する必要はありません。

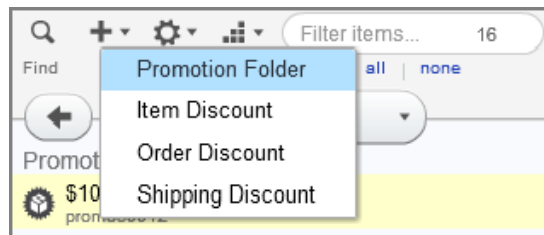
顧客が品目をカートに入れるか、システムの価格の要求を伴う他の操作を実行すると、その顧客の訪問者プロフィールが、設定されているプロモーションを現在受けられるかどうかを `Core Commerce` によってチェックされます。顧客が適格である場合は、`Core Commerce` はプロモーション割引を使用してその顧客の製品の価格を計算し、割引に応じて価格を調整します。

プロモーションに関する情報を複数の方法で、サイト訪問者に知らせることができます。たとえば、特別な方法で広告することなく、製品の割引を設定できます。訪問者がチェックアウト・ページを表示したときに調整済の価格が示されます。あるいは、「ようこそ」などで、オファーに関する説明を掲載し、テキストをその製品の通常のカatalog・ページへのリンクにすることもできます。また、`GetApplicablePromotions` ドロップレットを使用して特定の品目に適用されるプロモーションを特定し、その情報を製品ページに掲載することも可能です。プロモーションに関する E メールを、メッセージに割引クーポン・コードを記載して送ることもできます。

プロモーション・フォルダの作成

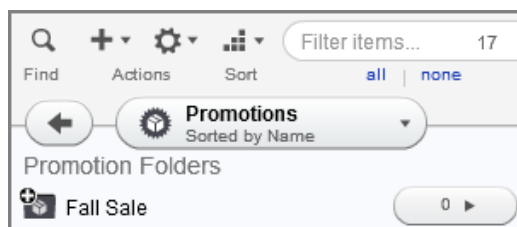
プロモーション・フォルダは、プロモーションの編成に使用されます。新しいプロモーション・フォルダを作成するには

1. ナビゲーション・ペインで、「プロモーション」にナビゲートします。
2. 「新規作成」ボタンをクリックして、「プロモーション・フォルダ」を選択します。



詳細ペインに、プロモーション・フォルダの定義に使用できる空のフィールドが表示されます。

3. 「名前」テキスト・ボックスにプロモーション・フォルダの名前を入力します(必須)。
4. 「選択」ボタンを使用して親を追加、置換または削除することで、階層内のフォルダの場所を指定します。
「選択」の横にアセット名が表示されている場合は、親はあらかじめ選択されています。親のないプロモーション・フォルダは、プロモーション階層のトップレベルに位置しています。
5. 「作成」をクリックします。
ナビゲーション・ペインにプロモーション・フォルダが表示されます。



詳細ペインには「一般」タブがあり、新しいプロモーション・フォルダのプロパティが表示されます。

プロモーションの作成

Merchandising テンプレートを使用すると、送料無料や BOGO オファーなど多くの一般的なプロモーション・タイプを素早く容易に作成できます。他の多くのアセットと同様に、プロモーションでは一連のタブを使用してプロパティを編成します。次に続く項では、プロモーションを作成および編集するときに使用できる各タブと設定について説明します。

新しいプロモーションを作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、Merchandising にナビゲートします。
2. 「プロモーションおよびクーポン」を選択します。
3. 「プロモーション」を選択します。
4. 「新規項目」ギアから、作成しているプロモーションのタイプに応じて次のいずれかを選択します。
 - 品目割引
 - オーダー割引
 - 出荷割引

5. 次に続く項で説明するように、タブを構成します。
6. 構成が終わったら、「作成」をクリックします。

プロモーションはクーポン内でも作成できます。[独立型クーポンの作成](#)を参照してください。

「一般」タブ

「一般」タブから、次のプロモーション設定にアクセスできます。

\$28 off Orders over \$200

Order Discount ID promo100024
Modified 12/5/2013 7:33 AM

General

Availability & Coupons

Sites

Media

Advanced

*** Promotion name**
\$28 off Orders over \$200

Template
Spend Y Get Order Discount

*** Condition and offer**

Condition

Spend: 200.00 Example: 100

Any related promotion upsells can be accessed via the "Promotion upsells" editor.

Offer

Discount Type: Amount Off

Discount: 28.00 Example: 5

*** Priority**
1

Description
Get discount of 28 on 200

次の表では、タブのプロパティについて説明します。

プロパティ	説明
プロモーション名 (必須)	プロモーションを識別できる簡単なわかりやすい名前です。
テンプレート	テンプレートによって、プロモーションの開始ポイントが提供され、適用される条件およびオファーのオプションが決まります。各テンプレートの詳細は、この章の 条件およびオファーのテンプレート を参照してください。

プロパティ	説明
条件およびオファー	条件およびオファーによってプロモーションの仕組みが決まります。つまり、適格かどうかはどのような動作で決定するか、どのようなタイプの割引が発生するか、および例外です。詳細は、この章の 条件およびオファーのテンプレート を参照してください。
優先度	プロモーションの優先度です。プロモーションは優先度の順序で適用され、優先度の数値が小さいものから適用されます。プロモーションはこのプロパティの値でソートされます。 プロモーションの優先度はプロモーション・タイプの次に考慮されます。たとえば、他の品目割引プロモーションと比べて特定の品目割引プロモーションがどのように適用されるかは指定できますが、出荷割引と比べて品目割引が適用される順序は指定できません。
摘要	プロモーションの説明です。
プロモーション・アップセル使用可能	プロモーションでプロモーション・アップセルを使用するかどうかを示します。デフォルトは True です。 プロモーション・アップセルでは、ユーザーがあと少しでプロモーション対象として適格になる場合に顧客にそのことを通知できます。たとえば、あと5ドル分購入すれば送料無料になることを顧客に伝えるページを設定できます。
プロモーション・アップセル	プロモーション・アップセルが使用可能な場合、このプロモーションで使用可能なアップセルをリストします。既存のプロモーションを編集する場合、アップセル・メッセージをクリックすると、そのプロモーション・アップセルを編集できます。(プロモーション・アップセルのプロパティについては、次の表を参照してください。)
親フォルダ	これはプロモーションを作成したフォルダにデフォルト設定されます。プロモーションの保存先として別の既存フォルダを選択することも、新しいフォルダを作成することもできます。
使用可能	このプロモーションを適格オーダーとともに使用できるかどうかを示します。デフォルトは True ですが、「可用性」タブで設定した日付にもよります。「使用可能」が False の場合、「可用性」タブの日付に関係なく、プロモーションを使用することはできません。

次の表では、プロモーション・アップセル・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
メッセージ(必須)	アップセルがトリガーされたときに顧客に表示されるメッセージです。たとえば、「あと少し」と表示されます。

プロパティ	説明
条件(必須)	アップセルによって顧客にプロンプト表示される条件です。たとえば、Tシャツについて「3枚買うともう1枚無料」というプロモーションがある場合、次の条件でプロモーション・アップセルをトリガーする場合があります。 「オーダーに Tシャツ・カテゴリの製品が 2 個含まれている場合」
メディア	プロモーション・アップセルに関連付けられているメディアです。
製品アップセル(オプション)	近似性クオリファイア・メッセージの一部として使用できる製品のリストです。たとえば、旅行かばん類をプロモーションする場合、製品アップセル・リストにこれらの製品を追加して、顧客がもう少しでプロモーションを受けられそうになったときに製品ページ、Eメールまたは他の通信で使用できます。 注意: 条件およびオファーのテンプレート(「品目 X の購入で品目 Y を取得」など)内でプロモーション・アップセルを作成する場合は、このフィールドは表示されません。これには「一般」タブでアクセスできません。

条件およびオファーのテンプレート

条件およびオファーのプロパティ・エディタは、「一般」タブに表示されます。プロモーションのタイプにより、使用可能なテンプレートは異なります。たとえば、出荷プロモーションの一部として BOGO の条件およびオファーのテンプレートを使用することはできません。

これらは同じテンプレート・リストに表示されますが、購入時ギフト・プロモーションには他のテンプレートと共有されない独自の機能がいくつかあるため、別途説明します。このプロモーション・タイプの詳細は、[購入時ギフト・プロモーションの作成](#)を参照してください。

「拡張条件およびオファー」を使用すると、テンプレートでカバーされていない独自のプロモーションを柔軟に作成できます。テンプレートを基にした条件およびオファーを拡張条件およびオファーに変換できます。ただし、拡張条件およびオファーをテンプレートに変換することはできません。[拡張条件およびオファーの文の作成](#)を参照してください。

購入時ギフト・プロモーションを除き、価格が \$0.00 の品目はプロモーションのターゲットにできません。

条件文には、割引不可の製品および SKU を含めることができます。ただし、割引不可の製品または SKU をオファーの文に含めると、警告が表示されます。購入時ギフト・プロモーションのギフトとして、割引不可の製品を提供できます。

割引不可の製品および SKU には、プロモーションによる割引が適用されません。割引不可の製品は、品目およびオーダー・プロモーション・タイプにのみ影響します。出荷割引は割引不可の製品の影響を受けません。割引不可の製品および SKU の作成方法の詳細は、[製品の作成と管理](#)および [SKU の作成と管理](#)を参照してください。

BOGO (1 つの値段でもう 1 つ取得)

よく使用されているこのプロモーション・タイプでは、顧客が品目を 1 つ購入したときに、類似品目 1 つが割引となります。顧客が特定のカテゴリの品目(靴など)を 1 つ以上購入すると、そのカテゴリの 2 つ目の品目が割引かれるというのが、よくある条件です。

Buy jeans, get a free tee

Item Discount
Modified 12/

General
Availability & Coupons
Sites
Media
Advanced

*** Promotion name**
Buy jeans, get a free tee

Template
BOGO

*** Condition and offer**

Condition

No. of items to Buy: 1

Item(s) to Buy: ➡ Drag SKUs, Products, Categories or SKU Sites here.

Product is one of

Boyfriend Jeans, Distressed Jeans, Straight Leg Jeans, Weekend J

Offer

No. of Items to Discount: 1 Unlimited

Apply Discount To: Lowest Priced Item First

最初に、条件パラメータを設定します。次の表では、条件プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入品目数	割引を受けるために購入する必要のある数量です。この数量は 1 以上である必要があります。
購入品目	プロモーションを適用する購入を限定する場合は、プロモーションを受けられるカテゴリ、製品などを指定します。その他の条件を必要に応じて追加し、AND (購入がすべての基準を満たす必要がある) または OR (購入が 1 つ以上の基準を満たす必要がある) 形式で組み合わせることが可能です。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引品目数	従来の「1つの値段でもう1つ取得」のプロモーションの場合は1と入力します。購入する品目ごとに、1つの品目が割り引かれます。ただし、割引は何品目でも行うことができます。または「制限なし」を選択して、プロモーション条件が満たされたらすべての品目にプロモーションが適用されるようにします。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらに最初にプロモーションを適用するかを指定します。
割引品目	選択ボックスを使用して、割引を受けられる品目を特定します。
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。または「割引タイプ」が「固定品目価格」の場合は品目の価格を入力します。「割引タイプ」が「無料」の場合は、このフィールドを使用不可にします。

品目 X の購入で品目 Y を取得

このプロモーションでは、顧客が指定品目を購入したときに、指定した別の製品のセットが割り引かれます。最初に、条件パラメータを設定します。次の表では、条件プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入品目数	割引を受けるために購入する必要がある数量です。この数量は1以上である必要があります。
購入品目	プロモーションを適用する購入を限定する場合は、プロモーションを受けられるカテゴリ、製品などを指定します。その他の条件を必要に応じて追加し、AND(購入がすべての基準を満たす必要がある)またはOR(購入が1つ以上の基準を満たす必要がある)形式で組み合わせることが可能です。

品目を条件から除外する(つまり、それらの品目では顧客がプロモーションを受けられないようにする)には、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引品目数	割引は何品目でも行うことができます。または「制限なし」を選択して、プロモーション条件が満たされたらすべての品目にプロモーションが適用されるようにします。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらに最初にプロモーションを適用するかを指定します。


プロパティ	説明
割引品目	選択ボックスを使用して、割引を受けられる品目を特定します。
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。または「割引タイプ」が「固定品目価格」の場合は品目の価格を入力します。

オファーから品目を除外する(つまり、顧客が割引を受けられないようにする)には、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。

指定時間枠内に購入すると品目割引を取得

このプロモーションでは、顧客が指定期間内にオーダーを確定すると、特定の品目が割引かれます。

最初に、条件の開始日と終了日を指定します。このプロモーションの場合、これらのフィールドは使用開始日と使用終了日に相当します。1つの日付セットを変更すると、他のセットも自動的に更新されます。


New Item Discount

Item Discount ID promo1100

General
Availability & Coupons
Sites
Media
Advanced

Promotion name
10% Off Home Accessories Today Only!

Template
Buy Within Specified Time Frame Get Item Discount

*** Condition and offer** Clear Convert to Advanced

Condition

Buy Between Dates:

Start Date:

End Date:

Offer

No. of Items to Discount: Unlimited

Apply Discount To: Lowest Priced Item First Highest Priced Item First

Item(s) to Discount:

Category
includes any of
Home Accents

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引品目数	割引は何品目でも行うことができます。または「制限なし」を選択して、プロモーション条件が満たされたらすべての品目にプロモーションが適用されるようにします。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらかに最初にプロモーションを適用するかを指定します。
割引品目	選択ボックスを使用して、割引を受けられる品目を特定します。
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。または「割引タイプ」が「固定品目価格」の場合は品目の価格を入力します。

オファーから品目を除外する(つまり、顧客が割引を受けられないようにする)には、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。

品目割引の取得(製品、カテゴリ、ブランド別など)

このプロモーションでは、特定の製品のセットが割引かれます。製品のセットには、単一の品目、カテゴリ、ブランドなどが含まれる場合があります。この割引の場合、品目の特定の数量のみに適用されるように指定できますが、他の条件はありません。

条件はすでにテンプレートで定義されているため、指定する必要があるのはオファーの詳細のみです。

*** Condition and offer** Clear Convert to Advanced

Offer

No. of Items to Discount: Unlimited

Apply Discount To: Lowest Priced Item First Highest Priced Item First

Item(s) to Discount:

Category includes any of

Discount Type: Amount off, Percentage off, Fixed Price, etc..

Discount: Example: 5

次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引品目数	割引を受けられる品目数を入力するか、「制限なし」を選択します。たとえば、顧客が割引対象カテゴリで6個の品目を購入する場合、そのうちの5個を割引くように設定できます。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらに最初にプロモーションを適用するかを指定します。
割引品目	選択ボックスを使用して、割引を受けられる品目を特定します。
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。または「割引タイプ」が「固定品目価格」の場合は品目の価格を入力します。

割引から品目を除外するには、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。たとえば、特定のブランドを除くカテゴリの全品目が割引かれるように設定できます。

支払 Y で品目割引を取得

このプロモーションでは、顧客が指定の金額分を購入したときに、特定の品目が割引かれます。

最初に、条件の「支払」のしきい値を指定します。

*** Condition and offer** Clear Convert to Advanced

Condition

Spend: Example: 100

150.00

オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少しでプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSP に組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。プロモーション・アップセルのセクションは、プロモーションを初めて作成する段階にならないと、条件およびオファー・テンプレートに表示されません。プロモーション・アップセルを編集するには、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」セクションを使用します。

次に、オファーを指定します。

Offer

No. of Items to Discount: Unlimited

Apply Discount To: Lowest Priced Item First

Lowest Priced Item First Highest Priced Item First

Item(s) to Discount:

Category includes any of Home Accents

Discount Type: *Amount off, Percentage off, Fixed Price, etc..*

Percentage Off

Discount: *Example: 5*

20.00

次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引品目数	割引を受けられる品目数を入力するか、「制限なし」を選択します。たとえば、顧客が割引対象カテゴリで6個の品目を購入する場合、そのうちの5個を割引くように設定できます。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらに最初にプロモーションを適用するかを指定します。
割引品目	選択ボックスを使用して、割引を受けられる品目を特定します。
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。または「割引タイプ」が「固定品目価格」の場合は品目の価格を入力します。

割引から品目を除外するには、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。たとえば、特定のブランドを除くカテゴリの全品目が割引かれるように設定できます。

XでのYの支払で品目割引を取得

このプロモーションでは、顧客が指定の製品領域で指定の金額分を購入したときに、特定の品目が割引かれます。これは、Yの支払でオーダー割引を取得プロモーションとは異なります。顧客がプロモーションに適切であるかどうかを判断するために、Yの支払プロモーションでは、オーダーで支払われる合計金額の

みが考慮されますが、X での Y の支払では、ショッピング・カート内の個別の品目が調べられます。したがって、2つのプロモーション・タイプの動作は同じではありません。

最初に、条件の「支払」のしきい値と「支払」のオプションを指定します。「支払」基準は、カテゴリ、製品または特定の SKU にできます。より多くの基準を追加することによって、条件を絞り込むことができます。

プロモーション基準が満たされると、「支払」基準によって定義された製品領域に当てはまる製品には割引が適用されません。たとえば、「アクセサリでの\$100の支払で、装飾用クッション1個を\$5割引」というプロモーションを作成するとします。装飾用クッションはアクセサリのサブカテゴリです。顧客が装飾用クッションに\$100を支払う場合、それらの装飾用クッションには\$5の割引が適用されません。これは、適用されると、顧客はプロモーションの元の資格を満たさなくなるためです。

オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少しでプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSPに組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。「プロモーション・アップセル」セクションは、プロモーションを初めて作成する段階にならないと、条件およびオファー・テンプレートに表示されません。プロモーション・アップセルを編集するには、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」セクションを使用します。

次に、オファーを指定します。

Offer

No. of Items to Discount: Unlimited

Apply Discount To: Lowest Priced Item First Highest Priced Item First

Item(s) to Discount:

 includes any of

Discount Type: Amount off, Percentage off, Fixed Price, etc..

Discount: Example: 5

Items To Exclude (Optional):

次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引品目数	割引を受けられる品目数を入力するか、「制限なし」を選択します。たとえば、顧客が割引対象カテゴリで6個の品目を購入する場合、そのうちの5個を割引くように設定できます。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらかに最初にプロモーションを適用するかを指定します。
割引品目	選択ボックスを使用して、割引を受けられる品目を特定します。
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。または「割引タイプ」が「固定品目価格」の場合は品目の価格を入力します。

割引から品目を除外するには、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。たとえば、特定のブランドを除くカテゴリの全品目が割引かれるように設定できます。

グループ割引の取得

「グループ割引の取得」テンプレートでは、プロモーションのオファーとして使用できる品目のグループを定義できます。品目のグループ全体に適用されている固定価格または割引を提供するプロモーションも作成します。グループ割引は品目に制限されており、オーダーまたは出荷割引プロモーションに適用できません。

品目のグループ内の製品またはSKUに割引不可のフラグが付けられると、グループ割引は適用されず、割引が付与されません。

常にグループ割引プロモーションが適用されるため、適格条件がなく、指定する必要があるのはオファーの詳細のみです。

New Item Discount

Item Discount ID promo1100

General
Availability & Coupons
Sites
Media
Advanced

Promotion name
20% off 4 Dining Chairs

Template
Get Group Discount

*** Condition and offer** Clear Convert to Advanced

Offer

Quantity:

Item(s) to Discount:

➔
Drag SKUs, Products, Categories, or SKU Sites here.

Category ▼

includes any of ▼

Dining Chairs

Add Criteria

Select...

Add Item

Add another item to the group discount

Apply Discount To: Lowest Priced Item First Highest Priced Item First

Discount Type:

Percentage Off ▼

Amount off, Percentage off, Fixed Price, etc..

Discount: Example: 5

上の図に表示されているように、複数の製品選択基準を使用して「グループ割引」プロモーションを設定します。これにより、「グループ割引」プロモーションに複数の品目を追加できます。

次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
数量	この特定のオファーが適用される品目数を指定します。「数量」は、各品目で1以上でなければなりません。「数量」を0に設定することはできません。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらかに最初にプロモーションを適用するかを選択できます。

プロパティ	説明
一致	すべて一致は、基準に追加するすべての品目が一致する必要があることを示します。いずれかに一致は、基準に追加されたいずれかの品目が一致することを示します。
品目の追加	このボタンを使用すると、追加の品目を追加できます。プロモーションに別の基準が追加されます。全製品選択基準は包括的です。「-AND-」で示されます。
割引タイプ	このドロップダウン・メニューでは、「割引金額」、「割引率」または「固定グループ価格」を選択できます。
割引	割引の金額または割引率を入力します。「割引タイプ」が「固定グループ価格」の場合、グループの価格を入力します。

割引から品目を除外するには、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。たとえば、特定のブランドを除くカテゴリの全品目が割引かれるように設定できます。

競合するターゲットの排除

グループ割引を作成する場合、品目適格で発生する可能性がある競合を排除する必要があります。たとえば、ユーザーが Lamp カテゴリから品目を購入するときにアクティブ化されるグループ割引プロモーションを作成します (Antique Table Lamp または Traditional Bedside Lamp)。プロモーションは次のようになります。

Buy 1 item from the Lamps Category

-and-

Buy 1 Antique Table Lamp OR Traditional Bedside Lamp

顧客が「1 Antique Table Lamp」および「1 Classic Desk Lamp」をショッピング・カートに追加すると、グループ割引は適用されません。これは、Antique Table Lamp は「Buy 1 item from the Lamps Category」を満たしているが、Classic Desk Lamp が「Buy 1 Antique Table Lamp OR Traditional Bedside Lamp」基準を満たしていないためです。どの基準にどの品目を適用すべきかは識別できません。

このような競合を排除するには、プロモーション基準を選択するときに、より詳細な情報を指定する必要があります。次のようにプロモーションを定義するのが最適です。

Buy 1 item from the Lamps Category

Excluding Antique Table Lamp, Traditional Bedside Lamp

-and-

Buy 1 Antique Table Lamp OR Traditional Bedside Lamp

このプロモーションにより、「Buy 1 item from the Lamps Category」基準から Antique Table Lamp と Traditional Bedside Lamp が除外され、第 2 の基準で使用することが可能になります。

段階的価格分岐

段階的価格分岐では、顧客が複数の品目を購入する場合に、様々なレベルの割引を適用できます。条件はすでにテンプレートで定義されているため、指定する必要があるのはオファーの詳細のみです。

まず、割引を受けられる品目を選択します。

Promotion name
Hubbard Chair Tiered Price Break

Template
Tiered Price Break

* Condition and offer Clear Convert to Advanced

Offer

Item(s) to Discount: Drag SKUs, Products, Categories or SKU Sites here.

Product is one of

Apply Discount To: Lowest Priced Item First Highest Priced Item First

Discount Type:

Discount Structure:

# to Buy	Value		
2	10	-	+
4	20	-	+

次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引品目	選択ボックスを使用して、割引を受けられる品目を特定します。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらに最初にプロモーションを適用するかを指定します。
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。

次に、段階を定義します。この項の前述の例では、2つの椅子を購入する顧客に10%割引が適用されるなど、段階を定義します。顧客が4つの椅子を購入すると、すべての4品目に対して20%割引が適用されます。

指定期間内に購入

このプロモーションでは、指定期間内にオーダーを確定すると、オーダー全体に割引が適用されます。

最初に、条件の開始日時と終了日時を指定します。これらの日付は、「可用性およびクーポン」タブで設定されるプロモーション開始日およびプロモーション終了日と同じです。「換金可能期間」設定と失効日を使用する場合、開始日と終了日を設定する必要はありません。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」または「割引率(%)」を選択します。
割引	割引金額を入力します。

X を購入するとオーダー割引を取得

このプロモーションでは、指定品目を購入すると、オーダー全体に割引が適用されます。

最初に、条件パラメータを設定します。

次の表では、条件プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入品目数	割引を受けるために購入する必要がある数量です。この数量は 1 以上である必要があります。
購入品目	プロモーションを適用する購入を限定する場合は、プロモーションを受けられるカテゴリ、製品などを指定します。その他の条件を必要に応じて追加し、AND (購入がすべての基準を満たす必要がある) または OR (購入が 1 つ以上の基準を満たす必要がある) 形式で組み合わせることが可能です。

品目を条件から除外する(つまり、それらの品目では顧客がプロモーションを受けられないようにするには、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」または「割引率(%)」を選択します。
割引	割引金額を入力します。

オーダー割引の取得

このプロモーションでは、オーダー全体に割引が適用されます。その他の条件は適用されないため、指定する必要があるのはオファーの詳細のみです。

Offer

Discount Type: Amount Off Percentage Off


Discount: Example: 5

次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」または「割引率(%)」を選択します。
割引	割引金額を入力します。

Yの支払でオーダー割引を取得

このプロモーションでは、指定の領域で指定の金額分を購入すると、オーダー全体に割引が適用されます。最初に、条件の「支払」のしきい値を指定します。



\$10 off Orders over \$100

Order Discount ID promo500
 Modified 11/25/2013 6:25 A

General
Availability & Coupons
Sites
Media
Advanced

*** Promotion name**
\$10 off Orders over \$100

Template
Spend Y Get Order Discount

*** Condition and offer**

Condition

Spend: 100.00 *Example: 100*

Any related promotion upsells can be accessed via the "Promotion upsells" editor.

Offer

Discount Type: Amount Off

Discount: 10.00 *Example: 5*

*** Priority**
2

オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少しでプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSP に組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」または「割引率(%)」を選択します。
割引	割引金額を入力します。

X での Y の支払でオーダー割引を取得

このプロモーションでは、指定の製品領域で指定の金額分を購入すると、オーダー全体に割引が適用されます。

最初に、条件の「支払」のしきい値と「支払」のオプションを指定します。「支払」は、カテゴリ、製品または特定の SKU です。より多くの基準を条件に追加することによって、「支払」を絞り込むことができます。

New Order Discount
Order Discount ID promo1100

General

Availability & Coupons

Sites

Media

Advanced

Promotion name
Spend \$100 in Shoes get 10% off order

Template
Spend Y In X Get Order Discount

*** Condition and offer** Clear Convert to Advanced

Condition

Spend: Example: 100

Spend in:

Category ▼

includes any of ▼

Shoes

×

Add Criteria
Select...

オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少しでプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSP に組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」または「割引率(%)」を選択します。
割引	割引金額を入力します。

段階的オーダー割引

段階的価格分岐では、顧客が複数の品目を購入する場合に、様々なレベルの割引を適用できます。条件はすでにテンプレートで定義されているため、指定する必要があるのはオファーの詳細のみです。

まず、割引タイプを指定します。「割引金額」または「割引率(%)」を選択します。次に、段階を定義します。

Condition and offer

Offer

Discount Type: Percentage Off

Discount Structure:

Spend	Get Discount		
100	10	-	+
150	15	-	+
200	20	-	+

例では、10 品目購入するとオーダー全体の 5%がオフになり、20 品目購入すると 15%オフになります。

期間内に購入すると出荷割引を取得

このプロモーションでは、指定期間内にオーダーを確定すると、送料が割引かれます。

最初に、条件の開始日と終了日を指定します。このプロモーションの場合、これらのフィールドは使用開始日と使用終了日に相当します。1 つの日付セットを変更すると、他のセットも自動的に更新されます。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」または「割引率(%)」を選択します。
割引	割引金額を入力します。

X を購入すると出荷割引を取得

このプロモーションでは、指定品目を購入すると、送料が割引かれます。

最初に、条件パラメータを設定します。次の表では、条件プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入品目数	割引を受けるために購入する必要がある数量です。この数量は 1 以上である必要があります。
購入品目	プロモーションを適用する購入を限定する場合は、プロモーションを受けられるカテゴリ、製品などを指定します。その他の条件を必要に応じて追加し、AND (購入がすべての基準を満たす必要がある) または OR (購入が 1 つ以上の基準を満たす必要がある) 形式で組み合わせることが可能です。

品目を条件から除外する(つまり、それらの品目では顧客がプロモーションを受けられないようにする)には、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定出荷価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。「固定出荷価格」を選択した場合は、使用する出荷価格を入力します。

出荷割引の取得

このプロモーションでは、その他の条件なしで、すべてのオーダーの送料が割引かれます。オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定出荷価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。「固定出荷価格」を選択した場合は、使用する出荷価格を入力します。

Yの支払で出荷割引を取得

このプロモーションでは、指定の金額分を購入すると、送料が割引かれます。

最初に、条件の「支払」のしきい値を指定します。オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少してプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSPに組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。

XでのYの支払で出荷割引を取得

このプロモーションでは、指定の製品領域で指定の金額分を購入すると、送料が割引かれます。

最初に、条件の「支払」のしきい値と「支払」のオプションを指定します。「支払」条件は、カテゴリ、製品または特定のSKUです。より多くの基準を追加することによって、「支払」条件を絞り込むことができます。

オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少しでプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSPに組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。

次に、オファーを指定します。

- 割引タイプ-「割引金額」、「割引率(%)」または「無料」を選択します。
- 割引-割引金額を入力します。

「可用性およびクーポン」タブ

プロモーションを構成するときには、プロモーションのライフサイクルを定義します。プロモーションの名前をクリックして、プロモーションがアクティブで使用可能なときを決定するプロパティを更新します。

注意: 可用性も「一般」タブの「使用可能」プロパティによって影響を受けます。プロモーションが使用不可にされている場合、指定した使用可能期間内であっても、そのプロモーションは使用できません。

次の表では、タブのプロパティについて説明します。

プロパティ	説明
プロモーション可用性 (必須)	すべての顧客がプロモーションを使用できるのか、クーポンまたはシナリオのみと使用できるのか、または登録された顧客が使用できるのかを指定します。デフォルトは、「顧客による処理必須(任意のユーザー)」です。
使用期間(オプション)	プロモーションの使用期間を開始日と終了日で定義することも、顧客がプロモーションを受信した時点から始まる期間として定義することもできます。使用期間のないプロモーションは、使用不可になるまで有効です。
出荷グループ (出荷プロモーションのみ)	プロモーションが顧客の出荷グループのすべてに適用されるのか、または最初の出荷グループのみに適用されるのかを指定します。たとえば、送料無料をオファーするけれども、品目の出荷先が3箇所ある場合は、最初の出荷分のみが送料無料になります。
クーポン(オプション)	「プロモーション可用性」で「顧客による処理必須」オプションのいずれかを選択した場合にのみ、このオプションは表示されます。プロモーションで使用できる既存のクーポンを指定するか、新しいクーポンを作成します。
2回以上顧客に付与 (「顧客による…」のプロモーションで必須)	1人の顧客にプロモーションを複数回適用できるかどうかを指定します。デフォルトは、「いいえ」です。

プロパティ	説明
1 顧客当たりの最大使用数 (「顧客による…」のプロモーションで必須)	プロモーションが許可された後、そのプロモーションを使用できるオーダー数を指定します。デフォルトは 1 です。
1 オーダー当たりの最大使用数	1 オーダー当たりに使用できるクーポンの数を指定します。
スタック・ルール	スタック・ルールによって、一緒に使用できるプロモーションを制御できます。詳細は、 スタック・ルールによるプロモーションの管理 を参照してください。プロモーション自体(このタブを使用)またはスタック・ルール・アセット・タイプを介して、プロモーションをスタック・ルールと関連付けることができます。「可用性およびクーポン」タブの「スタック・ルール」セクションを使用して、現在のプロモーションと一緒に使用できる、または使用できないプロモーションを指定することもできます。
除外するプロモーション	このプロパティでは、このプロモーションと一緒に使用できないプロモーションを指定できます。除外が機能するには、除外されるプロモーションが除外するプロモーションよりも低い優先度である必要があります。詳細は、 スタック・ルールによるプロモーションの管理 を参照してください。
含めるプロモーション	このプロパティでは、このプロモーションと一緒に使用できるプロモーションを指定できます。含めるよりも除外する方が常に優先されます。「除外するプロモーション」またはスタック・ルールによってプロモーションが明確に除外されると、別のルールまたは「含めるプロモーション」によって再度含めることはできません。詳細は、 スタック・ルールによるプロモーションの管理 を参照してください。

「サイト」タブ

複数サイト環境では、「サイト」タブを使用して、特定のサイトで購入した品目のみにプロモーションが適用されるように指定できます。たとえば、季節の品目を特集したサイトがある場合、そのサイトで販売された品目のみにプロモーションを適用できます。「サイト」タブは、複数の登録サイトが構成されている場合にのみ使用できます。複数サイト機能の詳細は、『[ATG Web Commerce Multisite Administration Guide](#)』を参照してください。

個々のサイト、サイト・グループまたはグループとサイトの組合せを選択できます。サイト・グループとそのグループ内のサイトの両方を選択する場合、そのサイトが制限となることはありません。そのグループ内のすべてのサイトがプロモーションに適格です。「サイト」タブで何も選択しない場合、プロモーションはすべてのサイトで有効です。

サイト・メンバーシップを条件またはオファー基準の一部として「一般」タブで指定した場合、「サイト」タブで選択したサイトまたはサイト・グループがその条件と競合しないようにする必要があります。条件またはオファーが、プロモーションに対して有効ではないサイトに依存する場合、顧客はそのプロモーションに適格になることはできません。

また、「サイト」タブで、次のプロパティを設定できます。

プロパティ	説明
サイト制限	プロモーションがすべてのサイト(デフォルト)に適用されるか、指定するサイトまたはグループに制限されるかどうかを指定します。
サイト	プロモーションを使用できるサイトを選択します。
サイト・グループ	プロモーションを使用できるサイト・グループを選択します。

注意: サイト制限を追加または削除する場合、「変更のレビュー」ダイアログに更新された「サイト」または「サイト・グループ」プロパティは表示されますが、「サイト制限」プロパティは表示されません。サイトの制限の変更を元に戻すには、「サイト」または「サイト・グループ」プロパティをリストから選択します。詳細は、[変更の確認](#)を参照してください。

「カタログ・メディア」タブ

「カタログ・メディア」タブでは、イメージとプロモーションを関連付けて製品ページ、Eメールおよびその他の通信で表示できます。すべてのプロモーション・タイプには、サムネイル・イメージ、小イメージ、大イメージといった同じメディア・プロパティ・セットが備わっています。

メディア・プロパティの作業の詳細は、[メディア・アセットおよびフォルダの作成と管理](#)を参照してください。

拡張フィルタ

「拡張」タブで、品目へのプロモーションの適用方法を制限するフィルタを構成できます。任意のプロモーション・タイプに適用できるフィルタと、品目タイプのプロモーションにのみ適用されるフィルタがあります。

特定のショッピング・カートがプロモーションに適格であるかどうかを判別するときに、品目が考慮されるかどうか、拡張フィルタによって変更されます。フィルタ設定は、Commerce アプリケーションの一部として変更できます(詳細は、[ATG Web Commerce Programming Guide](#) のクオリファイア・クラスを参照)。

Merchandising によって Commerce アプリケーションの該当する設定が読み取られ、デフォルトとして使用されます。個別のプロモーションについて、これらの設定を上書きできます。

すべての拡張フィルタのデフォルト設定では、Commerce アプリケーションの設定が継承されます。フィルタの上書き設定を選択すると、その設定が Commerce アプリケーションでフィルタに対して行われる変更に関係なく使用されます。

注意: 拡張フィルタの設定は、プロモーションをインポートまたはエクスポートするときに含まれます。インポートまたはエクスポート・ファイルで、値が空 (null) であることは、Commerce アプリケーションの設定がフィルタで使用されることを示します。

条件文に適用されるフィルタについて、次の表で説明します。

フィルタ名	説明
割引済品目 (任意のプロモーション)	True の場合、 任意 のプロモーションによってすでに割引済の品目は、このプロモーションのターゲットにできません。

フィルタ名	説明
割引済み品目 (現在のプロモーション)	True の場合、現在のプロモーションによってすでに割引済の品目は、このプロモーションのターゲットにできません。 このフィルタは品目プロモーションにのみ適用され、オーダープロモーションまたは出荷プロモーションには使用できません。
販売中の品目	True の場合、「販売中」プロパティが「はい」に設定されている品目は、このプロモーションのターゲットにできません。
価格がゼロの品目	True の場合、価格が\$0.00 の品目は、このプロモーションのターゲットにできません。
価格がマイナスの品目	True の場合、価格がマイナスの品目は、このプロモーションのターゲットにできません。

条件文に適用されるフィルタについて、次の表で説明します。

フィルタ名	説明
適格品目	True の場合、すでにいずれかのプロモーションのクオリファイアになっている品目は、このプロモーションの適格対象として使用できません。
割引済み品目 (任意のプロモーション)	True の場合、 いずれかの プロモーションによってすでに割引かかれている品目は、このプロモーションの適格対象として使用できません。
割引済み品目 (現在のプロモーション)	True の場合、このプロモーションによってすでに割引かかれている品目は、このプロモーションの適格対象として使用できません。
販売中の品目	True の場合、「販売中」プロパティが「はい」に設定されている品目は、このプロモーションの適格対象として使用できません。
価格がゼロの品目	True の場合、価格が\$0.00 の品目は、このプロモーションの適格対象として使用できません。
価格がマイナスの品目	True の場合、価格が\$0.00 未満の品目は、このプロモーションの適格対象として使用できません。
プロモーション価格より低い 価格の品目	固定価格プロモーションのみに適用されます。True の場合、品目の価格がすでにプロモーション適用後の価格未満のときは、その品目はこのプロモーションの適格対象として使用できません。

購入時ギフト・プロモーションの作成

購入時ギフト・プロモーションは、顧客にオーダーの一部として無料の品目を付与できる特別なプロモーション・タイプです。

無料ギフト基準は、次のアセット・タイプのうちのいずれかとして指定できます。

- SKU
- 製品
- カテゴリ
- コンテンツ・グループ

SKU バンドルはギフト品目として使用できません。

顧客のオーダーが購入時ギフト・プロモーションに適切である場合は、次の 2 つのうち、いずれかが発生します。

- カート内の品目がギフト品目基準を満たさず、かつプロモーションによってギフト選択の選択肢が示されない場合、ギフト品目がカートに自動的に追加されます。プロモーションによって選択肢が示される場合、プレースホルダがカートに自動的に追加され、顧客はギフトを後で選択できます。自動的に追加されるか選択するかに関係なく、これらのギフト品目は他のプロモーションの適格対象として使用できません。
- ギフト品目が顧客のカート内にすでにある場合、その品目は再度価格設定されて無料になります。これらの手動で追加された品目は、他のプロモーションの適格対象として使用される可能性があります。再度価格設定された後は、そのように使用できなくなります。

ギフトとして選択できる品目を複数提供する場合は、顧客がギフトを選択できる方法が含まれるようにストアのページをコード化する必要があります。詳細および例は、『[ATG Web Commerce ストア設定ガイド](#)』および『[ATG Web Commerce Reference Store Overview](#)』を参照してください。

顧客がオーダーを変更したためにプロモーションに適切でなくなった場合の動作は、「カートから自動削除しますか?」設定を使用して、プロモーションごとに構成できます。「カートから自動削除しますか?」が「はい」に設定されている場合、カートが適切でなくなったときに、カートに自動的に追加された（または、自動的に提示されたオプションから選択した）ギフト品目は自動的に削除されます。「カートから自動削除しますか?」が「いいえ」に設定されている場合、自動的に追加されたギフト品目は通常の価格で再度価格設定されません。

カートに手動で追加された品目は、常に通常の価格で再度価格設定され、削除されることはありません。

ギフト品目の削除および再追加

顧客が無料ギフトに適切であり、ギフトがカートに追加されている場合、顧客はギフトを手動で削除できます（顧客が無料の品目に関心がない場合など）。この場合は、カートがプロモーションに適切であっても、ギフト品目およびプレースホルダは自動的に再追加されません。無料ギフトがカートから手動で削除されたが、すでにカート内にある手動で追加されたその他の品目がギフト基準を満たしている場合は、残った品目が再度価格設定されて無料になります。

手動で削除されたギフト品目を手動で復活させることができます。他の品目がそのギフト品目のかわりとなっていないかぎり、品目は再度価格設定されて無料になります。プロモーションに不適格にしたり、再度適切にすることで、品目を再び追加することもできます。このことは、ショッピング・カートで情報を提供しないかぎり、顧客にとって理解しにくくなる場合があります。

購入時ギフトの条件およびオファーのテンプレート

条件およびオファーのプロパティ・エディタは、「一般」タブに表示されます。他のプロモーション・タイプのテンプレートの詳細は、[条件およびオファーのテンプレート](#)を参照してください。

購入時ギフト・プロモーションは、次の 2 つの方法で処理できます。

- ギフト品目は購入不可能であり、価格は常に\$0.00 です。
- ギフト品目は購入可能であり、価格がありますが、オーダーがプロモーションに適格である場合は、割引によって無料になります。

デフォルト構成では、購入時ギフト品目にはゼロではない価格があることが前提となります。購入時ギフト品目の価格をゼロにする場合は、Qualifier の `filterTargetForZeroPrices` プロパティを `False` に設定する必要があります。詳細は、『[ATG Web Commerce Programming Guide](#)』のクオリファイア・クラスを参照してください。価格がゼロの品目の数量を顧客が増やすことができないようにショッピング・カート・ページをコード化する必要があり、ギフトではない価格がゼロの他の品目はプロモーションの適用時にフィルタ処理されません。

オーダーが購入時ギフトに適格となった品目を顧客が返品する場合、価格がゼロのギフト品目と価格がゼロでないギフト品目の違いが重要になります。顧客がオーダーを確定して購入時ギフトを受け取る次のシナリオについて考えます。

- ギフトの価格はゼロです。顧客が正規の価格の適格品目を返品し、ギフト品目を保持します。このシナリオは、ギフト品目が少量のサンプルまたは通常は単独では返品不可の他の品目であるときは許容できる場合がありますが、その品目が通常は購入可能であるときは許容できない場合があります。
- ギフトの価格はゼロではありません。顧客が適格品目を返品します。オーダーはギフトに適格でなくなくなり、再度価格設定されます。払戻または交換では、ギフト品目の実際の費用が考慮されます。

購入時ギフトを取得(GWP)

このプロモーションでは、顧客が購入したときに無料ギフトが顧客に提供されます。「購入時に無料のキャンドルを 1 本取得」などです。

このプロモーションは、特定のショッピング・カートに 1 回のみ適用できます。また、このテンプレートでは、ギフト品目がプロモーションのクオリファイアにもなることはありません。先ほどの例では、顧客のカートにキャンドルが 1 つのみ入っている場合、そのキャンドルが再度価格設定されて無料になることはありません。ただし、顧客がギフトではない別の品目をカートに入れると、ギフトではない品目によってその顧客はプロモーションに適格となり、キャンドルは再度価格設定されて無料になります。

オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入時ギフト	無料ギフト品目です。
カートから自動削除しますか?	自動的にカートに追加されたギフト品目を、カートが適格ではなくなったときに自動的に削除するかどうかを指定します。

品目 X を購入すると GWP を取得

このプロモーションでは、顧客が特定の品目を購入したときに無料ギフトが顧客に提供されます。「靴を購入すると無料の靴下 1 パックを取得」などです。

このプロモーションは、特定のショッピング・カートに 1 回のみ適用できます。顧客が適格品目を 2 つ追加した場合でも、受け取るギフト品目は 1 つのみです。

また、このテンプレートでは、ギフト品目がプロモーションのクオリファイアになることもできません。たとえば、任意の手袋の購入でブランド X の手袋を 1 双無料で提供するプロモーションを設定できます。顧客がブランド X の手袋をカートに追加した場合、無料の品目は適格対象として使用できないため、プロモーションに適格となりません。(1 つ購入すると 1 つ取得プロモーション・タイプを設定する場合は、「1 つ購入すると 1 つ取得(BOGO)」テンプレートを参照してください。)顧客が別のブランドの手袋を追加した場合は、ブランド X のプロモーションに適格となります。

最初に、条件パラメータを設定します。次の表では、条件プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入品目数	ギフト品目を受け取るために購入する必要がある数量です。この数量は 1 以上である必要があります。
購入品目	プロモーションを適用する購入を限定する場合は、プロモーションを受けられるアセットを指定します。その他の条件を必要に応じて追加し、AND (購入がすべての基準を満たす必要がある) または OR (購入が 1 つ以上の基準を満たす必要がある) 形式で組み合わせることが可能です。

品目を条件から除外する(つまり、それらの品目では顧客がプロモーションを受けられないようにする)には、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入時ギフト	無料ギフト品目です。
カートから自動削除しますか?	自動的にカートに追加されたギフト品目を、カートが適格ではなくなったときに自動的に削除するかどうかを指定します。

Y の支払で GWP を取得

このプロモーションでは、顧客が指定の金額を支払ったときに無料ギフトが顧客に提供されます。「\$50 の支払で無料の映画チケットを 1 枚取得」などです。このプロモーションは、オーダー全体ではなくショッピング・カート内の個別の品目が調べられるという点で、Y での X の支払プロモーションのように動作します。ギフトと識別された製品は、Y の支払合計に加算されません。

このプロモーションは、特定のショッピング・カートに 1 回のみ適用できます。顧客が適格品目を 2 つ追加した場合でも、受け取るギフト品目は 1 つのみです。

最初に、条件の「支払」のしきい値を指定します。

Free Scarf with all orders over \$200

Item Discount ID promo70
 Modified 11/25/2013 6:25

General
Availability & Coupons
Sites
Media
Advanced

*** Promotion name**
Free Scarf with all orders over \$200

Template
Spend Y Get GWP

*** Condition and offer** Clear Convert to Advanced

Condition

Spend: *Example: 100*

Any related promotion upsells can be accessed via the "Promotion upsells" editor.

Offer

Gift with Purchase: Cashmere Scarf
 xsku60325

Gifts are automatically added when a cart meets the specified condition. Gifts already in the cart are repriced as free. Items with a zero price cannot be used as a gift with purchase.

Auto Remove from Cart? Yes, remove
 No, keep in cart and reprice

オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少しでプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSP に組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。プロモーション・アップセルのセクションは、プロモーションを初めて作成する段階にならないと、条件およびオファー・テンプレートに表示されません。プロモーション・アップセルを編集するには、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」セクションを使用します。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入時ギフト	無料ギフト品目です。
カートから自動削除しますか?	自動的にカートに追加されたギフト品目を、カートが適格ではなくなったときに自動的に削除するかどうかを指定します。

XでのYの支払でGWPを取得

このプロモーションでは、顧客が指定の製品グループで指定の金額を支払ったときに無料ギフトが顧客に提供されます。「ホーム・アクセント・カテゴリでの\$300の支払で、無料のラグ・マットを1枚取得」などです。

このプロモーションは、特定のショッピング・カートに1回のみ適用できます。顧客が適格品目を2つ追加した場合でも、受け取るギフト品目は1つのみです。また、このテンプレートでは、ギフト品目がプロモーションのクオリファイアになることもできません。

たとえば、ホーム・アクセントで\$200支払った顧客が特定のランプを受け取るプロモーションを設定します。顧客は、そのランプを含め、品目をカートに追加します。カートの合計は\$200ですが、ランプはプロモーションのターゲットであるため除かれます。顧客がプロモーションに適格となるには、他の品目を追加する必要があり、プロモーションに適格になると、ランプは再度価格設定されて無料になります。

最初に、条件の「支払」のしきい値と「支払」のオプションを指定します。「支払」は、カテゴリ、製品または特定のSKUです。より多くの基準を条件に追加することによって、「支払」を絞り込むことができます。

オプションとして、そのプロモーションのプロモーション・アップセルを定義できます。これにより、顧客があと少しでプロモーション対象として適格になったときに、サイトでそのことを顧客に通知できます。アップセルはサイトに自動的に表示されないため、JSPに組み込むか、顧客にアクティブに提示する必要がある点に留意してください。

プロモーション・アップセルを条件およびオファーの一部として指定する場合でも、「一般」タブの「プロモーション・アップセル」の部分でその他のアップセルを指定できます。

品目を条件から除外する（つまり、それらの品目では顧客がプロモーションを受けられないようにする）には、「除外品目」領域の「基準の追加」ボタンをクリックします。

次に、オファーを指定します。次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
購入時ギフト	無料ギフト品目です。
カートから自動削除しますか?	自動的にカートに追加されたギフト品目を、カートが適格ではなくなったときに自動的に削除するかどうかを指定します。

拡張条件およびオファーの文の作成

拡張条件およびオファーは、品目、オーダーまたは出荷のプロモーションの一部として使用できる数式のようなものです。プロパティがあらかじめ選択されたテンプレートを提供するのではなく、拡張条件およびオファーの文では、プロモーションに必要な条件およびオファー基準をどのようにでも組み合わせることができます。

文を作成するには、項目タイプ (Product など) を選択し、演算子および一致する値を選択します。カッコ、AND および OR 結合を使用して、文を論理的にグループ化できます。拡張条件およびオファーの文の最後の部分は End である必要があります。

テンプレートを使用してプロモーションを開始し、拡張条件およびオファーに変換できます。変換後のプロモーションでも設定済の基準が維持され、さらにテンプレートに含まれていない内容を追加できます。

拡張プロモーションを作成するには

1. 新しい品目、オーダーまたは送料のプロモーションを通常どおりに作成します。
2. 「条件およびオファー」セクションをクリックしてアクティブ化します。
3. 「追加」をクリックします。
4. 「拡張条件およびオファーの作成」をクリックします。
5. プロモーションの条件を作成します。

The screenshot shows a configuration window titled "Condition and offer" with a "Clear" button in the top right. Below the title is a "Condition" input field. Underneath is the "Apply Offer:" section, which includes a "When" dropdown menu. The main configuration area contains a rule: "order contains" (dropdown) "total quantity" (dropdown) "at least" (dropdown) "1" (text input). Below this is a formula: "(Product: (dropdown) Category: (dropdown) = Jackets (checkbox)) (dropdown)". At the bottom left is an "End" dropdown menu.

その品目が、顧客をプロモーションに適格とする条件になると同時に、プロモーションのターゲットでもあることが可能かどうかを指定します。

AND および OR リンクを使用して、プロモーションに必要な数の文を結合できます。

注意: また、プロモーションのクオリファイア品目とターゲット品目が重なる場合で、「クオリファイア品目の割引なし」を選択した場合、プロモーションで予期しない動作が発生する場合があります。たとえば、「帽子 1 個の購入で、アクセサリ・カテゴリからギフトを 1 個取得」というプロモーションを作成する場合があります。顧客が帽子 1 個をカートに追加します。帽子はアクセサリ・カテゴリに属しているため、適格品目として考慮されず、ギフトはカートに追加されません。顧客が手袋を追加した場合は、これがターゲットとして扱われ、帽子はクオリファイアです。手袋は無料として再度価格設定されます。

ドロップダウン矢印をクリックして、Always、When および For Next のオプションが列挙されたリストを表示します。

- Always は、このプロモーションをユーザーが受けるのに満たす条件がないことを示します。
- When を選択すると、一連の条件が文として表示されます。ルールに表示されている項目は、ドロップダウン・メニューの最初の項目であり、このメニューから別の項目を選択することが可能です。場合によっては、項目は空になっていて、リポジトリ項目を選択するか、テキストを入力して項目を埋めます。
- For Next は、プロモーションを適用するために満たす必要がある基準があることを示します。Every または Up To のオプションが表示されます。このオプションでは、プロモーションを実行する必要があるかどうかをシステムが確認する回数を示します。たとえば、3 枚の T シャツのオーダーがある場合、For Next および Every を示すプロモーションを作成し、T シャツの 10% 割引を作成します。各 T シャツが 10% 割引になります。For Next および Up To 2 Maximum を示すプロモーションを作成する場合、3 枚の T シャツのうち 2 枚のみが割引になります。

条件句を「When」で始める場合、指定品目を、他のプロモーションの適格対象として使用することもできます。条件句を「For」で始める場合は、品目を他のプロモーションの適格対象として使用することはできません。

また、条件句が「order contains only」に基づいており、かつ、クオリアファイア品目が前に除外された場合に、空のカートがプロモーションに適格になる可能性もあります。クオリアファイア品目は、前に適用されたプロモーションによって、または「クオリアファイア品目の割引なし」制約のために、除外される場合があります。

警告: 購入時ギフト・プロモーションを作成する場合、明確に除外しないかぎり、ターゲット・ギフト品目を、それ自体のプロモーションに適格にできることに注意してください。出荷時の購入時ギフト・テンプレートではこれは回避されますが、拡張条件を作成する場合は発生する可能性があります。購入時ギフトには常に For 条件を使用します。

割引ルールには、カッコを使用して操作の順序を指定する複合文および文を組み込むことができます。ルール・ウィザードにより、カッコが自動的に挿入されて、項目が語句に編成されることがあります。

ほとんどのルールの終わりには、カッコがあります。新しい語句をルールに加える場合は、最後の要素をクリックして、*and* または *or* のいずれかを選択します。

6. プロモーションの適格対象として使用される品目が割引を適用されないようにする場合は、「クオリアファイア品目の割引なし」ボックスを選択します。
7. プロモーションのオファーを作成します。オファー・オプションは、プロモーションのタイプによって異なります。次のいずれかまたはすべてを設定します。

Offer

Offer Type:
 Standard, Tiered, Group, Gift With Purchase

Gift with Purchase:

Qty. to Get	ID	Display Name	
2	catBagsAndWallets	Handbags and Wallets	-

*Gifts are automatically added when a cart meets the specified condition.
 Gifts already in the cart are repriced as free.
 Each row represents a single customer selection.*

▾

次の表では、オファー・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
オファー・タイプ	「標準」、「段階的」または「購入時ギフト」を選択します。
割引品目	割引を受けられる品目を特定する、条件文のようなルールを作成します。
割引適用先	オーダー内の最低価格品目または最高価格品目のどちらかに最初にプロモーションを適用するかを指定します。

プロパティ	説明
割引タイプ	「割引金額」、「割引率(%)」、「固定品目価格」または「無料」を選択します。
割引	割引金額を入力します。または「割引タイプ」が「固定品目価格」の場合は品目の価格を入力します。
購入時ギフト	購入時ギフト・プロモーションを作成する場合、ギフト品目を指定します。ギフト品目を1つ指定した場合は、カートがプロモーションに適格になると、その品目が顧客のカートに自動的に追加されます。選択可能なギフトを複数指定した場合は、顧客にすべてのギフトが提示されます。
カートから自動削除しますか?	購入時ギフト・プロモーションを作成する場合、自動的にカートに追加されたギフト品目を、カートが適格ではなくなったときに自動的に削除するかどうかを指定します。

注意: 独自のテンプレートを作成したか、PMDLを手動で編集する場合は、PMDL構文に準拠しない条件およびオファーを作成できます。無効なPMDLのあるプロモーションを表示しようとすると、エラーを含んだRAW PMDLが表示されます。

エラーのあるルールは編集可能な形で表示できません。ただし、PMDLを表示することで、問題を特定できる場合があります。エラーが発生した場合は、管理者がPMDLをリポジトリから抽出して、エラーを手動で修正できます。

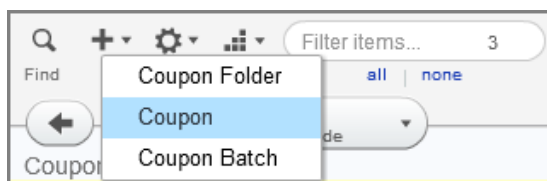
プロモーションでのクーポンの使用

プロモーションの「可用性およびクーポン」タブを使用してクーポンを作成できます。あるいはクーポンを個別に作成し、クーポンかプロモーションのいずれかを介して後でプロモーションにリンクすることもできます。

クーポン・フォルダの作成

クーポン・フォルダは、クーポンの編成に使用されます。新しいクーポン・フォルダを作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、Merchandising にナビゲートします。
2. 「プロモーションおよびクーポン」を選択します。
3. 「クーポン」を選択します。
4. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「クーポン・フォルダ」を選択します。



5. 「名前」テキスト・ボックスにクーポン・フォルダの名前を入力します(必須)。

6. 詳細ペイン右上の「親の選択」および「消去」ボタンを使用して、親を追加、置換または削除することで、階層内のフォルダの場所を指定します。「親の選択」の横にアセット名が表示されている場合は、親はあらかじめ選択されています。
 - 「親の選択」をクリックして親を追加または置換し、「項目の選択」ダイアログ・ボックスがオープンしたら、目的の親の横にあるラジオ・ボタンをクリックします。「OK」をクリックします。
 - 親を削除するには、「親の選択」の横にある「消去」をクリックします。親のないクーポン・フォルダは、クーポン階層のトップレベルに位置しています。
7. 「作成」をクリックします。

詳細ペインには「一般」タブがあり、クーポン・フォルダのプロパティが表示されます。

独立型クーポンの作成

新しいクーポンを作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、Merchandising にナビゲートします。
2. 「プロモーションおよびクーポン」を選択します。
3. 「クーポン」を選択します。
4. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「クーポン」を選択します。
5. 詳細ペインのフィールドを入力します。
6. 「作成」をクリックします。

次の表では、クーポン・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
クーポン・コード(必須)	クーポン・コードは、顧客がクーポンを引き換えるときに使用します。クーポン・コードは自動的に生成されます(上に例を示します)。コードは、顧客にわかりやすいように変更できます。たとえば、休日オーダーの送料無料クーポンの場合は、「休日送料無料」とします。ただし、クーポンの作成後にコードを編集することはできません。クーポン・コードは大文字小文字が区別されます。
クーポン名(オプション)	クーポンの表示名を指定できます。表示名を指定しない場合、関連するプロモーションの表示名が使用されます。

プロパティ	説明
開始日および終了日	クーポンが特定期間中のみ有効な場合は、その期間を定義する開始日と終了日を入力します。
使用	クーポンを使用できる回数です。
親フォルダ(オプション)	クーポンを現在の場所から移動する場合は、別の親フォルダを選択するか、新しいフォルダを作成できます。
プロモーション(オプション)	1つ以上の既存のプロモーションを選択するか、このクーポンに関連付ける新しいプロモーションを作成します。クーポンの作成時にプロモーションに関連付ける必要はありません。ただし、クーポンを顧客に配布するために、クーポンを1つ以上のプロモーションに関連付ける必要があります。
プロモーション・サイトで引換可能	複数サイト機能を使用している場合、クーポンがすべてのサイトで引換可能か、またはクーポンが関連付けられたプロモーションが接続されているサイトのみで引換可能かを指定します(「 サイト 」タブを参照)。 クーポンがすべてのサイトで換金可能でも、関連付けられたプロモーションが特定のサイトにリンクされている場合、プロモーションが価格設定中に適用されるようにするには、顧客はそのサイトでオーダーをチェックアウトする必要があります。

プロモーションへのクーポンの追加

クーポンをプロモーションに追加する方法は2つあります。

- 「クーポン」の「一般」タブで、既存のプロモーションを選択するか、クーポンに関連付ける新しいプロモーションを作成します。
- 「プロモーション」の「可用性およびクーポン」タブで、既存のクーポンを選択するか、プロモーションに関連付ける新しいクーポンを作成します。

表示名をクリックして、どちらを開始するかに応じてプロモーションまたはクーポンの詳細を表示または編集します。

クーポン・バッチの作成

クーポン・バッチを使用すると、クーポンの使用をターゲット設定およびモニターするために、使用限度およびランダムに生成されるクーポン・コードが付いた、大量のクーポンを作成できます。

新しいクーポン・バッチを作成するには

- 「Commerce アセット」プロジェクトで、**Merchandising** にナビゲートします。
- 「プロモーションおよびクーポン」を選択します。
- 「クーポン」を選択します。
- ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「クーポン・バッチ」を選択します。
- 詳細ペインのフィールドを入力します。
- 「作成」をクリックします。

次の表では、クーポン・バッチ・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
クーポン・コード(プリフィクス) (必須)	クーポン・バッチでは、クーポン・コードは識別のためのプリフィクスとして使用されます。クーポン・コードは、顧客がクーポンを要求するときに、ランダムに生成されるクーポン番号および検証コードとともに使用されます。 クーポンが生成された後は、この値は編集できません。
クーポン数(必須)	バッチの一部として生成されるクーポンの数です。クーポンが生成された後は、既存のバッチに追加できません。
クーポン名(必須)	クーポンの名前です。
開始日および終了日(オプション)	クーポンが特定期間中のみ有効な場合は、使用可能期間の開始と終了を入力します。
クーポン使用限度(オプション)	バッチ内の各クーポンを使用できる回数です。デフォルト設定は1です。
親フォルダ(オプション)	クーポンを現在の場所から移動する場合は、別の親フォルダを選択するか、新しいフォルダを作成できます。
プロモーション(オプション)	1つ以上の既存のプロモーションを選択するか、このクーポンに関連付ける新しいプロモーションを作成します。クーポンの作成時にプロモーションに関連付ける必要はありません。ただし、クーポンを顧客に配布するために、クーポンを1つ以上のプロモーションに関連付ける必要があります。
引換可能サイト	複数サイト機能を使用している場合、クーポンがすべてのサイトで引換可能か、またはクーポンが関連付けられたプロモーションが接続されているサイトのみで引換可能かを指定します(「サイト」タブ を参照)。

クーポン・バッチの表示およびエクスポート

クーポン・バッチを CSV または XLS 形式にエクスポートすることによって、バッチ内のクーポンに関する情報を表示できます。クーポン・バッチを表示およびエクスポートするには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、Merchandising にナビゲートします。
2. 「プロモーションおよびクーポン」を選択します。
3. 「クーポン」を選択します。
4. バッチ・クーポン項目を選択します。クーポン・バッチの「引換率」が「一般」タブに表示されます。
5. 「クーポンのプレビューおよびエクスポート」をクリックします。
6. エクスポートするクーポン・プロパティを選択します。「プレビュー」をクリックしてプロパティとデータを表示します。

7. エクスポート形式として「Excel」または「CSV」を選択します。Excel のバージョンによっては、ファイルごとのデータ行数が制限されます。
8. 「エクスポート」をクリックします。Web ブラウザのプロンプトに従ってファイルをオープンまたは保存します。

プロモーションのソート

Merchandising には、アセットをソートするための標準ユーザー・インタフェースがあります。アセットをソートする基準となるプロパティはアセットによって異なります。プロモーションはタイプまたはフォルダ別にソートできます。

さらに、名前、ID、開始日または終了日別にソートできます。プロモーションをタイプ別(品目、出荷またはオーダー割引)にソートする場合は、さらに優先度別にソートするオプションがあります。

スタック・ルールによるプロモーションの管理

スタック・ルールを使用すると、顧客が複数のプロモーションの相乗効果を予定外に利用することを回避できます。(クーポン・バッチは、対象を絞る必要のあるプロモーションを顧客が広めないようにするための、別の方法となります。詳細は、[クーポン・バッチの作成](#)を参照してください。)

スタック・ルールのユーザー・インタフェースは、次の 2 つの部分で構成されます。

- スタック・ルール・アセット・タイプでは、プロモーションのグループを定義できます。それを他のグループと組み合わせたり、他のグループと一緒に使用されないようにすることができます。また、1 つのオーダーに対して適用できるグループ内のプロモーションの数を指定することもできます。
- プロモーション・アセット・タイプでは、個別のプロモーションを他のプロモーションと一緒に使用可能として、または他のプロモーションと一緒に使用されないように指定できます。

プロモーションは常に、品目割引、オーダー割引、出荷割引の順に適用されます。したがって、スタック・ルールの組合せまたはプロモーションの包含および除外を使用しているかどうかに関係なく、次のことが適用されます。

- 品目割引は、オーダー割引と出荷割引の両方を除外できます。
- オーダー割引は、品目割引を除外できません。
- 出荷割引は、品目割引またはオーダー割引を除外できません。

次に続く項では、スタック・ルールおよびプロモーションの包含および除外を使用する方法について説明します。

スタック・ルールの機能

各スタック・ルール・アセットには、グループとして扱う 1 つ以上のプロモーションが含まれています。ルールの目的は、単純な組合せ手法を防ぐことです。たとえば、顧客が BOGO オファーと購入時ギフト・オファーを組み合わせることがないようにします。それぞれのスタック・ルールを実装する前にそれらの背後にあるビジネス・ロジックが明確で十分に理解されており、各ルールが本当に必要であることを確認します。

各プロモーションは、1つのスタック・ルールにのみ関連付けることができます。各スタック・ルールには、「1スタック・ルール当たりの最大プロモーション数」プロパティで設定された数までの任意の数のプロモーションを含めることができます。スタック・ルール内では、プロモーションはプロモーションの優先度に従ってオーダーに適用されます（「優先度」プロパティの詳細は、この章の[プロモーションの作成](#)を参照）。

スタック・ルールには次の動作があります。

- オーダーが複数のプロモーションに適格となり、かつ、それらのプロモーションが相互排他のスタック・ルールにリンクされている場合は、優先度の最も高いプロモーションが適用され、その他のすべてのプロモーションはスキップされます。
- スタック・ルール X がスタック・ルール Y と組合せ可能ではないと指定した場合、Y を X と組み合わせることはできません。1つのスタック・ルールで組合せリストを変更すると、影響するスタック・ルールは自動的に更新されます。
- 現在のスタック・ルールと一緒に使用されないスタック・ルールにリンクされたプロモーションは、適用できません。

包含プロモーションと除外プロモーションの使用

スタック・ルールを使用する以外に、マーチャンダイザは包含および除外動作を「プロモーション」アセット・タイプの「可用性およびクーポン」タブで指定できます。これらの設定によって、スタック・ルールで許可された組合せは上書きされるため、必要に応じてそれらのルールの例外を作成できます。

重要: プロモーションが厳密にいつ適用されるかについて混乱しないように、包含および除外の例外はあまり使用しないようにします。

「除外するプロモーション」コレクション・エディタでは、（スタック・ルールの除外に加えて）現在のプロモーションと組み合わせることができないプロモーションを個別に定義できます。たとえば、プロモーション A がスタック・ルール 1 に含まれています。スタック・ルール 1 はスタック・ルール 2 と組み合わされており、スタック・ルール 2 にはプロモーション B が含まれています。プロモーション A と B は一緒に使用しないため、プロモーション B をプロモーション A の「除外するプロモーション」リストに追加します。

「含めるプロモーション」コレクション・エディタでは、同様の上書きを逆の方法で行うことができます。たとえば、プロモーション C がスタック・ルール 3 に含まれています。スタック・ルール 3 はスタック・ルール 4 と組み合わされており、スタック・ルール 4 にはプロモーション D が含まれています。プロモーション C と D は一緒に使用するため、プロモーション D をプロモーション C の「含めるプロモーション」リストに追加します。

あるプロモーションがすでにオーダーに適用されていて、そのプロモーションによって別のプロモーションが除外される場合、除外されるプロモーションを、価格設定プロセスで後で適用されるプロモーションによって再度含めることはできません。

スタック・ルールの作成

新しいスタック・ルールを作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、Merchandising にナビゲートします。
2. 「プロモーションおよびクーポン」を選択します。
3. 「スタック・ルール」を選択します。
4. ツールバーの「作成」ボタンをクリックして、「カタログ・フォルダ」を選択します。
5. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。「名前」フィールドのみが必須です。
6. 「作成」をクリックします。

Apparel Promotions

General

Promotions

***** Name
Apparel Promotions

Maximum promotions per stacking rule
Unlimited

Stacking rule combinations
Combine Apparel Promotions with:

GWP Promotions

Item Promotions

Order Promotions

Shipping Promotions

次の表では、ルール・プロパティについて説明します。

プロパティ	説明
名前	スタック・ルールの名前です。
1スタック・ルール当たりの最大プロモーション数	このスタック・ルールを使用して組み合わせることができる最大プロモーション数です。
スタック・ルールの組合せ	現在のルールと一緒に使用できる追加のスタック・ルールを指定します。

1. 含めるプロモーションを「プロモーション」タブで指定します。
2. 詳細ペイン下部の「作成」ボタンをクリックします。

20 価格表の作成と管理

「価格表」では、特定の価格セットを特定の顧客グループを対象に設定できます。通常、価格は基本価格表で定義され、他の価格表によって継承されます。そのため、価格表の階層を作成し、継承値を上書きする場合にのみ価格を変更できます。たとえば、ノースリーブ・ポロシャツ製品の価格が\$19.99として定義されているとします。その価格を明示的に上書きするまで、すべてのノースリーブ・ポロシャツのSKUで\$19.99の価格が継承されます。たとえば、1週間の販売イベントの間、白いノースリーブ・ポロシャツの全SKUの価格を下げるすることができます。

価格表は、Merchandising の「価格表」ビューで管理します。

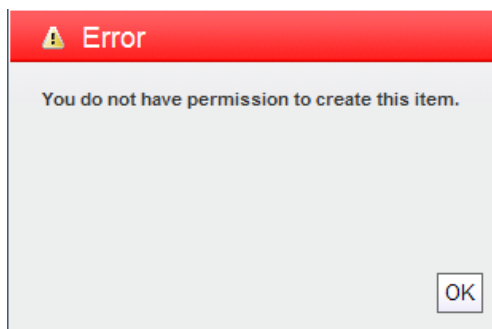
価格表の基本

次に、Merchandising で価格表を扱う場合に理解しておく必要のある重要な用語をいくつか示します。

- **基本価格表:** 現在のまたは新しい価格表が価格の値を継承する価格表です。
- **SKU 価格設定:** 製品または SKU カタログ・ページを使用して SKU に定価および任意の販売価格を割り当てるシンプルな価格設定方法です。SKU 価格は価格表から独立していますが、サイトで SKU 価格設定モデルが許可されている場合は、これら 2 つの価格設定方法を併用できます。SKU 価格設定の詳細は、[SKU の作成と管理](#)を参照してください。
- **数量価格設定:** 購入された数量に基づいて製品の価格を設定します。価格表では、一括価格設定と段階的価格設定の 2 つの一般的な数量価格設定モデルがサポートされています。一括価格設定では、オーダーされた最小数量に基づいて製品の価格を計算します。段階的価格設定では、様々な製品レベルで固定数量または重量を使用して、製品の価格を計算します。詳細は、[数量価格設定の定義](#)を参照してください。

開始前に

この章では、Merchandising の「価格表」ビューで実行できる価格表の作成タスクと管理タスクについて説明します。Merchandising では、価格表へのデフォルト・レベルのアクセス権が各ユーザー・ロールに割り当てられます。たとえば、デフォルトでは、EPub-Admin ロールのユーザーは価格表フォルダを作成できますが、EPub-User ロールのユーザーは作成できません。「価格表」ビューでタスクを実行しようとして、次に示すようなエラーが表示された場合は、管理者に問い合わせてください。



この章で説明するタスクの他に、個々の製品および SKU を Merchandising で扱いながら次の価格表タスクも実行できます。

- 製品の価格の変更。詳細は、[製品の作成と管理](#)を参照してください。
- 全 SKU の価格の変更。詳細は、[SKU の作成と管理](#)を参照してください。

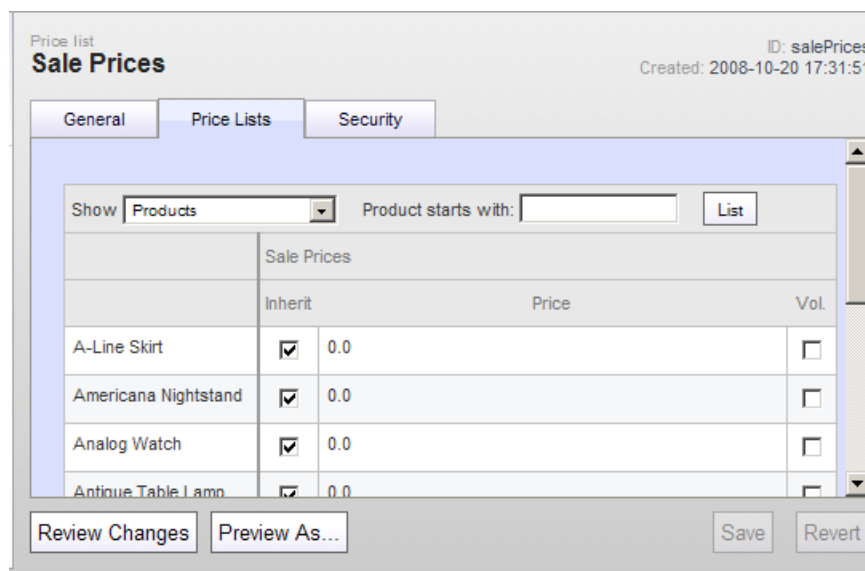
既存の価格表の表示

Merchandising で既存の価格表を表示するには、次の手順に従ってください。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」または「価格表およびフォルダ」を表示します。
2. (オプション)「価格表およびフォルダ」ビューで作業を行う場合は、ナビゲーション・ペインでフォルダをオープンします。
3. ナビゲーション・ペインで、表示する価格表を選択します。
4. 「一般」タブをクリックして、価格表の基本情報を表示します。このタブの詳細は、[価格表プロパティ](#)を参照してください。
5. 「価格表」タブをクリックして、製品、SKU および価格のリストを表示します。
6. 「表示」メニューから次のいずれかのオプションを選択して、「リスト」をクリックします。
 - 「製品」には、価格表の全製品とその価格のリストが表示されます。
 - 「製品 SKU およびサブ SKU」には、すべての製品、関連する SKU およびその価格のリストが表示されます。
 - 「SKU」には、価格表の全 SKU とその価格のリストが表示されます。

リストをフィルタ処理する場合は、「製品は次から開始」または「SKU は次から開始」ボックスにテキストを入力するか貼り付けて、「リスト」をクリックします。

注意: 管理者が Merchandising を構成した方法によっては、「表示」メニューに 3 つすべてのオプションが表示されない場合があります。



価格表および価格表フォルダの作成

価格表の階層を作成する際は、他の価格表によって継承される基本価格表から開始してください。そうすることで、他の価格表に対して価格を指定するのは、基本価格表のデフォルト値を上書きするときのみで済みます。

価格表の作成と削除に使用できるビューは 2 つあります。管理者による Merchandising の構成によっては、両方とも表示されない場合があります。

- 「価格表」ビューでは、価格表の継承関係を反映した、価格表のツリーが編成されています。価格表の上位およびネストされた状態で表示されている基本価格表は、その子価格表です。
- 「価格表およびフォルダ」ビューでは、作成したフォルダ内で価格表が編成されています。価格表をフォルダに追加しない場合は、階層のトップレベルでアルファベット順に表示されます。このビューを使用する場合、最初にフォルダ構造を作成してから、この構造内で価格表を作成することをお勧めします。

価格表フォルダは価格表の編成に役立ちますが、フォルダ階層は、価格表の継承をコントロールする親子階層を表すものではありません。価格が継承される基本価格表を表示するには、詳細ペインでその価格表の「一般」タブを表示します。詳細は、[既存の価格表の表示](#)を参照してください。

価格表フォルダの作成

価格表フォルダを作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表およびフォルダ」を表示します。
既存の価格表とフォルダがナビゲーション・ペインに表示されます。
2. (オプション)サブフォルダを作成する場合は、ナビゲーション・ペインで親フォルダを選択します。
3. ツールバーで「作成」をクリックし、「価格表フォルダ」を選択します。

4. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。必須フィールドは「名前」のみです。
5. 親フォルダを追加、置換または削除して、フォルダ・ツリー内の価格表フォルダの場所を指定します。フォルダ名が「親の選択」の横に表示されている場合、親はあらかじめ選択されています。
 - 「親の選択」をクリックし、表示されたダイアログ・ボックスで親フォルダを選択することで、親フォルダを追加または置換します。「OK」をクリックして、ダイアログ・ボックスをクローズします。
 - 「消去」をクリックして、親フォルダを削除します。
6. 「作成」をクリックします。
親フォルダを指定していない場合、この項目が親/子階層に表示されないことを伝えるメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、項目がトップレベルで作成されます。「取消」をクリックすると、手順 5 に戻って親フォルダを指定できます。
新しい価格表フォルダが指定の場所に表示されます。親フォルダを指定していない場合、新しいフォルダがトップレベルで作成されます。

価格表の作成

価格表を作成するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」または「価格表およびフォルダ」を表示します。
2. (オプション)「価格表およびフォルダ」ビューで作業を行う場合は、ナビゲーション・ペインでフォルダを選択します。
3. ツールバーで「作成」をクリックし、「価格表」を選択します。
4. 詳細ペインのプロパティ・フィールドに入力します。必須フィールドは、「名前」と「ロケール」のみです。
5. 新しい価格表の価格を他の価格表から継承させる場合は、「基本価格表」プロパティの横の「編集」をクリックします。「項目の選択」ダイアログ・ボックスがオープンしたら、価格表にナビゲートして選択し、「OK」をクリックします。
6. 「価格表およびフォルダ」で作業をしている場合は、親フォルダを追加、置換または削除することで、フォルダ・ツリー内の価格表の場所を指定します。フォルダ名が「親の選択」の横に表示されている場合、親はあらかじめ選択されています。
 - 「親の選択」をクリックし、表示されたダイアログ・ボックスで親フォルダを選択することで、親フォルダを追加または置換します。「OK」をクリックして、ダイアログ・ボックスをクローズします。
 - 「消去」をクリックして、親フォルダを削除します。
7. 「作成」をクリックします。
基本価格表を指定していない場合、この項目が親/子階層に表示されないことを伝えるメッセージが表示されます。「OK」をクリックして基本価格表なしで先に進むか、手順 5 に戻って基本価格表を指定します。
新しい価格表がナビゲーション・ペインに表示され、価格表を説明する情報が詳細ペインに表示されます。

システム上のサイト・カタログの全製品に新しい価格表が自動的に入力されます。作成操作が終了すると、「価格表」タブにこれらが表示されます。新しい価格表は全製品と SKU の詳細ペインの「価格表」タブにも自動的に表示されます。詳細は、[製品の作成と管理](#)および [SKU の作成と管理](#)を参照してください。

価格表プロパティ

詳細ペインで、次の価格表プロパティを扱うことができます。この項で説明するプロパティは、デフォルトの Merchandising プロパティです。Web サイトに固有の新しい価格表プロパティが管理者によって追加されている場合があります。

プロパティ	説明
名前	価格表の名前です。この名前により、Merchandising と ACC で価格表が識別されます。 このプロパティは必須です。 ユーザーが作成する各アセットには一意の ID が割り当てられるため、名前は一意である必要はありません。
摘要	価格表の説明です。
ロケール	価格表の価格によって使用される通貨と記号を決定するロケールです。他のロケールをサポートするブラウザで価格が表示された場合、価格計算はここで指定されたロケールに基づきます。 このプロパティは必須です。
基本価格表	価格表が継承される元になる価格表です。
開始日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、価格表が使用可能になる日付です。
終了日	このプロパティを使用するようにコレクション・フィルタが実装されている場合、価格表が使用不可になる日付です。

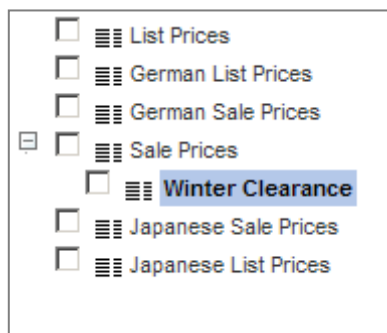
価格表のリンクとリンク解除

価格表をリンクすると、その価格表は新しい基本価格表に関連付けられます。カタログ・アセットとは異なり、価格表は複数の親にリンクできません。各価格表には、継承元となる基本価格表を 1 つのみ設定できます。

注意: 価格表は、移動することで新しい親に関連付けることも可能です。[価格表の移動](#)を参照してください。

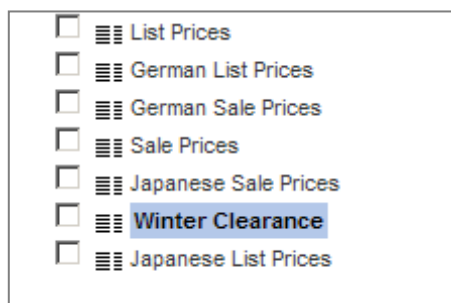
価格表を親にリンクするには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、リンクする価格表を選択します。
3. 表示されたダイアログ・ボックスで、選択した価格表の継承元になる基本価格表を選択します。
4. 「OK」をクリックします。
ナビゲーション・ペインに、リンクされた価格表がその新しい基本価格表の子として表示されます。



価格表を現在の親からリンク解除するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、親からリンク解除する価格表を選択します。
3. 「リンク解除」をクリックして、「選択した場所からリンク解除」を選択します。
リンク解除された価格表は、前の親の子としてナビゲーション・ペインに表示されなくなります。



継承価格の上書き

基本価格表から継承される価格表で、指定の製品または SKU の継承価格を上書きできます。

次の手順では、「価格表」ビューで継承価格を上書きする方法について説明します。製品または SKU の「価格表」タブで継承価格を上書きするには、[製品の作成と管理](#)または [SKU の作成と管理](#)を参照してください。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、編集する価格の価格表を選択します。
3. 詳細ペインで、「価格表」タブをクリックし、「製品」、「製品 SKU およびサブ SKU」または「SKU」を表示します。
4. 価格を変更する製品または SKU の行で、「継承」の選択を解除します。
5. 表示された価格ボックスに新しい価格を入力します。

German Sale Prices			
	Inherit	Price	Vol.
A-Line Skirt	<input type="checkbox"/>	19.99	<input type="checkbox"/>
A-Line Skirt	<input checked="" type="checkbox"/>	0.0	<input type="checkbox"/>
A-Line Skirt	<input checked="" type="checkbox"/>	0.0	<input type="checkbox"/>

6. 上書きする継承価格ごとに、手順 4 と 5 を繰り返します。
7. 詳細ペイン下部の「保存」をクリックします。

価格表の価格を変更するには

1. Merchandising プロジェクトをオープンします。
2. 「参照」ペイン上部のアプリケーション・ドロップダウン・メニューで「価格表」を選択します。
3. 「表示」メニューで「価格表」を選択します。
4. 「参照」ペインで、価格表を見つけてクリックします。
5. 編集ペインで「価格表」タブをクリックします。

数量価格設定の定義

価格表では、一括価格設定と段階的価格設定の 2 つの数量価格設定モデルがサポートされています。

一括価格設定では、オーダーされた合計数量に基づいて製品の価格を計算します。次の例では、ハンマーを 1-10 個を購入すると単価は\$20 に、11-20 個購入すると単価は\$17 に、21 個以上購入すると単価は\$15 になります。

購入されたハンマーの数	1 品目当たりの一括価格	オーダー総数
7 個のハンマー	7 個のハンマーに対して\$20 の単価	
14 個のハンマー	14 個のハンマーに対して\$17 の単価	
23 個のハンマー	23 個のハンマーに対して\$15 の単価	

段階的価格設定では、同じオーダーの同一品目内で異なる価格が適用されます。各価格は数量範囲に割り当てられます。次の例では、最初に購入したハンマー 10 個には\$20 の単価が付けられ、次の 10 個分には\$17 の単価、それ以上の個数に対しては\$15 の単価が付けられています。

購入されたハンマーの数	1 品目当たりの段階的価格	オーダー総数
7 個のハンマー	7 個のハンマーに対して\$20 の単価	
15 個のハンマー	10 個のハンマーに対して\$20 の単価 5 個のハンマーに対して\$17 の単価	

購入されたハンマーの数	1 品目当たりの段階的価格	オーダー総数
23 個のハンマー	10 個のハンマーに対して\$20 の単価 10 個のハンマーに対して\$17 の単価 3 個のハンマーに対して\$15 の単価	

一括価格設定の指定

次の手順では、「価格表」ビューで一括価格設定を指定する方法について説明します。製品または SKU の「価格表」タブで一括価格設定を指定するには、[製品の作成と管理](#)または [SKU の作成と管理](#)を参照してください。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、編集する価格の価格表を選択します。
3. 詳細ペインで、「価格表」タブをクリックし、「製品」、「製品 SKU およびサブ SKU」または「SKU」を表示します。
4. 価格を変更する製品または SKU の行にある「数量」チェック・ボックスをクリックします。

Show <input type="text" value="Products"/>		Product starts with: <input type="text"/>	
Specials Price List			
	Inherit	Price	Vol.
A-Line Skirt	<input checked="" type="checkbox"/>	0.0	<input type="checkbox"/>
Acadia Wood Chair	<input type="checkbox"/>	Volume Price	<input checked="" type="checkbox"/>

5. アセットの「価格」列の「数量価格」をクリックします。これにより、「数量価格設定」ダイアログ・ボックスが表示されます。
6. 「一括: 購入済のすべての品目に適用します」を選択します。
7. 「価格の追加」をクリックします。
8. 数量および関連付けられた価格を入力します。
最初の数量として 1 と入力します。
その数量に対して指定した価格が適用されるようにするには、購入された数量が、数量として入力した数値を満たすかそれ以上である必要があります。
9. 追加する価格範囲ごとに、手順 7 と 8 を繰り返します。
次の例では、品目 4 個までが \$9.99 の単価に、9 個までが \$8.99 の単価に、10 個以上が \$7.99 の単価になります。

Volume Pricing ✕

Price the product based on the number of items purchased.

Bulk: Apply to all items purchased

Tiered: Apply only to items that meet or exceed the threshold (...)

Quantity	Price	
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="9.99"/>	✕
<input type="text" value="5"/>	<input type="text" value="8.99"/>	✕
<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="7.99"/>	✕

10. 数量価格設定の値を入力し終えたら、「OK」をクリックして価格を保存し、ダイアログ・ボックスをクローズします。
11. 詳細ペイン下部の「保存」をクリックします。

段階的価格設定の指定

次の手順では、「価格表」ビューで段階的価格設定を指定する方法について説明します。製品または SKU の「価格表」タブで段階的価格設定を指定するには、[製品の作成と管理](#)または [SKU の作成と管理](#)を参照してください。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、編集する価格の価格表を選択します。
3. 詳細ペインで、「価格表」タブをクリックし、「製品」、「製品 SKU およびサブ SKU」または「SKU」を表示します。
4. 価格を変更する製品または SKU の行にある「数量」チェック・ボックスをクリックします。

Show	Products ▼	Product starts with: <input style="width: 80%;" type="text"/>	
Specials Price List			
	Inherit	Price	Vol.
A-Line Skirt	<input checked="" type="checkbox"/>	0.0	<input type="checkbox"/>
Acadia Wood Chair	<input type="checkbox"/>	Volume Price	<input checked="" type="checkbox"/>

5. アセットの「価格」列の「数量価格」をクリックします。これにより、「数量価格設定」ダイアログ・ボックスが表示されます。
6. 「段階的: しきい値以上の品目にのみ適用します」を選択します。
7. 「価格の追加」をクリックします。
8. 数量および関連付けられた価格を入力します。最初の数量として、1と入力します。
その数量に対して指定した価格が適用されるようにするには、購入された数量が、数量として入力した数値を満たすかそれ以上である必要があります。
9. 追加する価格範囲ごとに、手順7と8を繰り返します。
次の例では、最初の品目4個の単価が\$9.99に、5-9個の品目の単価が\$8.99に、10個以上の品目の単価が\$7.99になります。

Volume Pricing ✕

Price the product based on the number of items purchased.

Bulk: Apply to all items purchased

Tiered: Apply only to items that meet or exceed the threshold (...)

Quantity	Price	
1	9.99	✕
5	8.99	✕
10	7.99	✕

10. 数量価格設定の値を入力し終えたら、「OK」をクリックして価格を保存し、ダイアログ・ボックスをクローズします。
11. 詳細ペイン下部の「保存」をクリックします。

価格表の移動、コピーおよび削除

この項では、階層内で価格表を削除、移動またはコピーする方法について説明します。

価格表の移動

価格表は、「価格表」ツリー内の別の場所に移動できます。親価格表を移動すると、その子も移動されます。子価格表を移動または削除しても、その親には影響しません。

注意: 価格表は、リンクすることで新しい親に関連付けることも可能です。[価格表のリンクとリンク解除](#)を参照してください。

価格表を移動するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。

2. ナビゲーション・ペインで、移動する価格表の横にあるチェック・ボックスをクリックします。
3. 「移動」ボタンをクリックして、オプションを選択します。
 - 選択した場所から移動
 - すべての場所から移動
4. 「宛先の選択」ダイアログで「検索」タブまたは「参照」タブを使用して、子価格表をネストする価格表を見つけて選択します。「OK」をクリックします。

トップレベルへの価格表フォルダの移動

現在別のフォルダにネストされている価格表フォルダを移動するには、次の手順に従ってください。

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表およびフォルダ」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、移動する価格表の横にあるチェック・ボックスをクリックします。
3. 詳細ペインで、「親フォルダ」プロパティは価格表フォルダの親に設定されています。親フォルダ名のそばにある「消去」をクリックします。
4. 「保存」をクリックします。
価格表フォルダが階層の最初のレベルに表示されます。

価格表のコピー

価格表は、「価格表」ツリー内の別の場所にコピーできます。親価格表をコピーしても、その子は移動されませんが、子の「基本価格表」プロパティは消去されます。子価格表をコピーしても、その親には影響しません。

価格表をコピーするには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、コピーする価格表の横にあるチェック・ボックスをクリックします。
3. 「複製」アイコンをクリックします。
4. 「宛先の選択」ダイアログで「検索」タブまたは「参照」タブを使用して、子価格表をネストする価格表を見つけて選択します。「OK」をクリックします。

価格表の削除

「価格表」ツリー内で価格表を削除できます。親価格表を削除しても、その子は削除されませんが、子の「基本価格表」プロパティは消去されます。子価格表を移動または削除しても、その親には影響しません。

価格表を削除するには

1. 「Commerce アセット」プロジェクトで、「価格表」にナビゲートして、「価格表」を表示します。
2. ナビゲーション・ペインで、削除する価格表の横にあるチェック・ボックスをクリックします。
3. 「削除」をクリックします。
4. 確認ダイアログで「OK」をクリックして価格表を削除するか、「取消」をクリックして価格表を変更せずそのままにします。

顧客への価格表の割当

価格は契約、見積要求または事前交渉価格を基にすることができるため、価格表を個人または組織に割り当てると便利です。

Business Control Center を使用して価格表を顧客に割り当てる方法は 2 つあります。

- 価格表を個々のユーザーに直接割り当てます。[ユーザーへの価格表の割当](#)を参照してください。
- 組織に価格表を割り当てて、組織の全ユーザーにその価格表の価格が提供されるようにします。このオプションは、Oracle Commerce Business Commerce と Merchandising を使用している顧客に対して使用可能になっています。詳細は、[組織への価格表の割当](#)を参照してください。

一連の環境に基づいて価格表を指定することで、価格表をユーザーに動的に提供することもできます。たとえば、ユーザーの登録時に価格表が割り当てられるシナリオを作成できます。次に、ユーザーが購入するか、特定のリンクをクリックすると、別の価格表を割り当てることができます。シナリオの詳細は、『[ATG Web Commerce Personalization Programming Guide](#)』を参照してください。

ユーザーへの価格表の割当

Oracle Commerce Business Commerce が環境に含まれていない場合にユーザーに価格表を割り当てるには、次の手順に従ってください。

1. Business Control Center ホームページの「操作」リストでパーソナライズ・エントリを展開します。「外部ユーザー」をクリックします。
2. ナビゲーション・ペインで、価格表を割り当てるユーザー名をクリックします。
3. 編集ペインで、「Commerce」タブをクリックします。
4. Commerce の「一般」タブで、「価格表」プロパティを見つけて「選択」をクリックします。
5. アセット・セレクタで、「価格表」を参照または検索します。見つけたら名前を選択して、「OK」をクリックします。
6. 販売価格表を使用する場合は、「販売価格表」プロパティに対して手順 4 から手順 6 を繰り返してください。
7. 「保存」をクリックします。

Oracle Commerce Business Commerce が環境に含まれている場合にユーザーに価格表を割り当てるには、次の手順に従ってください。

1. Business Control Center ホームページの「操作」リストでパーソナライズ・エントリを展開します。「外部ユーザー」をクリックします。
2. 「参照」ペインで、価格表を割り当てるユーザー名をクリックします。
3. 編集ペインで、「B2B Commerce」タブをクリックします。
Commerce の「Commerce - 契約」タブで、「価格表」プロパティを見つけて矢印をクリックします。

4. 次のいずれかを実行します。
 - 「継承」を選択して、親組織から価格表を継承します。
 - 「上書き」を選択してアセット・セレクタを使用し、既存の価格表を見つけます。価格表を選択して、「OK」をクリックします。
5. 「保存」をクリックします。

組織への価格表の割当

ご使用の環境に Oracle Commerce Business Commerce が含まれている場合は、組織を定義してユーザーを割り当てることができます。組織に対して定義するプロパティは、組織内の全ユーザーに自動的に継承されます。1つのプロパティにより1つの契約が識別されます。契約は、カタログ、価格表および支払条件を関連付けるアセットです。価格表を組織に割り当てるには、価格表を契約に関連付けてから、契約を組織に関連付けます。

価格表を組織に関連付けるには、次の手順に従ってください。

1. Business Control Center ホームページの「操作」リストでパーソナライズ・エントリを展開します。「外部ユーザー」をクリックします。
2. 「表示」ドロップダウン・メニューで「組織」を選択します。
3. 「参照」ペインで、契約と価格表を割り当てる組織の名前をクリックします。
4. 編集ペインで「一般」タブを選択し、「基本」プロパティ・グループで「契約」プロパティを見つけます。

5. 「契約」をクリックし、「上書き」または「継承」を選択します。



継承: 組織は親組織の契約を継承します。インタフェースは「契約」矢印に戻ります。

上書き: 他の選択肢の「選択」または「作成」が表示されます。

- 「選択」を選択してアセット・セレクタを使用し、既存の契約を見つけます。契約を選択して、「OK」をクリックします。



- 「作成」を選択して、新しい契約を作成します。

Basics

Name:

Creator:

Negotiator:

Catalog:

Pricelist:

ポップアップ確認ダイアログで「保存」をクリックします。

契約の名前をクリックします。

「Pricelist」の横にある「選択」をクリックします。アセット・セレクタを使用して、既存の価格表を見つけます。価格表を選択して、「OK」をクリックします。

「作成」および「クローズ」をクリックします。

編集ペインが「組織」の「一般」タブに戻り、契約割当が表示されます。

The screenshot shows a web interface with a tabbed menu at the top containing 'General', 'Auto-Applied Roles', 'Organizational Roles', and 'Members'. The 'General' tab is active, and the page title is 'Basics'. The form contains the following fields:

- Name:** LatestWear
- Description:** Latest trends in Women's and Men's wear
- Company logo:** (empty field with a dropdown arrow)
- Customer type:** Standard
- Type:** (unspecified) (dropdown menu)
- DUNS number:** (empty field)
- Contract:** LatestWear-010 (radio button selected) with 'Select' and 'Create' buttons.

「クローズ」をクリックします。

ユーザーへの価格表の割当の詳細は、『[ATG Web Commerce ストア設定ガイド](#)』の[価格表の管理](#)に関する項を参照してください。

索引

1

「1 つの値段でもう 1 つ取得」プロモーション・テンプレート, 128

C

CSV ファイル
インポート, 119

H

HTML エディタ, 40

S

SEO タグ
作成, 105
SKU
「カタログ・メディア」プロパティ, 148
構成可能な SKU の作成, 85
作成, 81
メディア・プロパティ, 72, 77, 82
SKU バンドル, 84

U

URL エディタ, 45

W

Web コンテンツ管理, 93
WYSIWYG エディタ, 40

X

「X での Y の支払で GWP を取得」プロモーション・テンプレート, 154
「X での Y の支払でオーダー割引を取得」プロモーション・テンプレート, 142

「X での Y の支払で出荷割引を取得」プロモーション・テンプレート, 146

「X での Y の支払で品目割引を取得」プロモーション・テンプレート, 134

「X を購入するとオーダー割引を取得」プロモーション・テンプレート, 140

「X を購入すると出荷割引を取得」プロモーション・テンプレート, 144

Y

「Y の支払で GWP を取得」プロモーション・テンプレート, 152

「Y の支払でオーダー割引を取得」プロモーション・テンプレート, 141

「Y の支払で出荷割引を取得」プロモーション・テンプレート, 145

あ

アセット
アセット・トレイからのリンク付け, 26
アセット・トレイへの追加, 25
アセット・トレイへのドラッグ, 26
移動, 34
エクスポート, 107, 111
既存に基づいた作成, 30
検索, 19
削除, 39
作成, 29
追加, プロジェクトに対して, 7
定義, 6
ネスト化, 17
複数編集での編集, 45
プレビュー, 35
プロジェクトからの削除, 8
プロジェクトへの追加, 54
プロパティ・エディタ, 40
編集, 54
リンク解除, 32
リンク付け, 31

アセット・トレイ, 24
 ドラッグ・アンド・ドロップ, 26
 リンク付け, 26
 アセット・トレイへのアセットの追加, 25
 アセットのインポート
 CSV ファイルから, 119
 結果メッセージ, 122
 検証, 120
 スプレッドシートの書式設定, 115
 手順, 121
 プレビュー, 120
 アセットのエクスポート
 ガイドラインおよび制限, 107
 ガイドラインと制限, 115
 概要, 107
 コレクション・プロパティ, 109
 サポートされるタイプ, 109
 データの形式, 113
 手順, 111
 アセットの作成
 概要, 29
 既存のアセットに基づく, 30
 スプレッドシートから, 117
 アセットの特定, 18, 19
 アセットの複製, 30
 アセットの編成, 34

い

一括価格設定, 171
 一括編集, 45
 移動, 34
 価格表, 174
 価格表フォルダ, 68, 175
 カタログ・フォルダ, 68

え

エクスポート
 価格, 110

お

「オーダー割引の取得」プロモーション・テンプレート, 141
 親, 17
 リンク解除, 32
 リンク付け, 31

か

価格
 エクスポート, 110, 112
 価格表での変更, 171
 製品または SKU に提供, 170
 価格設定プロパティ, 77, 83
 価格のエクスポート
 手順, 112
 価格表
 Business Control Center を使用した割当, 176
 一括価格設定, 171
 作成, 168
 数量価格設定, 171
 段階的価格設定, 171
 定義, 165
 表示, 166
 他の親にリンク, 169
 ユーザーへの割当, 176
 価格表の割当, 176
 価格表の使用と定義, 165
 価格表の割当, 177
 価格表フォルダ
 移動, 68, 175
 作成, 167
 カスタム・カタログ
 組織への価格表の割当, 177
 カタログ
 作成, 69
 カタログ・フォルダ
 移動, 68
 カタログ・フォルダ・プロパティ, 67
 カテゴリ
 親, 78
 作成, 71
 カレンダー・エディタ, 44
 管理者, 1

き

「期間内に購入すると出荷割引を取得」プロモーション・テンプレート, 144
 記事の項目, 89
 基本価格表, 165
 競合解決
 概要, 10
 コレクション・プロパティ, 12
 手順, 9, 11
 プロセス, 11
 緊急プロジェクト, 6

く

- クーポン
 - 作成, 158
 - プロモーションへの追加, 159
- クーポン・バッチ
 - エクスポート, 160
 - 作成, 159
 - 表示, 160
- クーポン・フォルダ, 作成, 157

け

- 検索エンジン最適化, 105

こ

- 「購入時ギフトを取得(GWP)」プロモーション・テンプレート, 151
- コピー
 - 価格表, 175
- 孤立, 33
 - 親からのリンク解除, 32
 - 親へのリンク付け, 31
- コレクション・エディタ, 42
- コレクション・プロパティ
 - インポート中に追加, 118
 - エクスポート, 109
 - バージョンの競合の解決, 12
 - 変更のレビュー表示限度, 16
- コンテンツ・フォルダ・プロパティ, 87

さ

- サイトにリストされていない品目, 33
- 削除
 - アセット, 39
 - 価格表, 175
- 作成
 - SEOタグ, 105
 - SKU, 81
 - 価格表, 165, 168
 - 価格表フォルダ, 165, 167
 - カタログ, 69
 - カテゴリ, 71
 - ストアの場所, 89, 93, 95, 97
 - 製品, 75
 - メディア・フォルダ, 87, 99
- 「参照」パネル, 18

し

- 「指定期間内に購入」プロモーション・テンプレート, 139
- 「指定時間枠内に購入すると品目割引を取得」プロモーション・テンプレート, 131
- 「支払 Y で品目割引を取得」プロモーション・テンプレート, 133
- 「出荷割引の取得」プロモーション・テンプレート, 145
- 順序付けされたコレクション, 42, 55
- 上位階層, 17
- 詳細ペイン, 23
- 除外プロモーション, 162

す

- スタック・ルール, 161
 - 作成, 162
- ストアの場所のアセット, 89, 93, 97
- スプレッドシート
 - アセットの作成, 117
 - インポート, 121
 - インポート形式, 115
 - インポートの検証, 120
 - エクスポート形式, 113
 - エクスポート先, 107
 - 価格のエクスポート, 110
 - 価格のエクスポート先, 112
 - プロパティのエクスポート, 111

せ

- 製品
 - 親カテゴリ, 78
 - 作成, 75

そ

- 「操作」メニュー, 4
- 組織, 177

た

- 対象読者, 1
- タグ項目, 95
- 「段階的オーダー割引」プロモーション・テンプレート, 143
- 「段階的価格分岐」プロモーション・テンプレート, 138

て

テキスト・エディタ, 40
 テスト
 プロモーション, 59

と

ドラッグ・アンド・ドロップ, 26, 49

な

長い文字列エディタ, 40
 ナビゲーション・ペイン, 17

は

バージョン設定, 定義, 6
 バージョンの競合の解決
 概要, 10
 コレクション・プロパティ, 12
 手順, 9, 11
 プロセス, 11
 パネル
 検索, 19
 参照, 18
 パネルの検索, 19

ひ

ビジュアル・マーチャンダイジング
 プロモーション, 59
 日付
 プレビュー, 37
 非分類品目, 33
 ビュー
 レイアウト, 51
 表示
 価格表, 166
 「品目 X の購入で品目 Y を取得」プロモーション・テンプレート, 130
 「品目 X を購入すると GWP を取得」プロモーション・テンプレート, 152
 「品目割引の取得」プロモーション・テンプレート, 132

ふ

フォルダ
 価格表. 価格表フォルダを参照
 複数サイト
 カテゴリ, 71

複数編集, 45
 プレビュー, 51
 日付/時間, 37
 プレビュー
 アセット, 35
 プロモーション, 59
 プログラマ, 1
 プロジェクト
 アセットの追加, 7, 54
 既存のオープン, 6
 競合の解決, 10
 定義, 5
 「プロジェクト」リスト, 5
 プロパティ
 インポート中に削除, 118
 エクスポート, 107, 111
 プロモーション, 125
 プロモーション
 アクティブ日, 146
 アセット・トレイへの追加, 65
 「一般」タブ, 126
 「カタログ・メディア」タブ, 148
 「可用性およびクーポン」タブ, 146
 クーポンの使用, 157
 購入時ギフト・テンプレート, 150
 「サイト」タブ, 147
 作成, 125
 条件およびオファー・テンプレート, 128
 条件およびオファーの文, 154
 スタック・ルールによる管理, 161
 説明, 123
 タイプ, 123
 テスト, 59
 動作, 123
 複数サイト, 147
 プロパティの説明, 125
 レイアウト・ビューで編集, 64
 プロモーションの視認性, 51
 プロモーション・フォルダ
 作成, 124

へ

変更のレビュー
 競合の解決, 10
 コレクション・プロパティ表示限度, 16
 バージョンの競合の解決, 9, 11, 12
 編集
 アセット・プロパティ, 40
 複数のアセット, 45
 複数編集のアセット, 45

ほ

包含プロモーション, 162

ま

マーチャンダイザ, 1

み

右側ペイン, 23

め

「メディア - 外部」アセット, 101

「メディア - 内部 - テキスト」アセット, 101

「メディア - 内部 - バイナリ」アセット, 102

メディア・フォルダ

作成, 87, 99

ゆ

ユーザー

価格表の割当, 176

ユーザー・インタフェース, 17, 51

ら

ライト・テーブル, 51, 55

り

リンク解除, 32

リンク付け, 26, 31

非分類品目, 33

れ

レイアウト・ビュー, 51

わ

割引. プロモーションを参照

